

2019
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 教育文化学部 4年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of education and culture

2019年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
4/1	4/2 在学オリエンテーション	4/3 入学式	4/4 オリエンテーション	4/5 オリエンテーション	4/6	4/7	
4/8 ①	4/9 ①	4/10 ①	4/11 ①	4/12 ①	4/13	4/14	
4/15 ②	4/16 ②	4/17 ②	4/18 ②	4/19 ②	4/20	4/21	
4/22 ③	4/23 ③	4/24 ③	4/25 ③	4/26 ③	4/27	4/28	
4/29 昭和の日	4/30 休日	5/1 祝日	5/2 休日	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	教育学科養護教諭コース3年次 養護実習：4/8～4/26 こども学科2年次 教育実習：5/13～5/31
5/6 振替休日④	5/7 ④	5/8 ④	5/9 ④	5/10 ④	5/11	5/12	
5/13 ⑤	5/14 ⑤	5/15 ⑤	5/16 ⑤	5/17 ⑤	5/18	5/19	
5/20 ⑥	5/21 ⑥	5/22 ⑥	5/23 ⑥	5/24 ⑥	5/25	5/26	
5/27 ⑦	5/28 ⑦	5/29 ⑦	5/30 ⑦	5/31 ⑦	6/1	6/2	
6/3 ⑧	6/4 ⑧	6/5 ⑧	6/6 ⑧	6/7 ⑧	6/8	6/9	
6/10 ⑨	6/11 ⑨	6/12 ⑨	6/13 ⑨	6/14 ⑨	6/15	6/16	
6/17 ⑩	6/18 ⑩	6/19 ⑩	6/20 ⑩	6/21 ⑩	6/22	6/23	健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：6/18～6/28
6/24 ⑪	6/25 ⑪	6/26 ⑪	6/27 ⑪	6/28 ⑪	6/29	6/30	健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6/26～28
7/1 ⑫	7/2 ⑫	7/3 ⑫	7/4 ⑫	7/5 ⑫	7/6	7/7	教育学科養護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月
7/8 ⑬	7/9 ⑬	7/10 ⑬	7/11 ⑬	7/12 ⑬	7/13	7/14	
7/15 海の日⑭	7/16 ⑭	7/17 ⑭	7/18 ⑭	7/19 ⑭	7/20	7/21	
7/22 ⑮	7/23 ⑮	7/24 ⑮	7/25 ⑮	7/26 ⑮	7/27	7/28	
7/29 補講・試験日(月)	7/30 補講・試験日(火)	7/31 補講・試験日(水)	8/1 補講・試験日(木)	8/2 補講・試験日(金)	8/3	8/4	こども学科2年次 保育実習(保育所)：8月～9月 心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11 山の日	
8/12 振替休日	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	
8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育 実習Ⅲ：8/19～8/31
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	教育学科3年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園8/19～9/6 小学校8/19～9/13
9/2	9/3	9/4	9/5 創立記念日	9/6 5/6の振替休日	9/7	9/8	
9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8/19～9/27
9/16 敬老の日	9/17 7/15の振替休日	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	健康福祉(他)3年次・ 健康福祉(介)4年次 相談援助実習：8月～9月
9/23 秋分の日	9/24	9/25	9/26 オリエンテーション	9/27 大学祭準備	9/28 大学祭	9/29	
9/30 ① 新学期学位記授与式	10/1 ①	10/2 ①	10/3 ①	10/4 ①	10/5	10/6	
10/7 ②	10/8 ②	10/9 ②	10/10 ②	10/11 ②	10/12	10/13	
10/14 体育の日	10/15 ③	10/16 ③	10/17 ③	10/18 ③	10/19	10/20	こども学科2年次 保育実習(施設)：10月～12月
10/21 ③	10/22 祝日	10/23 ④	10/24 ④	10/25 ④	10/26	10/27	
10/28 ④	10/29 ④	10/30 ⑤	10/31 ⑤	11/1 ⑤	11/2	11/3 文化の日	
11/4 振替休日⑤	11/5 ⑤	11/6 ⑥	11/7 ⑥	11/8 ⑥	11/9	11/10	
11/11 ⑥	11/12 ⑥	11/13 ⑦	11/14 ⑦	11/15 ⑦	11/16	11/17	
11/18 ⑦	11/19 ⑦	11/20 ⑧	11/21 ⑧	11/22 ⑧	11/23 勤労感謝の日	11/24	
11/25 ⑧	11/26 ⑧	11/27 ⑨	11/28 ⑨	11/29 ⑨	11/30	12/1	
12/2 ⑨	12/3 ⑨	12/4 ⑩	12/5 ⑩	12/6 ⑩	12/7	12/8	
12/9 ⑩	12/10 ⑩	12/11 ⑪	12/12 ⑪	12/13 ⑪	12/14	12/15	
12/16 ⑪	12/17 ⑪	12/18 ⑫	12/19 ⑫	12/20 ⑫	12/21	12/22	
12/23 ⑫	12/24 ⑫	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	
12/30	12/31	1/1 元旦	1/2	1/3	1/4	1/5	
1/6 ⑬	1/7 ⑬	1/8 ⑬	1/9 ⑬	1/10 ⑬	1/11	1/12	
1/13 成人の日	1/14 11/4の振替休日	1/15 ⑭	1/16 ⑭	1/17 ⑭	1/18	1/19	
1/20 ⑭	1/21 ⑭	1/22 ⑮	1/23 ⑮	1/24 ⑮	1/25	1/26	
1/27 ⑮	1/28 ⑮	1/29 補講・試験日(水)	1/30 補講・試験日(木)	1/31 補講・試験日(金)	2/1	2/2	心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
2/3 補講・試験日(月)	2/4 補講・試験日(火)	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	
2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2/10～2/22
2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23 (天皇誕生日)	健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2/17～3/13
2/24 振替休日	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	
3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：3/2～3/14
3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	
3/16	3/17	3/18 学位記授与式	3/19	3/20 春分の日	3/21	3/22	
3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	
3/30	3/31						

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2019年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教育課程表

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
就業力養成科目							
キャリア演習Ⅲ	演習	1		小川美夏			1
キャリア演習Ⅳ	講義・演習		1	小川美夏			2

教育文化学部 教育学科 発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
スポーツ施設管理論	講義	2		水野信太郎	スポーツ教育学科専門科目	[ス]認定トレーニング_必修	3
社会と生活に関する科目群							
社会教育計画	講義	2		藤川和信		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	4
社会教育課題研究	講義	2		宗本和博		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	5
社会教育課題演習	演習		2	阿部豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	6
社会教育施設論	講義	2		阿部豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	7

教育文化学部 芸術学科 発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
スポーツ施設管理論	講義	2		水野信太郎	スポーツ教育学科専門科目	[ス]認定トレーニング_必修	3
社会と生活に関する科目群							
社会教育計画	講義	2		藤川和信		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	4
社会教育課題研究	講義	2		宗本和博		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	5
社会教育課題演習	演習		2	阿部豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	6
社会教育施設論	講義	2		阿部豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	7

教育文化学部 心理カウンセリング学科 発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
スポーツ施設管理論	講義	2		水野信太郎	スポーツ教育学科専門科目	[ス]認定トレーニング_必修	3
社会と生活に関する科目群							
社会教育計画	講義	2		藤川和信		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	4
社会教育課題研究	講義	2		宗本和博		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	5
社会教育課題演習	演習		2	阿部豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	6
社会教育施設論	講義	2		阿部豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	7

教育文化学部 学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
リカレント教育論	講義	2		佐々木 邦子	発展科目	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	9

教育学科 学科専門科目 コース共通科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ		
		4年次							
		前	後						
学校ボランティア活動Ⅰ	実習	←1→		二宮 孝行	初等教育・幼児教育・音楽コース 芸術学科同時展開 集中講義		11		
				今野 洋子				養護教諭コース 集中講義	12
				佐藤 朱美					
学校ボランティア活動Ⅱ	実習	←1→		二宮 孝行	初等教育・幼児教育・音楽コース 芸術学科同時展開 集中講義		13		
				今野 洋子				養護教諭コース 集中講義	14
				佐藤 朱美					
卒業研究	演習	←④→		担当教員	集中講義		15		
知的障害教育Ⅱ	講義	2		瀧澤 聡	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	16		
肢体不自由教育Ⅱ	講義	2		石川 大	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	17		
特別支援教育実習事後指導	講義		1	石川 大	集中講義	[教]特支1種_必修	18		
				石塚 誠之					
				磯貝 隆之					
特別支援教育実習	実習	2	2	石川 大	集中講義	[教]特支1種_必修	19		
				石塚 誠之					
				磯貝 隆之					
特別支援実践論Ⅲ	演習	2		石川 大			20		
				磯貝 隆之					

教育学科 学科専門科目 初等教育・幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
教職実践演習(幼・小)	演習		2	中川 洋一		[教]幼・小1種_必修	21
			二宮 孝行				
			伏見 千悦子				
			山崎 正明				

教育学科 学科専門科目 初等教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
理科指導法Ⅲ	講義	2		横山 光		[教]小1種_選択	22
図画工作科指導法Ⅲ	講義	2		山崎 正明		[教]小1種_選択	23
家庭科指導法Ⅲ	講義	2		木下 教子		[教]小1種_選択	24
				角田 成子			
小学校教育研究Ⅲ	講義	2		横山 光			25
				二宮 孝行			

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
幼稚園教育研究Ⅲ	講義	2		澤田 悦子			26
				工藤 ゆかり			
保育の心理学Ⅱ	演習	1		狩野 信也	集中講義	[教]保育士_必修	27
こどもの食と栄養	演習		2	木下 教子		[教]保育士_必修	28
保育課程論	講義	2		武田 克江		[教]保育士_必修	29
障害児保育	演習	2		神田 英治		[教]保育士_必修	30
保育相談支援	演習	1		舟橋 安幸		[教]保育士_必修	31
保育実習Ⅱ	実習	2		工藤 ゆかり	集中講義	[教]保育士_選必	32
				澤田 悦子			
				長津 詩織			
保育実習Ⅲ	実習	2		工藤 ゆかり	集中講義	[教]保育士_選必	33
				澤田 悦子			
				長津 詩織			
保育実習指導Ⅱ	演習	1		工藤 ゆかり		[教]保育士_選必	34
				澤田 悦子			
				長津 詩織			
保育実習指導Ⅲ	演習	1		工藤 ゆかり		[教]保育士_選必	35
				澤田 悦子			
				長津 詩織			

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
保育実践演習	演習		2	工藤 ゆかり		[教]保育士_必修	36
				澤田 悦子			
				長津 詩織			

教育学科 専門科目 養護教諭コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
学校保健組織活動論	講義	2		大村 道子			37
保健室経営演習Ⅰ	演習	2		大村 道子	選択必修科目		38
保健室経営演習Ⅱ	演習		2	今野 洋子	集中講義		39
教職実践演習(養護教諭)	演習		2	今野 洋子		[教]養教1種_必修	40
				佐藤 朱美			
養護教諭教育研究Ⅱ	講義	2		佐藤 朱美			41
養護教諭教育研究Ⅲ	講義		2	大村 道子	集中講義		42

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
ピアノ総合演習Ⅱ	演習	2		坂田 朋優	集中講義		43
教育実習事後指導	講義		1	坂田 朋優		[教]中・高1種(音楽)_必修	44
				今井 敏勝			
教育実習Ⅰ	実習	4	4	今井 敏勝	集中講義	[教]中1種(音楽)_必修、高1種(音楽)_選必	45
				坂田 朋優			
教育実習Ⅱ	実習	2	2	今井 敏勝	集中講義	[教]高1種(音楽)_選必	46
				坂田 朋優			
教職実践演習(中・高)	演習		2	今井 敏勝		[教]中・高1種(音楽)_必修	47
				坂田 朋優			
音楽教育研究Ⅲ	演習	2		今井 敏勝			48

芸術学科 学科専門科目 専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
アート教育・文化							
博物館実習	実習	←3→		林 亨	一部集中講義	[芸]学芸員_必修	49
				横山 光			
立体表現							
創作テキスタイル	演習	2		大信田 静子	選択必修科目		50
空間・身体表現							
舞踊専門研究	演習	2		田 光子			51
構造力学演習	演習	2		千里 政文		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必	52
発想・企画・プレゼンテーション							
デジタルコンテンツ制作	演習	2		弘 田 月 彦	集中講義		53
				松 澤 衛			
演劇と映画	演習	2		松 澤 衛	選択必修科目		54
				村 松 幹 男			

芸術学科 学科専門科目 応用実践科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
総合・統合							
ポートフォリオ制作Ⅱ	演習	1		浅井 貴也	一部集中講義		55
				大信田 静子			
				小室 晴陽			
				千里 政文			
				富田 玲子			
				永野 光一			
				林 亨			
				松澤 衛			
				村松 幹男			
				森井 綾			
田 恩 蒨							

芸術学科 学科専門科目 応用実践科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
総合・統合							
就業力実践演習	演習		1	小室晴陽	集中講義		56
				浅井貴也			
				大信田静子			
				千里政文			
				富田玲子			
				永野光一			
				林 亨			
				松澤 衛			
				村松幹男			
森井綾							
卒業研究	演習		←④→	担当教員	集中講義		57

教育文化学部 芸術学科 教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
教育実習事後指導	講義		①	林 亨		[芸]中・高1種(美術)_必修	59
教育実習Ⅰ	実習	4	4	林 亨	一部集中講義	[芸]中1種(美術)_必修、高1種(美術)_選必	60
教育実習Ⅱ	実習	2	2	林 亨	集中講義	[芸]高1種(美術)_選必	61
教職実践演習(中・高)	講義・演習		②	林 亨		[芸]中・高1種(美術)_必修	62

教育文化学部 芸術学科 教科又は教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
学校ボランティア活動Ⅰ	実習	←1→		二宮孝行	教育学科(初・幼・音)同時展開 集中講義		63
学校ボランティア活動Ⅱ	実習	←1→		二宮孝行	教育学科(初・幼・音)同時展開 集中講義		64

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4年次					
		前	後				
発達支援論	講義		2	新川 貴紀			65
社会的養護論	講義	2		鎗木 康夫		[心]福祉心理士_選必	66
少年非行と矯正教育	講義		2	飯田 昭人			67
現代社会と臨床心理学	講義		2	新川 貴紀		[心]福祉心理士_選必	68
				飯田 昭人			
				風間 雅江			
				小坂 守孝			
				澤 聡一			
佐藤 至英							
対人コミュニケーション演習	講義		2	風間 雅江			69
現代社会と福祉Ⅰ	講義	2		伊藤 新一郎	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	70
現代社会と福祉Ⅱ	講義		2	伊藤 新一郎	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	71
社会福祉行政・福祉計画論	講義	2		志水 幸	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	72
精神保健福祉学Ⅲ	講義		2	橋本 菊次郎		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	73
				今井 博康			
				寺田 香			
精神保健福祉援助演習Ⅱ	演習	2		今井 博康		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	74
				尾形 多佳士			
精神保健福祉援助演習Ⅲ	演習		2	今井 博康		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	75
				橋本 菊次郎			
精神保健福祉援助実習指導	演習	←3→		橋本 菊次郎	3年次後学期から通年	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	76
				今井 博康			
				寺田 香			
精神保健福祉援助実習	実習	←7→		橋本 菊次郎	3年次後学期から通年 集中講義	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	77
				今井 博康			
				寺田 香			
就業力特別講義Ⅳ	講義	1		寺田 香			78
卒業研究	演習	←④→		担当教員	集中講義	[心]認定心理士_選必	79

全学共通科目

科目名	キャリア演習Ⅲ		授業形態	演習	単位数	1	
教員名	小川 美夏						
授業の目的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で実践教育に位置づけられます。就職活動中の民間企業希望者や福祉施設希望者、面接試験を控えた教員や公務員希望者を対象に開講します。演習では、グループディスカッションや模擬面接を通して「面接力」の向上を目指します。					
	到達目標	(1)模擬面接・模擬グループディスカッションを通して柔軟性と状況把握力を養う。 (2)志望先に合格できる「面接力」を向上する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(1) 【計画内容】 与えられたテーマに沿ってグループディスカッションを行う。終了後、同グループ内で自己評価する。 【準備学習の内容】 「キャリア演習Ⅱ」の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。			A、H、K		
	第2回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(2) 【計画内容】 Aチーム・Bチームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【準備学習の内容】 前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。			A、H、K		
	第3回	【テーマ】 面接官ワーク(1) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【準備学習の内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。			A、B、K		
	第4回	【テーマ】 面接官ワーク(2) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【準備学習の内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。			A、B、K		
	第5回	【テーマ】 面接官ワーク(3) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【準備学習の内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。			A、B、K		
	第6回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(3) 【計画内容】 Aチーム・Bチームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【準備学習の内容】 前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。			A、H、K		
	第7回	【テーマ】 「面接力」とは何かを考える 【計画内容】 第6回までの体験を通して、面接力に必要な視点を考える。 【準備学習の内容】 今までの振り返りを整理したうえで臨むこと。			A、H、K		
	第8回	【テーマ】 面接官ワーク(4)/まとめ(課題提出) 【計画内容】 まとめとして、面接官ワークを行い、面接の本質を実践的に理解する。 【準備学習の内容】 前回の視点を生かしたうえで臨むこと。			A、B、K		
テキスト	プリントを使用する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			第8回		平時	
質問への対応	講義終了後、必要な質問は随時受けます。						
資格							
その他							

科目名	キャリア演習Ⅳ		授業形態	講義・演習	単位数	1	
教員名	小川 美夏						
授業の目的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で総括科目にあたります。将来の進路決定の有無に関わらず、今後一生続く自らのキャリアを見つめる社会人としての視点を習得することを目指します。さらに、社会人1年目から活躍できるように「+αの社会人力」を身につけ、応用力を養成することをねらいとします。					
	到達目標	(1)社会人の視点を習得する。 (2)物事に対する俯瞰的視点を習得する。 (3)社会のルール、社会的行動への理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 一段上を行く社会人マナー(1) 【計画内容】 できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【準備学習の内容】 「キャリア演習Ⅱ」で学んだビジネスマナーを復習しておくこと。	A、B、K				
	第2回	【テーマ】 一段上を行く社会人マナー(2) 【計画内容】 できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【準備学習の内容】 「キャリア演習Ⅱ」で学んだビジネスマナーを復習しておくこと。	A、B、K				
	第3回	【テーマ】 私のキャリア観(1) 【計画内容】 仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】 講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A、H、K				
	第4回	【テーマ】 私のキャリア観(2) 【計画内容】 仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】 講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A、H、K				
	第5回	【テーマ】 働く人の法制度(1) 【計画内容】 Q&A形式でわかりやすく、「こうした場合は?」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【準備学習の内容】 「キャリアデザインⅡ」で学んだ仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールを復習しておくこと。	A、K				
	第6回	【テーマ】 働く人の法制度(2) 【計画内容】 Q&A形式でわかりやすく、「こうした場合は?」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【準備学習の内容】 「キャリアデザインⅡ」で学んだ仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールを復習しておくこと。	A、K				
	第7回	【テーマ】 私のキャリア観(3) 【計画内容】 仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】 講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A、H、K				
	第8回	【テーマ】 私のキャリア観(4) 【計画内容】 仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】 講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A、H、K				
テキスト	プリントを使用する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足			40% 第8回		60% 平時	
質問への対応	講義終了後、必要な質問は随時受けます。						
資格							
その他	ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本は継続すること。						

発 展 科 目

科目名	スポーツ施設管理論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	水野 信太郎							
授業の目的	<p>ねらい 生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保しているべき環境条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面、専門家の資格などについて学ぶ。また施設・建築物の平面図を読み解く力を身につける。具体的には身の回りに実在する建築物を実測して提出する。</p> <p>到達目標 (1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する専門用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)実際の建築物を調査して図面化することにより、図を読む力をつける。 (4)「体育施設運営士」ならびに「体育施設管理士」の資格を理解する。 (5)都市施設を中心とする今後の「まちづくり」への関心を高める。</p>							
授業の 計画	第1回	【テーマ】都市施設の平面図を作成する 【計画内容】教員が用意した文章を聞きながら、配付された用紙に平面図(プラン・間取り)を作成していく。入口から施設内に入り、順に各室を進んでいく。この作業によって平面図を表記する記号や約束事を身につける。完成した平面図を教室内で発表する。 【準備学習の内容】シラバス全体を熟読しておく。					F、K	
	第2回	【テーマ】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設 【計画内容】さまざまなスポーツ施設を学生自ら列挙する。そのうえで公共施設の社会的意義を論ずる。競技スポーツと芸術表現を対比して、共通点と相違点などを明らかにする。大スパン構造を理解し、説明する。 【準備学習の内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。					A、H	
	第3回	【テーマ】施設の平面図採集 【計画内容】4月末から5月上旬の連休中に学生自身が赴く場所で、実在する建築物の現状平面図を作成して次回の授業で提出する。その作業のために必要な知識と手順を講義する。 【準備学習の内容】4月27日(土)から5月5日(日)までの連休中に出かける地域に関する情報を収集しておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程。その際に施設管理者が果たすべき役割を明らかにする。雨もり、水もれ、金属部分のさび、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えを学習する。 【準備学習の内容】新築、増築、改築について予習しておくこと。またメンテナンスフリーという考え方を調べておくこと。					G、H	
	第5回	【テーマ】通風と換気 【計画内容】良好な風通しの条件、換気回数の定義などを具体的に調べていく。 【準備学習の内容】換気原則と換気回数の定義を調べてくること。					A	
	第6回	【テーマ】温熱環境 【計画内容】温度、湿度、気流、輻射熱、着衣、運動量の差によって寒暖の感じ方が異なる点を理解する。 【準備学習の内容】暑さと寒さを人間が感じるさまざまな要素について情報を整理しておく。					F、H	
	第7回	【テーマ】結露とカビ 【計画内容】結露とはどのような現象か、カビが発生する諸条件などをトータルに学ぶ。 【準備学習の内容】日常生活で結露やカビに関する実体験を整理してくる。また対応策を自ら調べること。					A	
	第8回	【テーマ】空気調和 【計画内容】冬季の暖房、夏季の冷房、梅雨時期の除湿ほか空調の実情を理解する。換気、温熱環境、結露、空調という4週間分の授業内容をレポートライティングして提出する。 【準備学習の内容】4週間分の授業内容を整理しておき、レポートライティングに備える。					G	
	第9回	【テーマ】自然採光と人工照明 【計画内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取扱方法、グレア、色調ほかについて学習する。 【準備学習の内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取扱方法、グレアに関する予習しておくこと。					A	
	第10回	【テーマ】給排水衛生設備と給湯システム 【計画内容】上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源についてグループで話し合う。その結果を教室で発表する。とりわけ未来のエネルギー源に関する積極的な展望を期待する。 【準備学習の内容】事前に上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源について自己の立場を整理しておくこと。					F、H	
	第11回	【テーマ】放送設備・昇降設備・防災設備と避難誘導 【計画内容】放送と音響環境、エレベーターとエスカレーター、火災報知機とスプリンクラー、ドレンチャーなどの消火設備、避難設備と2方向避難等を説明。危機管理対策を意識する。 【準備学習の内容】防災設備、避難設備などについて調べてくること。					A	
	第12回	【テーマ】安全な施設運営と効率的な経営 【計画内容】スポーツ施設運営のソフト面を講義する。この点もより大きく施設管理者には求められる。 【準備学習の内容】施設運営に関わる諸問題を調査して、授業時間内でワークシートを完成することができるように準備する。					J、K	
	第13回	【テーマ】体育施設運営士について 【計画内容】管理のソフト面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して学習・討論する。 【準備学習の内容】日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して調べておくこと。					I	
	第14回	【テーマ】体育施設管理士について 【計画内容】管理のハード面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設管理士に関して学習・討論する。 【準備学習の内容】日本体育施設協会公認の体育施設管理士に関して調査しておくこと。					I	
	第15回	【テーマ】まとめ・スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において望まれる施設運営の姿を探る。受講者諸君の意見をまとめる。 【準備学習の内容】15回分の講義のまとめとしてレポートを提出できるように準備する。					G、L	
テキスト	講義時に説明します							
参考書	講義時に提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配補	分足	30%		20%	30%	20%	
質問への対応	随時その都度、直接対応します。							
資格	[ス]JATI認定トレーニング指導者_必修							
その他	届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が極めて困難となります。							

発
展
科
目

科目名	社会教育計画				授業形態	講義	単位数	2
教員名	藤川 和信							
授業の目的	ねらい	生涯学習社会の構築をめざし、地域の振興策を考える上で社会教育が果たす役割は大変重要なものがあります。社会教育を進める際にその指針となるのが社会教育計画です。社会教育計画を策定するための基本的な考え方を踏まえ、様々な事例を検討しながら計画策定の方法について学びます。授業形態については「講義」を中心に行いますが、内容に応じて「グループ討議」や「演習」などを取り入れながら進めていきます。						
	到達目標	(1)社会教育計画策定の基礎原理、策定手順に関する理論的枠組みが説明できる。 (2)社会教育における「学習プログラム」を企画することができる。 (3)自らすすんで課題を発見し、解決する姿勢をもつことができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】今年度の授業計画について説明し、各自受講するにあたっての目的意識を明確にします。各自の目標をワークシートに記入してもらいます。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】社会教育計画の意義と役割 【計画内容】社会教育計画の意義と役割について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A	
	第3回	【テーマ】社会教育計画策定の視点と方法 【計画内容】社会教育計画を策定する上での視点、方法、評価などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】社会教育計画策定の手順 【計画内容】社会教育計画策定の手順と各様式との関連について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A	
	第5回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用Ⅰ 【計画内容】社会教育調査の定義と種類、意義と方法について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、G	
	第6回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用Ⅱ 【計画内容】社会教育調査の企画、調査票の作成、データの分析、活用方法などについて学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、G	
	第7回	【テーマ】学習情報提供・学習相談Ⅰ 【計画内容】学習情報とは何かについて、また学習情報提供の方法について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A	
	第8回	【テーマ】学習情報提供・学習相談Ⅱ 【計画内容】学習相談の意義について、また学習相談と相談員について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A	
	第9回	【テーマ】社会教育の広報・広聴 【計画内容】社会教育における広報の意義と実際、広聴の意義と実際について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、G	
	第10回	【テーマ】社会教育の評価 【計画内容】評価の意義と視点、事業評価の内容と方法、学習評価の内容と方法などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A	
	第11回	【テーマ】社会教育事業計画の実際Ⅰ 【計画内容】社会教育事業計画の必要性と計画の構造について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、B、H	
	第12回	【テーマ】社会教育事業計画の実際Ⅱ 【計画内容】各種事業の企画、学習プログラム、展開プログラムの作成について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、B、F、H	
	第13回	【テーマ】演習Ⅰ：青少年と社会教育計画 【計画内容】青少年を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B、H	
	第14回	【テーマ】演習Ⅱ：成人と社会教育計画 【計画内容】成人を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B、H	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできたことを振り返り、社会教育計画策定の意義などについて再確認します。 【準備学習の内容】これまでの講義の内容や取り組みをまとめておくこと。					A、L	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%		30%		30%	10%	
	補足			レポート		出欠等	毎回のワークシート	
質問への対応	講義時に受け付けます。							
資格	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修							
その他	毎時間の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。 第16回に最終評価のための確認テストを行います。							

科目名	社会教育課題研究			授業形態	講義	単位数	2
教員名	宗本 和博						
授業の目的	ねらい	近年、各自治体や学校、各種公共等機関はもちろん各団体や民間事業においても、いわゆる社会教育活動が益々盛んになっています。変化の激しい時代にあつて、新たな社会的課題や地域課題が増大し「組織的な教育活動としての社会教育」が多方面に広がりを見せているのです。本講ではそれらの社会教育の諸課題をどうおさえ、どうとらえるかなどについて、幾つかの課題に絞って考究していきます。					
	到達目標	(1)多様で広範な社会教育課題についてそれらのとらえ方、考え方等について理解する。 (2)社会教育を推進する上で、その中心的な役割を担う社会教育主事の役割について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス。「社会教育課題」の概要 【計画内容】 社会教育課題の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、授業計画、授業形態について把握します。 【準備学習の内容】 シラバスを一読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 現代的課題と社会的課題 【計画内容】 「現代的課題」や新しい社会的課題について、その意味や時代的背景を学ぶとともに、それらが社会教育課題としてどうとらえ、どう考えたらよいのかを学びます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料を読んで、現代的課題や新しい社会的課題について考えておくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】 社会教育の機能・役割を担う社会教育主事の資質 【計画内容】 広く社会教育の機能・役割を担う人材、特に社会教育主事等の資質と能力とは何か、その役割や在り方などについて、グループ討議をとおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第4回	【テーマ】 社会教育現場における「危機管理」 【計画内容】 社会教育現場で問われる危機管理の考え方や実際を学び、特に防災・安全等の事例に基づき、グループでその対応策をまとめます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第5回	【テーマ】 社会教育における「連携・協力」と「ネットワーク」 【計画内容】 社会教育を推進していく上で、地域や学校、各種機関、各団体との連携・協力をどう進めていくのか。その「連携・協力」の意味や意義をおさえ、どのようにネットワーク化していくのか、グループ討議をとおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第6回	【テーマ】 社会教育課題としての情報社会 【計画内容】 社会教育を推進するにあたり、情報化の課題(特に情報通信技術の課題等)について学び、どのように社会教育実践に結びつけていくのかを学びます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】 社会教育課題としての環境保全問題 【計画内容】 社会教育を推進する上で環境保全問題について広く学ぶことは大切です。資料を見ながら、グループで意見交流をとおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第8回	【テーマ】 社会教育課題としての健康問題 【計画内容】 社会教育計画を策定する上で健康とは何か、というおさは大切です。特に「変化の激しい社会を生き抜く力と健康」という視点からグループ討議等をととして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第9回	【テーマ】 社会教育施設の在り方と課題 【計画内容】 社会教育施設に求められる機能と課題は何か。各地域の事例等をもとにグループの意見交流をとおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第10回	【テーマ】 社会教育課題としての青少年教育 【計画内容】 青少年にとって自然体験、ボランティア活動などの社会体験、国際交流など、様々な体験活動が何故必要なのか。資料を見ながらグループ等の意見交流をとおして学びます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第11回	【テーマ】 社会教育課題としての少子・高齢問題 【計画内容】 資料に基づき、少子・高齢問題のその背景や現状について学びます。そらの課題解決のためにどうしたよいかなど、グループ等で意見交流をとおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第12回	【テーマ】 社会教育課題としての男女共同参画社会 【計画内容】 変化の時代にあつて、地域力を高めていくためには、女性も男性も活躍できる地域社会の形成が大切です。特に女性の力を発揮できる社会はどうあらねばならないかなどについてもグループで討議することをおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第13回	【テーマ】 社会教育と家庭教育支援 【計画内容】 社会教育として家庭教育支援の在り方はどうしたらよいのか、資料を見ながら、グループ等で意見交流をとおして学びを深めます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第14回	【テーマ】 社会教育と地域づくり 【計画内容】 配付資料から地域づくりの実践と課題について学びます。家庭・学校・地域の連携、そして協働をどのように展開していくのか、グループ討議、グループ発表をとおして学びます。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料をよく読んでおくこと。					A、L
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 これまで学んできたことを振り返り、社会教育における多様な課題について整理します。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容をまとめておくこと。					A、K
テキスト	講義時に説明します						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		35%	15%
	補足			レポート等		関心意欲等	ワークシート等
質問への対応	口頭の質問には口頭もしくは文書で、文書の場合は文書で回答します。						
資格	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修						
その他							

科目名	社会教育課題演習		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	阿部 豊						
授業の目的	<p>社会教育における学習者である成人や青少年の学習課題を明らかにし、社会教育施設の見学や、事業の企画・立案などの演習をととして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解を深めるとともに、社会教育主事任用資格に必要なすべての科目にも着目しながら総合的に学習する。</p> <p>(1)社会教育の意義と歴史的展開について理解する。 (2)社会教育行政、社会教育職員について理解する。 (3)演習をととして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解する。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】「生涯学習・社会教育」とは 【計画内容】生涯学習・社会教育の理念や意義、歴史的展開について学ぶとともに、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【準備学習の内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項を整理しておく。				A	
	第2回	【テーマ】生涯学習・社会教育関連法令 【計画内容】生涯学習・社会教育に関連する法令について体系的に学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、関連法令について考えておく。				A	
	第3回	【テーマ】社会教育行政と社会教育職員 【計画内容】社会教育行政の意義と社会教育職員の職種や役割について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育職員について考えておく。				A	
	第4回	【テーマ】社会教育施設の意義と連携 【計画内容】公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の社会教育施設の役割・機能、各施設間の連携の意義について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、各種社会教育施設の特色について考えておく。				A	
	第5回	【テーマ】社会教育における学習課題(1) 【計画内容】社会の変化に伴う様々な問題点に着目し、成人や青少年の学習課題の変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会の急激な変化とその対応について考えておく。				A、H	
	第6回	【テーマ】社会教育における学習課題(2) 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境等の変化から生じる様々な問題点を踏まえ、青少年の学習課題を明らかにする。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、青少年の体力や学力、基本的な生活習慣などについて考えておく。				A、B	
	第7回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(1) 【計画内容】公民館、図書館、民間が運営する生涯学習関連施設を見学し、社会教育主事や司書から、施設の課題や経営方法について学ぶ(砂川市内の社会教育施設等で実施)。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、砂川市内の社会教育施設等の概要を把握しておく。				A、B	
	第8回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(1) 【計画内容】様々な社会教育事業の事例から、その必要性と企画・立案の視点について学ぶ(ネイバル砂川で実施)。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育事業の必要性について考えておく。				A、B、J	
	第9回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(2) 【計画内容】第6回授業で明らかにした青少年の学習課題を学習目標としてとらえ、目標を達成するための事業の必要性について学ぶ(ネイバル砂川で実施)。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、学習目標と学習内容の関連について考えておく。				A、B	
	第10回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際(1) 【計画内容】レクリエーションの企画について、演習をととして体験的に学ぶ(ネイバル砂川で実施)。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、アイスブレイクの展開方法などについて考えておく。				A、B	
	第11回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際(2) 【計画内容】グループに分かれて、実際にレクリエーションを企画し、その企画を発表、相互に体験・交流することをとおして、レクリエーションの意義などについて学ぶ(ネイバル砂川で実施)。 【準備学習の内容】事前にグループ編制を行うので、グループごとに企画の内容について考えておく。				B、H	
	第12回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(3) 【計画内容】第8回授業・第9回授業を基に、必要な学習内容(プログラム)を考え、青少年を対象とした事業の企画・立案を行う(ネイバル砂川で実施)。 【準備学習の内容】青少年の問題点等が明らかになるデータ等、資料を準備しておく。				A、B	
	第13回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(2) 【計画内容】博物館を見学し、学芸員から博物館の課題と経営方法について学ぶ(滝川市内の博物館で実施)。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、滝川市自然史美術館・子ども科学館の概要について把握しておく。				A、B	
	第14回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(4) 【計画内容】第12回授業を基に、学習に必要な教材や講師、学習の展開方法など、より具体的な企画・立案を行う。 【準備学習の内容】事前に配付した資料(青少年教育施設の主催事業の例)に基づき、事業の展開方法について考えておく。				B	
	第15回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(5) 【計画内容】演習をととして、企画・立案した事業について、相互に発表・交流を行い、社会教育事業の在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】事業の必要性や目的、特色などをまとめ、効率的なプレゼンテーションとなるよう準備しておく。				F	
テキスト	プリントを使用する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート等		授業内課題等	
質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会でご直接対応します。						
資格	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修						
その他	11月11日(月)から11月14日(木)に、ネイバル砂川で行う3泊4日の演習に参加すること。 (第1回授業で、宿泊を伴う演習の内容等、授業の計画について詳しく説明します。)						

科目名	社会教育施設論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	阿部 豊							
授業の目的	ねらい	社会教育施設とは、社会教育に関する事業をととして、市民に教育的・文化的サービスを提供することを主な目的とした公の教育施設である。まず、これらが設置された経緯、役割と機能について理解した上で、施設をめぐる課題と新たな動向を探り、これからの社会教育施設の在り方について学習する。						
	到達目標	(1)社会教育施設が設置された経緯について理解する。 (2)社会教育施設の特徴、役割と機能について理解する。 (3)社会教育施設の課題を踏まえ、これからの施設の在り方について理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】社会教育施設の概要 【計画内容】社会教育施設の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、計画について把握する。 【準備学習の内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項を整理しておく。						A
	第2回	【テーマ】社会教育施設の設置の経緯 【計画内容】社会教育施設が設置された経緯や社会的背景、学習者の変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設が設置された経緯について考えておく。						A、H
	第3回	【テーマ】公民館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】公民館に関連する法令、公民館の役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、関連する法令について考えておく。						A
	第4回	【テーマ】公民館の課題と経営 【計画内容】公民館の現状と課題を理解し、公民館の経営方法について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、公民館の課題について考えておく。						A
	第5回	【テーマ】図書館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】図書館に関連する法令、図書館の役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、関連する法令について考えておく。						A
	第6回	【テーマ】図書館の課題と新たな動向 【計画内容】図書館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な図書館活動について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、図書館の新たな動向について考えておく。						A、J
	第7回	【テーマ】博物館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】博物館に関連する法令、博物館の種類、それらの役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、博物館の種類について考えておく。						A
	第8回	【テーマ】博物館の課題と新たな動向 【計画内容】博物館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な博物館の経営について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、博物館の新たな動向について考えておく。						A、J
	第9回	【テーマ】青少年教育施設の法的根拠と役割・機能 【計画内容】青少年教育施設に関連する法令、青少年教育施設の役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、青少年教育施設の役割について考えておく。						A
	第10回	【テーマ】青少年期の課題と青少年教育施設の支援 【計画内容】青少年期、特に現代の少年期の課題を理解し、事例研究から、青少年教育施設における体験活動機会の提供について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、体験活動の意義について考えておく。						A、J
	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設の種類の役割 【計画内容】社会教育施設以外の学習施設について理解し、その役割について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、生涯学習関連施設の種類の役割について考えておく。						A
	第12回	【テーマ】社会教育施設職員と施設経営 【計画内容】社会教育施設職員の職種と役割について理解し、施設経営の在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設職員の職種と役割について考えておく。						A
	第13回	【テーマ】施設ボランティアの活動 【計画内容】社会教育施設でのボランティア活動の事例から、施設ボランティアの在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設でのボランティア活動について考えておく。						A、H、J
	第14回	【テーマ】社会教育施設の管理運営に関する諸課題 【計画内容】施設の管理運営には、多様な形態があることを理解し、事例研究から、それぞれの課題と今後の方向性について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、施設の多様な管理運営について考えておく。						A、J
	第15回	【テーマ】情報化社会と社会教育施設 【計画内容】情報通信技術の発達について理解し、社会教育施設の情報化について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設の情報化について考えておく。						A
テキスト	プリントを使用する							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補足				レポート等		授業内課題等		
質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会等で直接対応します。(質問することによって課題を解決し、社会教育施設に対する理解をさらに深めてください。)							
資格	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必							
その他	成績評価については、社会教育に対する関心を高め、社会教育施設への理解を深めてもらうため、毎回の授業を重視します。(毎回、授業内課題を提示し、評価の下次回の授業でお返しします。)							

発展科目

学部共通科目

科目名	リカレント教育論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木 邦子							
授業の目的	ねらい	リカレント教育とは、成人が学習の場に戻り再び職業へ復帰することをいう。生涯学習の範疇の一つであり、成人が学習する場合の重要な要素として位置づけられている。欧米では、主に職業的な向上を目指す教育として実施されてきたが、現在では満足感、達成感など精神的な面での効果も明らかになっている。そこで、本講義では、リカレント教育の日本での状況と、先進事例として、アクティブラーニングにより、学生の主体的で、かつ動的な学習を推進する。						
	到達目標	(1)OECD、ユネスコ、ILOなどの国際機関がリカレント教育をどのように取り扱ったかを理解する。 (2)学習社会が進んでもEducation by educationの実態があることを理解する。 (3)リカレント教育先進国の事例を学習する。 (4)日本でリカレント教育が発達しなかった理由について、ILOの条約採択による諸外国との違いを理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス リカレント教育の基本的な考え方の説明 【計画内容】リカレント教育についての基礎を話し、講義の目標と進め方を説明する。また講義の実施方法として、アクティブ・ラーニングを取り入れて実施することを確認する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】日本における生涯学習の成り立ちの復習 【計画内容】「生涯学習論」で学習した内容を復習し、リカレント教育につなげていく。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。					A	
	第3回	【テーマ】リカレント教育が日本で進行しなかった社会的背景 【計画内容】我が国の雇用慣行との関連について説明する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】生涯学習政策の変化によって日本においてもリカレント教育の展開に変化が見られた点を確認 【計画内容】生涯学習が受け入れられたが、リカレント教育は当初の予測に反しそれほど発展しなかった。その後の生涯学習政策の転換によってリカレント教育にも進展の兆しが出てきたことを確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第5回	【テーマ】OECD・ユネスコにおけるリカレント教育の展開 【計画内容】OECDやユネスコでは、リカレント教育をどのように位置づけ展開したのか学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第6回	【テーマ】ILOの有給教育休暇がリカレント教育の進展に与える影響の考察 【計画内容】ILOの有給教育休暇とリカレント教育の関連性について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					K	
	第7回	【テーマ】中間まとめとしての課題 【計画内容】中間的なまとめとして前半に学習した内容について整理する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					G	
	第8回	【テーマ】フランス社会と学校教育制度の概観 【計画内容】アソシアシオンなどフランス流の生涯学習がリカレント教育とどのように関わるのか学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第9回	【テーマ】フランスにおけるリカレント教育 【計画内容】フランスでの生涯学習やリカレント教育の発展経緯を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第10回	【テーマ】スウェーデン社会と学校教育制度の概観 【計画内容】スウェーデンの社会や学校教育制度を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第11回	【テーマ】スウェーデンにおけるリカレント教育 【計画内容】リカレント教育を政策として展開した国はスウェーデンしかないことに関して制度をよく学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第12回	【テーマ】ドイツの社会と学校教育制度の概観 【計画内容】ギムナジウムやデュアルシステムなど特殊なドイツの学校教育制度を確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第13回	【テーマ】ドイツにおけるリカレント教育 【計画内容】ドイツ社会の中で、成人教育と中等教育が密接に絡んでいることを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第14回	【テーマ】リカレント教育に対する諸外国と日本の違いとその背景 【計画内容】リカレント教育に対する諸外国と日本の違いとその背景について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					H	
	第15回	【テーマ】リカレント教育の課題を再確認 【計画内容】リカレント教育と生涯学習の課題は合致する内容があることを学習し、今後の学習に役立てる。 【準備学習の内容】これまでの復習をし、使用したプリントを持参する。					A	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		25%		15%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必							
その他	シラバスをよく読んで、真剣に最後まで学習しようという人に履修していただきたいと思います。 一か国について、各自で調べレジュメを作成、それを発表する形式をとり、アクティブ・ラーニングに対応させます。							

教 育 学 科
学 科 专 门 科 目

科目名	学校ボランティア活動Ⅰ				授業形態	実習	単位数	1
教員名	二宮 孝行							
授業の目的	ねらい	学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、授業参観やボランティア活動などを通して教育現場の実際を体験し、学校教育への理解を深めます。さらには、教員を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。						
	到達目標	(1)授業参観などを通して、学校教育における学習指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解する。						
授業の計画	【計画内容】	1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。						A
		2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内等の小・中学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。						M
		3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかわり方について理解を深める。						H、J
		4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間:8回実施 24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。自己課題に基づき、活動記録を記載し、振り返る。						D
		5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ、交流することにより、新たな目標を設定する。						L
	【準備学習の内容】	資料や記録の下調べや活動の成果と課題をまとめておく。						
テキスト	講義時に説明します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分					80%	20%	
	補足					活動記録などによる	活動記録などによる	
質問への対応	随時、対応します。							
資格								
その他	この科目の単位は、教育職員免許状に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。							

科目名	学校ボランティア活動Ⅰ		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	今野 洋子、佐藤 朱美						
授業の目的	ねらい	<p>教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の学校教育を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、現場での授業を参観・協議したり、学校ボランティア活動を体験するなど、教育現場の実際を目と体で体験することで、学校教育への理解を深めます。さらには、教師を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。</p> <p>講義を3回行ってから、ボランティア活動を行います。終了後にも講義を行います。</p>					
	到達目標	<p>(1)研究授業の参観を通して、学校教育における教科指導の実態を把握する。</p> <p>(2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。</p> <p>(3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。</p>					
授業の計画	【計画内容】	<p>1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。</p> <p>2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内の小学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。</p> <p>3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかわり方について学びを深める。</p> <p>4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間:8回実施 24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 「子どもたちとともに学ぶ」という姿勢で取り組みましょう。個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。 必ず各自で課題を設定し、目標を持って取り組み、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。</p> <p>5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ交流することで、新たな目標を設定する。</p>				A、L	
	【準備学習の内容】	<p>シラバスを熟読すること。</p> <p>事前に配付した研究会資料から自分の参加する分科会を決め、公開授業の単元の下調べをしておくこと。</p> <p>研究会の記録をまとめておくこと。</p> <p>ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。</p> <p>活動内容をA4・1枚にまとめておくこと。</p>				L、M F、G、L D、G、L、M F、G、L	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	<p>文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社</p> <p>文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説 特別活動編』、東洋館出版社</p> <p>文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説 総則編』、東洋館出版社</p> <p>文部科学省、『中学校学習指導要領』</p> <p>文部科学省、『高等学校学習指導要領』</p>						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足			参加ごとに研究会参加記録			受け入れ校の評価・巡回時の評価
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。						
資格							
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

科目名	学校ボランティア活動Ⅱ		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	二宮 孝行						
授業の目的	ねらい	学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、「学校ボランティア活動Ⅰ」の成果を踏まえ、教育現場の実際を体験し、学校教育への理解を一層深めます。さらには、教員を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。					
	到達目標	(1)授業参観などを通して、学校教育における学習指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子をさらに深く理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。					
授業の計画	【計画内容】	1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。				A	
		2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内等の小・中学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。				M	
		3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかわり方について理解を深める。				H、J	
		4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間:8回実施 24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。自己課題に基づき、活動記録を記載し、振り返る。				D	
		5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ交流することにより、新たな目標を設定する。				L	
	【準備学習の内容】	資料や記録の下調べや活動の成果及び課題をまとめておくこと。					
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					80%	20%
	補足					活動記録などによる	活動記録などによる
質問への対応	随時、対応します。						
資格							
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

科目名	学校ボランティア活動Ⅱ		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	今野 洋子、佐藤 朱美						
授業の目的	ねらい	<p>教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の学校教育を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では「学校ボランティア活動Ⅰ」の成果と課題を踏まえ、目標を持って学校教育ボランティアに取り組みます。特に、学校行事の参観を通して、児童・生徒の活動の様子を観察することで、教育活動における特別活動の意義や運営のしかた、教師の協業体制の重要性について学び、学校教育活動を総合的に理解する目を育みます。</p> <p>講義を3回行ってから、ボランティア活動を行います。修了後にも講義を行います。</p>					
	到達目標	<p>(1)学校行事の参観を通して、学校教育における特別活動の実態を把握するとともに、教師の協業の重要性を理解する。</p> <p>(2)学校ボランティア活動の成果と課題を踏まえ、自分の課題を解決するために、さらなるボランティア活動を実践する。</p> <p>(3)様々な体験を交流することで、自らの学校教育に対する理解を深めることができる。</p>					
授業の計画	【計画内容】	<p>1. 学校ボランティア活動の進め方(90分) 学校ボランティア活動をさらに充実させるために、「学校ボランティア活動Ⅰ」での成果と課題を見直し、具体的な目標作りをする。</p> <p>2. 特別活動の参観(2時間) 学校ボランティア実践校での学校行事を参観し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。</p> <p>3. 参観した学校行事の交流(90分) 参観した学校行事の内容についての交流を通して、児童・生徒の活動の様子や学年の発達段階を把握し、さらなる学校ボランティア活動での意欲を高める。</p> <p>4. 学校現場でのボランティア活動(1日3時間:8回実施 24時間) アシスタントティーチャーを実践することで、児童の行動生活の様子を理解する。 自分の学んできたことを活かすとともに、新しい事にチャレンジする気持ちで取り組みましょう。 学校行事や体験活動の補助、授業の少人数指導、個別指導、チームティーチング、総合的な学習の時間の補助等を行う。 必ず各自で課題を設定し、目標を持って活動し、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。</p> <p>5. 学校ボランティアの交流(90分) それぞれの現場体験を交流することで、各校種の子どもの発達段階を理解するとともに、教育実習に向けて自らの実践目標を設定する。</p>				G、L	
	【準備学習の内容】	<p>「学校ボランティア活動Ⅰ」で設定した目標と活動記録を熟読すること。 学校行事計画を実践校からいただき、事前に児童・生徒の活動や教師のかかわりについて理解を深めておく。 学校行事参加の記録を、児童・生徒の活動、教師のかかわりの2点からまとめておくこと。 ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。 活動記録を読み返し、成果や課題を整理しておくこと。</p>				G、L、M F、G、L D、G、L、M F、L	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	<p>文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領』</p> <p>文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説 特別活動編』、東洋館出版社</p> <p>文部科学省、2008年、『小学校学習指導要領解説 総則編』、東洋館出版社</p> <p>文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』</p> <p>文部科学省、2008年、『高等学校学習指導要領』</p>						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足			参加ごとに研究会参加記録			受け入れ校の評価・巡回時の評価
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。						
資格							
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

学
教
科
専
門
学
科
目
科

科目名	卒業研究				授業形態	演習	単位数	4
教員名	担当教員							
授業の目的	ねらい	本科目の目的は、幼児・児童・生徒を取り巻く環境をはじめ、あらゆる社会環境の変化の中から課題を見だし解決に取り組むことや、学問探究を深めることである。それぞれ探究する分野について、テーマの設定、そのテーマに関する先行資料の調査、課題の洗い出し、それらへの解決策の探究を通じて、実践的な問題解決能力を養うことが目的である。						
	到達目標	(1)幼児・児童・生徒を取り巻く環境をはじめ、あらゆる社会環境の変化の中から課題を見いだすことができる。 (2)課題を解決するために、研究テーマを設定し、テーマに沿った卒業研究をまとめることができる。 (3)研究テーマに応じて、適切な手法で卒業研究を発表することができる。						
授業の計画	【計画内容】	第1～29回 担当教員が指示する。 詳細については、各指導教員から配付される授業計画書を参考にしてください。						B、C、E、 F、G、H、 I、J、M
		第30回 卒業研究論文発表会						N
	【概要】	○初等教育コース 研究成果の提出は、卒業論文及び研究抄録とする。 研究発表は、口頭発表もしくはポスター発表とする。 ○幼児教育コース 研究成果の提出は、作品もしくは卒業論文、及び研究抄録とする。 研究発表は、口頭発表、もしくは実演、もしくはポスター発表とする。 ○養護教諭コース 研究成果の提出は、卒業論文及び研究抄録とする。 研究発表は、口頭発表とする。 ○音楽コース 研究成果の提出は、演奏実技及び研究抄録とする。 研究発表は、演奏の実演を行う。						
	【準備学習の内容】	各指導教員より説明します。						
テキスト	各指導教員より説明します							
参考書	各指導教員より説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分						100%	
	補足						各コース、指導教員により提示する	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」は同一教員を原則とします。 「卒業研究」は、4年間の学問探究の集大成となります。取り組む上での苦労とともに、それ以上の達成感を得ることができるので、真剣に取り組むことが望まれます。 評価の実施時期の補足：本科目への取組姿勢、卒業研究（論文等）の完成度から担当教員が決定したそれぞれの比率に基づいて、総合的に判断し評価します。また、全てのコースで、発表も評価の材料とします。							

科目名	知的障害教育Ⅱ				授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤 聡							
授業の目的	ねらい	特別支援教育では、実態把握と学習指導要領(自立活動を含む)をふまえながら、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」が立案され、授業が展開されています。本講義では、実態把握の方法と学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深めながら、特別支援学校(知的障がい)で指導されている授業指導案の立案、演習を行います。						
	到達目標	(1)実態把握のための心理検査の実施方法を習得する。 (2)特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深める。 (3)「個別の指導計画」の内容の理解を目指す。 (4)指導の形態に応じた、指導案の作成を目指す。						
授業の計画	第1回	【テーマ】心理検査1:S-M社会生活能力検査 【計画内容】「S-M社会生活能力検査」などについて学ぶ。 【準備学習の内容】ソーシャルスキルとの関連を予習すること。					A、J、L	
	第2回	【テーマ】心理検査2:絵画語い発達検査 【計画内容】「絵画語い発達検査」などについて学ぶ。 【準備学習の内容】「絵画語い発達検査」について予習すること。					A、J、L	
	第3回	【テーマ】心理検査3:視知覚検査 【計画内容】「視知覚検査」などについて学ぶ。 【準備学習の内容】「視知覚検査」を予習すること。					A、J、L	
	第4回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解の深化 【計画内容】特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の内容の理解を深める。 【準備学習の内容】他の発達検査についても学習しておくこと。					A、L	
	第5回	【テーマ】「教科教育」1:展開 【計画内容】「教科教育」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【準備学習の内容】「教科教育」について予習すること。					A、L	
	第6回	【テーマ】「教科教育」2:指導略案の作成 【計画内容】「教科教育」の指導略案を作成する。 【準備学習の内容】指導案の略案を作成しておくこと。					A、J、L	
	第7回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、L、N	
	第8回	【テーマ】「生活単元学習」1:展開 【計画内容】「生活単元学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【準備学習の内容】「生活単元学習」について予習すること。					A、L	
	第9回	【テーマ】「生活単元学習」2:指導略案の作成 【計画内容】「生活単元学習」の指導略案を作成する。 【準備学習の内容】「生活単元学習」について略案を作成しておくこと。					A、J、L	
	第10回	【テーマ】「作業学習」1:展開 【計画内容】「作業学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【準備学習の内容】「作業学習」について予習すること。					A、L	
	第11回	【テーマ】「作業学習」2:指導略案の作成 【計画内容】「作業学習」の指導略案を作成する。 【準備学習の内容】「作業学習」について略案を作成しておくこと。					A、J、L	
	第12回	【テーマ】「遊びの指導」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、J、L	
	第13回	【テーマ】「作業学習」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、J、L	
	第14回	【テーマ】「生活単元学習」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、J、L	
	第15回	【テーマ】「個別の指導計画」の理解 【計画内容】個別の指導計画の案を完成する。 【準備学習の内容】「個別的教育支援計画」との関連を予習すること。					A、J、L	
テキスト	文部科学省、『特別支援学校:幼稚園教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領』、海文堂出版、430312432							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	80%		10%		10%		
補足								
質問への対応	講義の最初に説明します。							
資格	[教][ス]特支1種_必修							
その他								

科目名	肢体不自由教育Ⅱ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	石川 大						
授業の目的	ねらい	日本の肢体不自由教育史について理解し、肢体不自由のある幼児、児童生徒に対する教育について、指導内容・方法の基礎的・応用的な理論と先駆的な指導実践の中から理解を深める。また、特別支援学校(肢体不自由)の教育課程と特に自立活動の指導における6区分の内容と指導について学ぶ。更に、摂食指導や医療的ケアといった日常の健康維持・向上や生命の維持に不可欠な内容について理解を深める。					
	到達目標	(1)日本の肢体不自由教育史について、その歴史的発展と展望、現状と課題について学ぶ。 (2)特別支援学校(肢体不自由)における教育課程の編成・内容について理解する。 (3)肢体不自由教育における自立活動の具体的な指導内容・方法について理解を深める。 (4)肢体不自由教育における摂食指導や医療的ケアについて理解する。 (5)肢体不自由教育における感覚運動アセスメントとその実際の指導について学ぶ。					
授業計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンスについて 【計画内容】 15回の講義内容について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。			A、F		
	第2回	【テーマ】 日本の肢体不自由教育史について 【計画内容】 我が国の肢体不自由教育史について、その歴史と展望、現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、F		
	第3回	【テーマ】 肢体不自由のある児童生徒の障害認識とアセスメント 【計画内容】 肢体不自由教育における児童生徒の障害について、ICFの理念に基づく障害者観を理解するとともに、各種のアセスメントに関する方法・内容について学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第4回	【テーマ】 肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について 【計画内容】 肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について理解します。特に、ICF(国際生活機能分類)の活用について、その実践成果も学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第5回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導1～「健康の保持」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「健康の保持」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第6回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導2～「心理的な安定」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「心理的な安定」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第7回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導3～「人間関係の形成」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「人間関係の形成」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第8回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導4～「環境の把握」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「環境の把握」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第9回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導5～「身体の動き」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「身体の動き」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第10回	【テーマ】 肢体不自由教育における自立活動の指導6～「コミュニケーション」に関して～ 【計画内容】 肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「コミュニケーション」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第11回	【テーマ】 肢体不自由教育における教科の学習について 【計画内容】 肢体不自由教育における障害特性と教科の学習について理解し、どのような指導方法・内容が必要かを学びます。特に、発達障害における学習障害(LD)との関連と指導方法・内容について理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第12回	【テーマ】 摂食機能の障害と摂食指導の実際について 【計画内容】 摂食機能の障害と摂食指導の実際について学びます。特に、障害の重度・重複化に伴う摂食障害について、本道の実態と取り組みについて理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、B、F、K		
	第13回	【テーマ】 学校で行う医療的ケアの意義と内容について 【計画内容】 学校で行う医療的ケアの意義と内容について、訪問教育における医療的ケアの事例などから、実施のための基礎的知識を学びます。また、医療機関や医療専門職員との連携・協力についても理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、F		
	第14回	【テーマ】 特別支援学校(肢体不自由)における医療的ケアの必要な幼児、児童生徒への対応の実際 【計画内容】 医療的ケアの必要な幼児、児童生徒への対応の実際について学びます。具体的な指導事例などから指導方法・内容の応用的な理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、F		
	第15回	【テーマ】 ICFの理念に基づく特別支援教育のセンター的役割 【計画内容】 ICFの理念に基づく障害者の理解を深め、肢体不自由特別支援学校のセンター的機能の役割について理解します。また、本道における地域支援ネットワークとその機能・役割、連携のあり方についても学びます。 【準備学習の内容】 講義内容について予習しておくこと。			A、F、K		
テキスト	プリントを配付します						
参考書	村田茂、1997年、『新版日本の肢体不自由教育』、慶応義塾大学出版会、4766406575 全国肢体不自由養護学校長会、2005年、『新たな肢体不自由教育実践講座』、ジアース教育新社、4921124474 飯野順子、2006年、『生命の輝く教育を目指して』、ジアース教育新社、4921124612						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足							
質問への対応	講義時や研究室で随時対応します。						
資格	[教][ス]特支1種_必修						
その他							

学
科
専
門
学
科
目
録

科目名	特別支援教育実習			授業形態	実習	単位数	2
教員名	石川 大、石塚 誠之、磯貝 隆之						
授業の目的	ねらい	特別支援学校において、学校経営の方法、学校評価の方法、保護者との連携、児童生徒の安全、地域における特別支援教育のセンター的機能の実際等を理解する。 次に、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の観察を行い、その後に学習指導案を作成し、実際の授業を行う。また、学級経営の基礎や生徒指導についても理解を深める。 実習終了後、反省会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。					
	到達目標	(1)実習校の教育活動を理解することができる。 (2)生徒理解を通じた学級活動の指導ができる。 (3)教科指導等の授業を指導することができる。 (4)実習前に実習先についての学びを深めるとともに、実習の心得を養う。 (5)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。					
授業の計画	【計画内容】	法令や実習学校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行う。					
		1 実習校の教育活動の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の勤務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の指導内容・方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談について					A
	2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通じた学級活動の実習						D
	3 教職の理解 (1)教職への自己の適性判断 (2)教職の使命感・責任感の醸成						D
	4 実習後のまとめ (1)実習後の実習校へお礼状を送る (2)実習報告レポートを作成する (3)実習報告会へ参加する						B
	【準備学習の内容】 『教育実習の手引き』を熟読すること。						
テキスト	プリントを配付します						
参考書	文部科学省、2017年、『特別支援学校幼稚部教育要領』 文部科学省、2017年、『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校高等部学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足				10% 実習日誌	20% 実習への意欲	70% 実習校における評価
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[教]特支1種_必修						
その他	前年度までに定められている科目を修得している必要があること。 教職センター主催の教育実習の事前オリエンテーションには、必ず出席するとともに、教育実習校の事前打ち合わせにも必ず出席すること。また、『教育実習の手引き』の「実習生の心得」と「注意事項」を厳守すること。						

科目名	特別支援実践論Ⅲ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	石川 大、磯貝 隆之							
授業の目的	障害の重度・重複化、多様化している児童生徒の実態把握をする多様なアセスメントの在り方について、考察するとともに、特別支援学校における一人一人の教育的ニーズに応じた指導の在り方について学びます。							
	(1)障害の重度・重複化、多様化している児童生徒の実態把握について理解する。 (2)発達検査、知能検査の諸課題について理解する。 (3)各障害別の諸課題について理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 特別支援教育における諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明します。(石川大・磯貝隆之) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、F	
	第2回	【テーマ】 特別支援教育における学習指導要領 【計画内容】 特別支援教育における学習指導要領の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、K	
	第3回	【テーマ】 特別支援教育における学習指導要領総則編 【計画内容】 特別支援教育における学習指導要領総則編について学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、K	
	第4回	【テーマ】 特別支援教育における学習指導要領自立活動編 【計画内容】 学習指導要領の自立活動学習編について学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第5回	【テーマ】 自立活動学習内容要素表 【計画内容】 一人ひとりのニーズに応じた自立活動学習の内容要素表について学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第6回	【テーマ】 特別支援学校における教育課程の編成 【計画内容】 特別支援学校の教育課程の編成基準と実際の編成の仕方について学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第7回	【テーマ】 教育課程の指導計画 【計画内容】 個々の実態に応じた教育課程の指導計画の作成について学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、B、F、J、K	
	第8回	【テーマ】 視覚障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】 視覚障害の実態に応じた教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(石川大) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第9回	【テーマ】 聴覚障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】 聴覚障害の実態に応じた教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第10回	【テーマ】 肢体不自由者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】 肢体不自由の実態に応じた教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第11回	【テーマ】 病弱者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】 病弱者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第12回	【テーマ】 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第13回	【テーマ】 重複障害者等に関する教育課程 【計画内容】 重度・重複化、多様化している重複障害者の教育課程を編成する際の特例について学びます。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第14回	【テーマ】 特別支援学級、通級による指導における教育課程 【計画内容】 特別支援学級、通級による指導における教育課程を編成する際の特例について学びます。(磯貝隆之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、F、J、K	
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 特別支援教育の在り方について再確認し、学習の習熟度を確認します。(石川大・磯貝隆之) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。					A、F、K、L	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	文部科学省、2017年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版 西川公司、2000年、『重複障害児の指導ハンドブック』、全国心身障害児福祉財団 大南英明、2010年、『学習指導要領と新しい試み』、ジアーズ教育新社、9784863711402							
成績評価の方法	筆記試験	20%	実技試験	20%	課題評価	30%	作品評価	
	配分	20%	20%	30%	30%			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他								

科目名	教職実践演習(幼・小)				授業形態	演習	単位数	2
教員名	中川 洋一、二宮 孝行、伏見 千悦子、山崎 正明							
授業の目的	ねらい	この講義は、教員として必要な資質能力の最終的な形成とその育ちを確認することが大きな目的である。本学科が養成を目指す教師像は、「コーチング」が意味する「学習者を学習者自身の目標に導くこと」を支援できる人材である。そのためには、学習者である子どもの自発的な行動や活動を促し、目標達成を支援する指導技術や能力を身につける必要がある。そこで、学内教員と現場教員の協力を得て、授業実践力と幼児・児童理解や学級経営能力の向上を図り、アクティブラーニングの手法を取り入れながら、実践的な指導力を身につけることをねらいとしている。						
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情を身につける。 (2)社会性や対人関係能力を身につける。 (3)幼児・児童理解や学級経営能力を身につける。 (4)教科・保育内容等について学習者の視点にたった指導力を身につける。						
授業の計画	第1回	【テーマ】学びの軌跡を振り返る 【計画内容】履修カルテをもとに、これまでの学びを確認し、自分自身の課題を明確にする。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A、G	
	第2回	【テーマ】グループ討議1「教育実習を終えて得た事柄と今の自分」 【計画内容】教育実習で得たことのレポートをもとに、今の自分に何が必要かをグループ討議の中から見いだす。 【準備学習の内容】「教育実習で得たこと」を学習指導の視点からA4・1枚にまとめておくこと。					F、H	
	第3回	【テーマ】グループ討議2「教師の責務と愛情」 【計画内容】グループ討議を通して、教師の責務や子どもへの愛情について理解する。 【準備学習の内容】「教育実習で得たこと」を生徒指導の視点からA4・1枚にまとめておくこと。					F、H	
	第4回	【テーマ】学級・保育室経営1「望ましい教室経営の在り方」 【計画内容】学級・保育室経営について、現場教師の実践を聞き、自らの経営の方向性を探る。 【準備学習の内容】自身の学級経営にかかわる課題について、様々な資料をもとに調べておくこと。					H、J	
	第5回	【テーマ】学級・保育室経営2「担任の役割や実務(含む事務)」 【計画内容】担任の役割について、現場教師の実践を聞き、担任業務の内容を知るとともに、担任としての見通しを持つ。 【準備学習の内容】担任の役割や事務について、あらかじめ書籍等で調べておくこと。					A、H	
	第6回	【テーマ】学級・保育室経営3「学級経営案の作成」 【計画内容】現場教師の実際の学級経営の話聞き、学級経営案の書き方を学ぶ。 【準備学習の内容】学級経営案について、書籍等で調べておくこと。					A、G	
	第7回	【テーマ】学級・保育室経営4「4月当初の実務内容」 【計画内容】一番忙しい新学期の実務について理解を深めることで、教師生活をスムーズにスタートさせられるよう準備する。 【準備学習の内容】事前配付資料に目を通しておくこと。					A、H	
	第8回	【テーマ】学級・保育室経営5「教室掲示・環境づくり」 【計画内容】子どもの学習を意欲的なものとする教室の環境整備の在り方を演習を交えて学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付資料に目を通しておくこと。					B、F、H	
	第9回	【テーマ】保護者からの要望・苦情の対応1 【計画内容】保護者からの要望への対応について、ロールプレイングの手法を用いて学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付資料に目を通しておくこと。					N	
	第10回	【テーマ】保護者からの要望・苦情への対応2 【計画内容】保護者からの苦情への対応について、ロールプレイングの手法を用いて学ぶ。 【準備学習の内容】事前配付資料に目を通しておくこと。					N	
	第11回	【テーマ】学習者の視点に立った授業実践力を磨く1 【計画内容】研究会に参加し、学習者の立場に立った指導の在り方を学ぶ。 【準備学習の内容】研究会で参観する授業について調べ、自分なりの指導の展開をイメージしておくこと。					M	
	第12回	【テーマ】学習者の視点に立った授業実践力を磨く2 【計画内容】研究会の授業を教科ごとに科目担当教員とともに模擬授業方式で検証し、学習者の立場に立った板書や発問の在り方を学ぶ。 【準備学習の内容】研究会で参観する授業について調べ、自分なりの指導の展開をイメージしておくこと。					M	
	第13回	【テーマ】フィールドワークの交流1 【計画内容】研究会や研修での経験を交流し、子どもの発達段階をとらえる。 【準備学習の内容】子どもの発達段階の視点について、予習しておくこと。					F、M	
	第14回	【テーマ】フィールドワークの交流2 【計画内容】研究会や研修での経験を交流し、望ましい教師の在り方について協議する。 【準備学習の内容】望ましい教師の在り方の視点について、予習しておくこと。					F、M	
	第15回	【テーマ】現代の教育課題を踏まえた、教育観・指導観・子ども観などの在り方 【計画内容】これまでの授業を振り返り、教師としての仕事への強い意識を育む。 【準備学習の内容】今後の仕事に対する意気込みをまとめておくこと。					G、K	
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、4491034605 文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、4577814226							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法	配分補足	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
			30%	30%	30%		10%	
			交流作品	課題レポート	まとめレポート		作品制作等	
質問への対応	随時対応します。							
資格	[教]幼・小1種_必修							
その他	「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みであること。 この講義は、教員としての深い知識や望ましい行動、そして多様な業務内容を理解することで、4月から教師として働く準備となる講義です。毎時課題を解決しながら、より真剣に取り組んでほしいものです。実践的な内容を重視します。							

科目名	理科指導法Ⅲ			授業形態	講義	単位数	2
教員名	横山 光						
授業の目的	ねらい	小学校教育における、各学年の理科の目標と内容を理解し、自然体験や日常生活との関連を図った学習及び自然環境と人間との関わりなどの学習に重点を置いて、児童と同じような視点で自然や様々な現象に対する疑問をいだき、それを科学的に追求することの楽しさを分かち合える指導原理を学びます。また、模擬授業を通して、実践力を高めま					
	到達目標	(1)各学年の理科の目標と内容を理解している。 (2)各学年で実施する観察・実験の方法や、留意点について理解している。 (3)子供の素朴概念を重視した、観察・実験や授業の構成をすることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「理科概論」、「理科指導法Ⅰ」、「理科指導法Ⅱ」の内容を復習しながら、本講義にて扱う学習内容について概要を学びます。 【準備学習の内容】シラバスで15回の流れを十分に確認しておくこと。また、これまでの講義で使用した教科書を用いて復習しておくこと。					L
	第2回	【テーマ】児童の素朴概念① 【計画内容】自然事象に対する児童の素朴概念をどのように引き出し、主体的な学びへとつなげるか議論します。 【準備学習の内容】事前に提示された単元に関して、児童がもつと思われる事例を調べておくこと。					H
	第3回	【テーマ】児童の素朴概念② 【計画内容】自然事象に対する児童の素朴概念をどのように引き出し、主体的な学びへとつなげるか議論します。 【準備学習の内容】事前に提示された単元に関して、児童がもつと思われる事例を調べておくこと。					H
	第4回	【テーマ】児童の素朴概念③ 【計画内容】自然事象に対する児童の素朴概念をどのように引き出し、主体的な学びへとつなげるか議論します。 【準備学習の内容】事前に提示された単元に関して、児童がもつと思われる事例を調べておくこと。					H
	第5回	【テーマ】観察・実験の検証① 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【準備学習の内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。					C、H
	第6回	【テーマ】観察・実験の検証② 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【準備学習の内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。					C、H
	第7回	【テーマ】観察・実験の検証③ 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【準備学習の内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。					C、H
	第8回	【テーマ】観察・実験の検証④ 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【準備学習の内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。					C、H
	第9回	【テーマ】模擬授業の計画① 【計画内容】前時までに検討した観察・実験を含む授業について、模擬授業を行うための指導案を検討します。 【準備学習の内容】簡単な指導案を事前に作成しておくこと。					H
	第10回	【テーマ】模擬授業の計画② 【計画内容】前時までに検討した観察・実験を含む授業について、模擬授業を行うための指導案を検討します。 【準備学習の内容】簡単な指導案を事前に作成しておくこと。					H
	第11回	【テーマ】模擬授業① 【計画内容】計画した観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【準備学習の内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。					F、H
	第12回	【テーマ】模擬授業② 【計画内容】計画した観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【準備学習の内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。					F、H
	第13回	【テーマ】模擬授業③ 【計画内容】計画した観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【準備学習の内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。					F、H
	第14回	【テーマ】模擬授業④ 【計画内容】計画した観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【準備学習の内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。					F、H
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本講義で扱った各領域のまとめを行います。 【準備学習の内容】本講義全体で使用した資料や記録、データを準備しておくこと。					G
テキスト	講義時に説明する						
参考書	講義時に説明する 文部科学省、「小学校学習指導要領」						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
補足				レポートなど		討議内容	模擬授業
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[教]小1種_選択						
その他	「理科概論」「理科指導法Ⅰ」「理科指導法Ⅱ」の受講後に受講するのが望ましいが、未履修者でも教師を目指す者の受講は可能。観察、実験、模擬授業を通して、教師として必要な基礎的な素養を身につけて欲しい。						

科目名	図画工作科指導法Ⅲ			授業形態	講義	単位数	2
教員名	山崎 正明						
授業の目的	ねらい	本講義では「図画工作指導法Ⅰ・Ⅱ」で学んだ理念や知識さらに技能をもとに、さらに具体的に実技を通して授業実践力を高める。なお、この講義では実際に小学校で授業をすることを前提としているため「図画工作」の教科書にある題材を中心に取り組む。また学習指導要領に示されている材料・用具については重点的にとりあげる。さらに鑑賞についてはアートカードや対話による鑑賞も扱う。なお、これらの講義は対話的な深い学びを生み出すための方法論も取り入れていく。					
	到達目標	(1)図画工作の指導力を高める。 (2)子供の表現活動を円滑に行うための教育的技術を理解し向上させる。 (3)子供への造形教育が滞りなく行われるための技術の基礎を身につける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 受講に関する情報提供をする。 【準備学習の内容】 図書館で「図画工作」の教科書を見ておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 教材研究① 【計画内容】 鉛筆・クレヨン・パステルを用いた描画について学び実践する。 【準備学習の内容】 上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第3回	【テーマ】 教材研究② 【計画内容】 水彩絵の具を用いた描画について学び実践する。 【準備学習の内容】 上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第4回	【テーマ】 教材研究③ 【計画内容】 墨を用いた制作と考察を行う。 【準備学習の内容】 上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第5回	【テーマ】 教材研究④ 【計画内容】 「対話による美術鑑賞」について実践的に学ぶ。 【準備学習の内容】 webサイト:鑑賞教育.jpを見ておくこと。	B、H				
	第6回	【テーマ】 教材研究⑤ 【計画内容】 「アートカード」を用いた鑑賞学習について実践的に学ぶ。 【準備学習の内容】 「図画工作」の教科書で日本や世界の名画を見ておくこと。	B、H				
	第7回	【テーマ】 教材研究⑥ モダンテクニック 【計画内容】 スパッタリング・ドリッピングを用いた制作と考察を行う。 【準備学習の内容】 上記の技法に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第8回	【テーマ】 教材研究⑦ モダンテクニック 【計画内容】 マーブルリング・デカルコマニー・フロッターージュ・パチック・スクラッチコラージュを用いた制作と考察を行う。 【準備学習の内容】 上記の技法に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第9回	【テーマ】 教材研究⑧ 【計画内容】 紙を用いた工作について学び実践する。 【準備学習の内容】 上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第10回	【テーマ】 教材研究⑨ 【計画内容】 木材や粘土を用いた工作について学び実践する。 【準備学習の内容】 上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第11回	【テーマ】 教材研究発展:平面 【計画内容】 これまでに学んだ技法を用いて(または効果的に組み合わせで)立体作品の制作を行う。 【準備学習の内容】 平面で表すという視点で「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第12回	【テーマ】 教材研究発展:立体 【計画内容】 これまでに学んだ技法を用いて(または効果的に組み合わせで)立体作品の制作を行う。 【準備学習の内容】 立体で表すという視点で「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B、H				
	第13回	【テーマ】 教材研究発展:造形遊び 【計画内容】 教科書に載っている造形遊びに実際に取り組んでみる。 【準備学習の内容】 「図画工作」の教科書の「造形遊び」を見ておくこと。	B、H				
	第14回	【テーマ】 作品鑑賞・発表会 【計画内容】 これまで制作した作品や複製画などを用いた鑑賞会について。 【準備学習の内容】 「図画工作」の教科書の鑑賞や展示に関連する内容を見ておくこと。	B、H				
	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 まとめとレポート作成。 【準備学習の内容】 これまでの講義をふりかえっておくこと。	L				
テキスト	講義時に説明する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	30%	20%	
質問への対応	2つの方法のいずれでもかまいません。 (1)講義終了時に声をかけてください。時間のかかるものは、相談に応じます。 (2)メールでの質問 E-Mail:yamazaki@hokusho-u.ac.jp						
資格	[教]小1種_選択						
その他	図工や美術が好きなのはもちろん、苦手意識を持っている人もぜひ、受講してください。子供が楽しく図工を学べるために。						

科目名	家庭科指導法Ⅲ			授業形態	講義	単位数	2
教員名	木下 教子、角田 成子						
授業の目的	ねらい	小学校家庭科教育の意義や目標、指導内容、指導方法などについて学習する。豊かな教育観をもち、自ら学び、創造し行動できる優れた教師としての資質を養う。					
	到達目標	(1)家庭科の特質を理解して、児童に指導することができる。 (2)言語活動、観察、実験、問題解決的な学習を培う授業実践ができる。 (3)衣食住の生活において、日本の生活文化の大切さを育む授業実践ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 家庭科における課題から、家庭科教育の指導法について学ぶ。(木下教子) 【準備学習の内容】 子どもたちの家庭での家事での家事に携わる実態について調べる。					A
	第2回	【テーマ】 身近な消費生活と環境 【計画内容】 情報社会と買い物について学ぶ。(木下教子) 【準備学習の内容】 子どもたちの消費生活の課題について調べる。					A
	第3回	【テーマ】 環境教育1 【計画内容】 グループごとに環境教育のテーマを決めて、環境に配慮した生活の指導法について学ぶ。(木下教子) 【準備学習の内容】 地域や家庭の環境問題について調べる。					H
	第4回	【テーマ】 環境教育2 【計画内容】 グループごとに食生活における環境教育の教材を作る。(木下教子) 【準備学習の内容】 環境に配慮した学校における取り組みを調べる。					H
	第5回	【テーマ】 環境教育3 【計画内容】 グループごとに冬の住生活における環境教育の教材を作る。(木下教子) 【準備学習の内容】 インターネット、図書館などで教材作りの資料を収集する。					H
	第6回	【テーマ】 環境教育4 【計画内容】 グループごとで作成した教材を使い環境教育の発表をする。(木下教子) 【準備学習の内容】 各グループで発表の分担を決める。					F
	第7回	【テーマ】 快適な衣服と住まい 【計画内容】 ミシンの使い方について児童に伝える指導法について学ぶ。(角田成子) 【準備学習の内容】 ミシンの上糸、下糸の準備の仕方、安全な取り扱いなど教科書を復習する。					A
	第8回	【テーマ】 生活に役立つもの製作1(ミシンを使用) 【計画内容】 作品の製作計画をたてる教材を作る(型紙づくり・裁断)。(角田成子) 【準備学習の内容】 縫い代、まち針の刺し方、はさみの取り扱いについて確認する。					D
	第9回	【テーマ】 生活に役立つもの製作2(ミシンを使用) 【計画内容】 しつけ、直揃縫いなど、その部分にふさわしい縫い方の教材を作る。(角田成子) 【準備学習の内容】 ミシンの目の注意点、製作手順について確認する。					D
	第10回	【テーマ】 生活に役立つもの製作3(ミシンを使用) 【計画内容】 完成した作品について各自、発表をする。(角田成子) 【準備学習の内容】 作品が出来上がるまでの手順の留意点について整理する。					D
	第11回	【テーマ】 日常の食事と調理の基礎 【計画内容】 食育と関連づけて行事食についての指導法について学ぶ。(木下教子) 【準備学習の内容】 年間の行事食について調べる。					A
	第12回	【テーマ】 調理計画を作成する 【計画内容】 雑煮の作り方について、指導法及び板書計画の作成をする。(木下教子) 【準備学習の内容】 料理の調理作業、時間配分について考える。					A
	第13回	【テーマ】 調理実習 【計画内容】 雑煮を作る。(木下教子) 【準備学習の内容】 だしのとり方、野菜の切り方などを確認する。					D
	第14回	【テーマ】 家庭科の授業を通して家庭との連携をはかる 【計画内容】 児童と親を対象に家庭科通信の作成をする。(木下教子) 【準備学習の内容】 家庭科で既習したことを児童が実践できる場を考える。					A、H
	第15回	【テーマ】 講義のまとめと確認 【計画内容】 これまでの学習をふり振り返り家庭科教育の課題をまとめる。(木下教子) 【準備学習の内容】 学習指導要領、ノート、プリント等を復習する。					A、G
テキスト	講義時に説明する						
参考書	講義時に説明する 文部科学省、『小学校学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		20%	30%	20%	
補足							
質問への対応	質問は、講義中・講義後に対応します。						
資格	[教]小1種_選択						
その他							

科目名	小学校教育研究Ⅲ				授業形態	講義	単位数	2
教員名	横山 光、二宮 孝行							
授業の目的	ねらい	変化の激しい教育現場において対応が求められている、さまざまな課題に対峙していくために、具体的な場面を想定した対応策を議論したり実践したりし、教師としての指導能力の向上を目指す。						
	到達目標	(1)教育現場の課題を具体的に見いだすことができる。 (2)課題を解決する方策について、根拠をもった持論を展開することができる。 (3)討議によって、議論を深めることができる。 (4)実践によって、新しく視野を広げることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】教育現場の課題の抽出① 【計画内容】教育現場にどのような課題があるか、議論によって洗い出します。 【準備学習の内容】事前に教育現場の現状について情報を集めておくこと。					H	
	第2回	【テーマ】教育現場の課題の抽出② 【計画内容】教育現場にどのような課題があるか、議論によって洗い出します。 【準備学習の内容】事前に教育現場の現状について情報を集めておくこと。					H	
	第3回	【テーマ】教育現場の課題についての討論① 【計画内容】抽出した課題について、集団討議を行います。 【準備学習の内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。					H	
	第4回	【テーマ】教育現場の課題についての討論② 【計画内容】抽出した課題について、集団討議を行います。 【準備学習の内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。					H	
	第5回	【テーマ】教育現場の課題についての討論③ 【計画内容】抽出した課題について、集団討議を行います。 【準備学習の内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。					H	
	第6回	【テーマ】教育現場の課題についての討論④ 【計画内容】抽出した課題について、集団討議を行います。 【準備学習の内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。					H	
	第7回	【テーマ】教育現場の課題についての討論⑤ 【計画内容】抽出した課題について、集団討議を行います。 【準備学習の内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。					H	
	第8回	【テーマ】プログラミング学習について① 【計画内容】プログラミング学習のあり方について学びます。 【準備学習の内容】プログラミング学習について、その概要を予習しておくこと。					A、H	
	第9回	【テーマ】プログラミング学習について② 【計画内容】プログラミング学習の教材を使用し、学習活動について検討します。 【準備学習の内容】使用する教材について、どのような学習活動ができるのか予習しておくこと。					H	
	第10回	【テーマ】プログラミング学習について③ 【計画内容】教育活動のどのような場面で、プログラミング学習を取り入れるか検討します。 【準備学習の内容】指導案を立てておくこと。					H	
	第11回	【テーマ】総合的な学習について① 【計画内容】総合的な学習のねらいについて学び、討議します。 【準備学習の内容】「学習指導要領」の総合的な学習に関する部分を予習しておくこと。					H	
	第12回	【テーマ】総合的な学習について② 【計画内容】総合的な学習の実践例について、発表し合い検討します。 【準備学習の内容】実践事例について予習し、発表できるようまとめておくこと。					F、H	
	第13回	【テーマ】総合的な学習について③ 【計画内容】自らの出身校を想定した、総合的な学習のプランを検討します。 【準備学習の内容】実践計画を立案しておくこと。					F、H	
	第14回	【テーマ】理想の学校教育について① 【計画内容】これまでの講義をふり返り、求められる学校像について集団討議により検討します。 【準備学習の内容】これまでの講義内容について復習しておくこと。					H、L	
	第15回	【テーマ】理想の学校教育について② 【計画内容】これまでの講義をふり返り、求められる学校像について集団討議により検討します。 【準備学習の内容】これまでの講義内容について復習しておくこと。					H、L	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%		20%	50%	
	補足			指導案など			討議内容など	
質問への対応	随時対応します。							
資格								
その他	初等教育コースの選択科目です。集団討議等を繰り返し、教育問題について視野を広げます。討議内容をプレゼンテーションすることがありますので、ノートPCなどがある方は、持参ください。							

科目名	幼稚園教育研究Ⅲ				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	澤田 悦子、工藤 ゆかり								
授業の目的	ねらい	幼児の心身の調和的発達に不可欠な音楽表現活動を指導するための知識や技術を学習します。特に音楽にかかわる表現領域では、基礎的な知識だけでなく、幼児のイメージを広げ、活動を展開するための応用的技術向上が欠かせません。受講生同士が学び合いながら、継続的に学習を進めていきます。							
	到達目標	(1)子どもの音楽表現遊びのねらいと方法について理解する。 (2)多様な音楽活動に含まれる楽しさと発展性について考察する。 (3)他者との協力・協調、豊かな人間関係を育てる教材を考察する。 (4)個々の音楽的な知識や表現技術を高める。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・音楽表現の基礎知識 【計画内容】 学習目標と内容について理解し見通しをもつ。 【準備学習の内容】 シラバスと『幼稚園教育要領』「表現」領域について熟読しておく。					A、G		
	第2回	【テーマ】 教材研究(生活の歌) (1) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 幼児の日常生活における歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第3回	【テーマ】 教材研究(生活の歌) (2) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 幼児の日常生活における歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第4回	【テーマ】 教材研究(生活の歌) (3) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 幼児の日常生活における歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第5回	【テーマ】 教材研究(季節の歌) (1) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 季節の歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第6回	【テーマ】 教材研究(季節の歌) (2) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 季節の歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第7回	【テーマ】 教材研究(季節の歌) (3) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 季節の歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第8回	【テーマ】 教材研究(季節の歌) (4) 【計画内容】 歌唱教材について考察する。 【準備学習の内容】 季節の歌唱教材について調べておく。					A、G		
	第9回	【テーマ】 教材研究(歌遊び) (1) 【計画内容】 身体表現を伴う歌遊びの教材について考察する。 【準備学習の内容】 歌遊びの教材について調べておく。					A、G		
	第10回	【テーマ】 教材研究(歌遊び) (2) 【計画内容】 身体表現を伴う歌遊びの教材について考察する。 【準備学習の内容】 歌遊びの教材について調べておく。					A、G		
	第11回	【テーマ】 教材研究(歌遊び) (3) 【計画内容】 身体表現を伴う歌遊びの教材について考察する。 【準備学習の内容】 歌遊びの教材について調べておく。					A、G		
	第12回	【テーマ】 教材研究(楽器遊び) (1) 【計画内容】 身近な楽器遊びの教材について考察する。 【準備学習の内容】 楽器遊びの教材について調べておく。					A、G		
	第13回	【テーマ】 教材研究(楽器遊び) (2) 【計画内容】 身近な楽器遊びの教材について考察する。 【準備学習の内容】 楽器遊びの教材について調べておく。					A、G		
	第14回	【テーマ】 教材研究(楽器遊び) (3) 【計画内容】 身近な楽器遊びの教材について考察する。 【準備学習の内容】 楽器遊びの教材について調べておく。					A、G		
	第15回	【テーマ】 学習のまとめと発表 【計画内容】 振り返りを行い、学習の成果を発表する。 【準備学習の内容】 これまでの学習記録をまとめ、発表の準備をしておく。					A、F、L		
テキスト	全国大学音楽教育学会、2013年、『明日へ歌い継ぐ日本の子どもの歌』、音楽之友社、9784276590250								
参考書	井口太編著、2018年、『最新・幼児の音楽教育』、朝日出版社								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			30%		40%	30%		
補足							発表		
質問への対応	オフィスアワーまたは講義時に対応します。								
資格									
その他	幼児教育コースの選択科目です。保育者としての指導技術向上を目指し、積極的に受講してください。								

科目名	保育の心理学Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	狩野 信也							
授業の目的	ねらい	乳幼児期の心身の発達について理解を深め、保育におけるかわりかたもたらす影響とその重要性を、実践的演習を通して学んでいく。一人ひとりの子どもの成長・発達にとってどのような保育環境を整えることが望ましいのかを見極め、子どもを「理解する力」と「援助する力」を身につけることをめざす。						
	到達目標	(1)子どもの認知発達と保育実践について理解を深める。 (2)生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する。 (3)保育における発達援助について学ぶ。						
授業の計画	第1回	【テーマ】子どもの認知発達と保育実践① 【計画内容】演習「子ども理解と個人差や発達過程に応じた保育」 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A、B、K	
	第2回	【テーマ】子どもの認知発達と保育実践② 【計画内容】演習「保育実践における、子どもと保育者、子ども同士の関係の発達」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、B、H、K	
	第3回	【テーマ】子どもの認知発達と保育実践③ 【計画内容】演習「子ども集団と保育の環境」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、F、K	
	第4回	【テーマ】生活や遊びを通じた学びの過程① 【計画内容】演習「子どもの生活・遊びと学び」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、F、K	
	第5回	【テーマ】生活や遊びを通じた学びの過程② 【計画内容】演習「生涯にわたる生きる力の基礎を培う」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、F、K	
	第6回	【テーマ】保育における発達援助① 【計画内容】演習「基本的生活習慣の獲得・自己の主体性の形成」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、F、K	
	第7回	【テーマ】保育における発達援助② 【計画内容】演習「発達の課題に応じた援助やかかわり」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、F、K	
	第8回	【テーマ】保育における発達援助③ 【計画内容】演習「発達援助における協働・現代社会における子どもの発達と保育の課題」 【準備学習の内容】事前に資料を配付するので内容を確認すること。					A、K、L	
テキスト	講義時に説明する プリント資料を配付する							
参考書	無藤隆編、2001年、『幼児の心理と保育』、ミネルヴァ書房、4623034283 無藤隆・安藤智子編、2008年、『子育て支援の心理学-家庭・園・地域で育てる』、有斐閣、9784641173507							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%		50%	20%	
	補足			ワークシート		関心・意欲	プレゼンテーション	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[教]保育士_必修							
その他								

学
教
科
専
門
学
科
目
科

科目名	こどもの食と栄養		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	木下 教子						
授業の目的	ねらい	子どもの健康な食生活のあり方は、生涯にわたるすべての活動の基盤となり、順調な発育・発達を促すものである。近年、子どもの食の実態は栄養摂取のアンバランスにとどまらず、孤食や欠食などの社会とのかかわりの観点から多くの問題が指摘されている。子どもの豊富な食事体験は情緒の安定と発達段階に合った食生活を確立することから、子どもの栄養の基本的理論を体系的に理解するとともに、その知識を現場で実践化できるように学ぶ。					
	到達目標	(1)健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 (2)子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。 (3)食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 (5)特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】子どもの心身の健康と食生活 【計画内容】子どもの健やかな発育・発達をめざした食事・食生活支援について学ぶ。 【準備学習の内容】子どもを取り巻く食環境、食生活の現状について調べる。	A				
	第2回	【テーマ】栄養素の種類と機能 【計画内容】栄養の定義、摂取～消化吸収～代謝、食事の摂り方、子どもの食生活の特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】五大栄養素の種類と働きについて、調べる。	A				
	第3回	【テーマ】食事摂取基準と献立作成・調理の基本 【計画内容】日本人の食生活の目標である「食事摂取基準」、「食事バランスガイド」、「食生活指針」を理解し、献立作成について学ぶ。 【準備学習の内容】日本の伝統的な食文化である和食のよさについて調べる。	A				
	第4回	【テーマ】乳児期の食生活 【計画内容】乳児期の食生活の特徴、咀嚼・嚥下機能、食行動の変化、母乳栄養、人工栄養について学ぶ。 【準備学習の内容】母乳栄養の利点について調べる。	A				
	第5回	【テーマ】離乳の意義と食生活 【計画内容】離乳の定義と必要性、離乳食の進め方、食べ方、食事の目安、離乳の完了、成長の目安について学ぶ。 【準備学習の内容】手づかみ食べの意味、適した食べ物を調べる。	A				
	第6回	【テーマ】幼児期の心身の発達と食生活 【計画内容】幼児期の消化・吸収機能、摂食行動、栄養素量、間食の役割、この時期の食の問題について学ぶ。 【準備学習の内容】市販のお菓子などの栄養成分表示を調べる。	A				
	第7回	【テーマ】学童期・思春期の心身の発達と食生活 【計画内容】体と心の成長、栄養素量、生涯にわたって心身の健康を考えると、望ましい食習慣の形成、食事の重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】学校給食の特徴について調べる。	A				
	第8回	【テーマ】調乳の実習 【計画内容】乳児にミルクを与える場合の安全な調乳の方法、留意点について学ぶ。 【準備学習の内容】厚労省の調乳のガイドラインを読む。	B				
	第9回	【テーマ】食育における養護と教育の一体性 【計画内容】子どもの「食べる力」を育むために保育者はどのようなことができるか養護的側面と教育的側面から考える。 【準備学習の内容】保育所における食育に関する指針を読む。	A				
	第10回	【テーマ】食育の内容と計画および評価 【計画内容】食育のねらいおよび内容について学び、保育所における食育の年間計画を作成する。 【準備学習の内容】保育所の子どもの食の課題がわかる統計資料を準備する。	A、G				
	第11回	【テーマ】地域や家庭と連携した食育の展開 【計画内容】食育の取組みを行うとき、どのような関係機関や関係団体、関係者等との連携が必要であるのか学ぶ。 【準備学習の内容】保護者への食育の情報提供の方法について、考える。	A、G				
	第12回	【テーマ】家庭や児童福祉施設における食事と栄養 【計画内容】家庭における食事の役割、児童福祉施設における食事の提供について学ぶ。 【準備学習の内容】保育所で実施されている行事食について調べる。	A				
	第13回	【テーマ】特別な配慮を要する子どもの食と栄養1 【計画内容】疾病および体調不良の子どもに対応する食事について学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの偏食について調べる。	A				
	第14回	【テーマ】特別な配慮を要する子どもの食と栄養2 【計画内容】食物アレルギー、障害のある子どもへの食事の対応について学ぶ。 【準備学習の内容】保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを読む。	A				
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし、まとめを行う。 【準備学習の内容】ノート、プリントを復習しておく。	G				
テキスト	プリントを使用する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
補足				提出締切期間内			
質問への対応	授業中、授業後に対応します。						
資格	[教]保育士、必修						
その他	これまでの自分の食生活を振り返りながら、未来に向かって健康な心と体をつくる日々の食事を常に意識をしていただきたい。						

科目名	保育課程論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	武田 克江							
授業の目的	ねらい	現代社会の状況を踏まえ、保育現場に求められる保育の質の向上や、個々の子どもの発達に応じた指導計画立案について学びます。発達を理解した指導計画の立案、実践、評価、改善について具体的な内容を理解し、保育実践の方法や分析について理解を深める。						
	到達目標	(1)乳幼児期の発達過程に沿った保育の計画について理解する。 (2)保育課程における指導計画の作成手順について理解する。 (3)指導計画の実践と省察、評価、改善の過程について理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 保育の基本と計画① 【計画内容】 講義の概要を説明し、保育課程や指導計画とは何かを学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を確認しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 保育の基本と計画② 【計画内容】 保育計画の意義や種類と特性について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A	
	第3回	【テーマ】 保育の基本と計画③ 【計画内容】 保育計画の作成と評価について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A	
	第4回	【テーマ】 長期計画の実際 【計画内容】 年間指導計画と期間指導計画・月間指導計画について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A	
	第5回	【テーマ】 短期計画の実際 【計画内容】 週間指導計画と日の指導計画、部分指導案(細案)について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A	
	第6回	【テーマ】 乳児期・0、1、2歳児の計画の考え方 【計画内容】 乳児期の発達の理解、子どもの姿と保育者の配慮について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A	
	第7回	【テーマ】 幼児期・3、4、5歳児の計画の考え方 【計画内容】 幼児期の発達の理解、子どもの姿と保育者の配慮について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A	
	第8回	【テーマ】 0、1歳児指導計画作成の実際と留意点保育の評価 【計画内容】 0、1歳児の生活や遊びについて、また保育者の援助や配慮について具体的に計画する。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H	
	第9回	【テーマ】 2歳児指導計画作成の実際と留意点保育の評価 【計画内容】 2歳児の生活や遊びについて、また保育者の援助や配慮について具体的に計画する。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H	
	第10回	【テーマ】 3歳児指導計画作成の実際と留意点 【計画内容】 3歳児の生活や遊び、友達とのかかわりについて、また保育者の援助や配慮について具体的に計画する。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H	
	第11回	【テーマ】 4歳児指導計画作成の実際と留意点 【計画内容】 4歳児の生活や遊び、友達とのかかわりについて、また保育者の援助や配慮について具体的に計画する。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H	
	第12回	【テーマ】 5歳児指導計画作成の実際と留意点 【計画内容】 5歳児の生活や遊び、友達とのかかわりについて、また保育者の援助や配慮について具体的に計画する。 【準備学習の内容】 事前配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H	
	第13回	【テーマ】 保育の評価 【計画内容】 PDCAサイクル、記録の取り方、エピソード記述について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。					A	
	第14回	【テーマ】 保育所以外の児童福祉施設における保育の計画と評価の意義 【計画内容】 個別支援計画、認定こども園保育課程の立案と記録、評価について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。					A	
	第15回	【テーマ】 保育課程の課題と展望 【計画内容】 社会の動きと世界の動き、保育所児童保育要録について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。					A	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			50%		30%	20%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[教]保育士_必修							
その他	提出物の期限を厳守します。							

科目名	障害児保育		授業形態	演習	単位数	2
教員名	神田 英治					
授業の目的	ねらい	障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学ぶとともに、障害乳幼児の早期発見・早期療育について、乳幼児の発達検査等を活用して、運動、生活、対人関係、遊び、言語活動などの発達診断と評価、発達予測を行い、生育歴や養育環境を考慮した個々のよりよい指導実践に役立つ知識を学びます。また、視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱・虚弱、情緒障害、発達障害、重度・重複障害の幼児の指導事例から、障害児保育の指導の実際、指導上の配慮と工夫について理解を深めます。社会的養護を通して、家庭支援や児童家庭福祉等について理解し、また保育相談支援の実際についても理解を深めます。				
	到達目標	(1)障害乳幼児の歴史の変遷及び地域での包摂について学び、早期発見・早期療育について理解する。特に、北海道の聴覚障害乳幼児療育事業や盲・聾学校幼稚部における早期教育相談と早期教育の概要を理解する。 (2)発達検査の活用方法・内容を学び、発達診断・評価から発達予測を行い、指導計画の作成について理解する。 (3)視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱・虚弱、情緒障害、発達障害、重度・重複障害の幼児の指導事例から、障害児保育の指導の実際、指導上の配慮と工夫について理解を深める。 (4)文部科学省の特別支援学校幼稚部教育要領について学び、幼稚部の教育の基本、教育の目標、教育課程の編成、ねらい及び内容等、指導計画の作成を理解する。 (5)厚生労働省の改訂保育所保育指針について理解するとともに、社会的養護内容と保育士等の倫理、保育相談支援の実際について学ぶ。また、幼保連携型こども園教育・保育要領の子育て支援についても学びます。				
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】障害児保育を支える理念や歴史の変遷及び地域での包摂について学び、「気になる子ども」の障害の疑いについての理解と障害児保育の指導と諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、F、K			
	第2回	【テーマ】「気になる子ども」の行動や生活の様子と障害の疑いに関する理解について 【計画内容】「気になる子ども」の行動や生活の様子と障害の疑いから、早期発見・早期療育について学びます。特に発達検査の活用方法・内容について理解を深め、実践的な指導に応用する力を養います。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、K			
	第3回	【テーマ】視覚障害幼児の障害特性と指導について 【計画内容】視覚障害幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。特に、北海道の盲学校における早期教育相談・早期療育について理解します。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第4回	【テーマ】聴覚障害幼児の障害特性と指導について 【計画内容】聴覚障害幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。特に、北海道の聴覚障害乳幼児療育事業と聾学校における早期教育相談・早期療育について理解します。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第5回	【テーマ】言語障害幼児の障害特性と指導について 【計画内容】言語障害幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第6回	【テーマ】言葉に遅れのある子ども(言語発達遅滞)について 【計画内容】言語発達遅滞幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第7回	【テーマ】発達全般に遅れのある子ども(知的障害)について 【計画内容】知的障害幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第8回	【テーマ】体の動かし方が気になる子ども(運動障害・肢体不自由)について 【計画内容】運動障害(肢体不自由)幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。更に、重度・重複障害の医療的ケアについても学びます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、G、J、K			
	第9回	【テーマ】病弱・身体虚弱の子ども(てんかん児も含む)について 【計画内容】病弱・身体虚弱幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第10回	【テーマ】落ち着きのない子ども(発達障害：注意欠陥多動性障害ADHD)について 【計画内容】自閉症幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第11回	【テーマ】人とかかわりが気になる子ども(発達障害：自閉症スペクトラム障害ASD)について 【計画内容】自閉症幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第12回	【テーマ】学習につまずきのある子ども(発達障害：学習障害LD)について 【計画内容】学習障害幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第13回	【テーマ】文部科学省の特別支援学校幼稚部教育要領について(幼稚園教育要領も参考) 【計画内容】文部科学省の特別支援学校幼稚部教育要領について学び、幼稚部の教育の基本、教育の目標、教育課程の編成、ねらい及び内容等、指導計画の作成を理解します。また、幼稚園教育要領との比較・検討も行い理解を深めます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第14回	【テーマ】厚生労働省の改訂保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説について 【計画内容】厚生労働省の改訂保育所保育指針について理解するとともに、社会的養護内容と保育士等の倫理、保育相談支援の実際について学びます。また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の新制度の子育て支援についても学びます。 【準備学習の内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、J、K			
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】特別支援教育の在り方について再確認し、学習の習熟度調査をします。 【準備学習の内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A、F、K、L			
テキスト	遠城寺宗徳ほか、2009年、『遠城寺式乳幼児分析的発達検査法改訂新装版』、慶應義塾大学出版会、9784766416213 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館、9784577814482 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館、9784577814499					
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領/小学部・中学部学習指導要領』、海文堂出版、9784303124243 村井憲男ほか、2001年、『気になる子どもの保育と育児』、福村出版、9784571120961 徳田克己ほか、1997年、『ハンディのある子どもの保育ハンドブック』、福村出版、9784571120886					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%	30%	30%		30%	
補足						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。					
資格	[教]保育士_必修					
その他	幼児教育コース専門科目です。					

科目名	保育相談支援				授業形態	演習	単位数	1	
教員名	舟橋 安幸								
授業の目的	ねらい	保護者に対する保育相談支援の意義や保育の特性・専門性を生かした支援についての理解を深める。また保育相談支援の基本である、子どもの最善の利益と福祉の重視、保護者の養育力の向上に資する支援、信頼関係を基本とした受容的なかわり、自己決定力、秘密保持の尊重等についても学びを深める。更に保育相談支援の実際について学ぶとともに、児童福祉施設における保育相談支援についても理解を深めていく。							
	到達目標	(1)保育相談支援の意義や原則について理解する。 (2)保育相談支援の進め方や技術を理解し、内容や方法がわかる。 (3)保育所における保育相談支援について、演習を通じて実践力を身につける。 (4)保育所以外の児童福祉施設における保育相談支援についての事例を理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A		
	第2回	【テーマ】 保育相談支援の意義 【計画内容】 保育相談支援の意義や対象及び家庭の変容と保育相談支援の経過について学びます。 【準備学習の内容】 『保育所保育指針』を読んでおくこと。					A、B		
	第3回	【テーマ】 保育所の特性と保育相談支援 【計画内容】 保育所の特性と保育者の専門性を生かした保育相談支援について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第4回	【テーマ】 保育相談支援の原則(1) 【計画内容】 子どもの最善の利益や保護者の養育力の向上について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第5回	【テーマ】 保育相談支援の原則(2) 【計画内容】 保育士の守秘義務や受容的な関わり及び倫理観・価値観について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第6回	【テーマ】 保育相談支援の基本(1) 【計画内容】 保護者の特性や状況を理解するとともに、相談の場づくりについても学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第7回	【テーマ】 保育相談支援の基本(2) 【計画内容】 保育相談支援の実践方法や関係機関との連携について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第8回	【テーマ】 保育相談支援の技術(1) 【計画内容】 面談による相談支援の技術と留意点について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第9回	【テーマ】 保育相談支援の技術(2) 【計画内容】 電話による相談支援の技術と留意点について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第10回	【テーマ】 保育相談支援の技術(3) 【計画内容】 記録の必要性和書き方及び評価について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第11回	【テーマ】 保育相談支援の技術(4) 【計画内容】 ケース会議や施設内外の研修について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第12回	【テーマ】 保育相談支援の実際(1) 【計画内容】 保育所に通う保護者に対する保育相談支援の事例について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第13回	【テーマ】 保育相談支援の実際(2) 【計画内容】 地域の子育て家庭に対する保育相談支援の事例について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第14回	【テーマ】 保育相談支援の実際(3) 【計画内容】 保育所以外の児童福祉施設における保育相談支援の事例について学びます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習しておくこと。					A、B		
	第15回	【テーマ】 保育相談支援の実際(4) 【計画内容】 特別な対応を要する家庭への支援、要保護児童の家庭に対する支援について学びます。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を復習しておくこと。					A、B		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、4577814234								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	40%	20%	20%		10%	10%		
補足				演習課題			毎回のコメントシート		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格	[教]保育士_必修								
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。								

科目名	保育実習Ⅱ				授業形態	実習	単位数	2
教員名	工藤 ゆかり、澤田 悦子、長津 詩織							
授業の目的	ねらい	保育所の機能、役割について、現場での具体的な実践を通して学ぶ。既習科目や「保育実習Ⅰ」での学びを踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。保育士の業務内容や職業倫理、子どもへのかかわりや援助の方法を学ぶ。子どもの発達過程や個々の状況に基づいた保育の計画、観察、記録、自己評価を行い、自己の課題を明確にすることを到達目標とする。						
	到達目標	(1)保育所、児童福祉施設等の役割や機能をより実践的、具体的に理解する。 (2)子どもの観察やかかわりを通して子どもへの理解をより一層深める。 (3)子どもの心身の発達状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について具体的な保育実践に即して理解を深める。 (4)保育の計画や支援計画、観察、記録及び自己評価等について実践的、具体的に理解する。						
授業の計画	【計画内容】	○実習施設と実習期間 ・実習施設と実習期間については、保育所実習または児童福祉施設等実習において10日間である。 ○実施時期と実習施設 ・実施時期は、9月の期間を基本とし、実習する施設については、受け入れ施設と大学が協議のうえ決定する。 ○保育所(園)実習の内容(「保育実習Ⅰ」の実習成果や課題をさらに深めるものであること。) 1. 子どもの観察や援助活動(かかわり)を通して子どもへの理解を深める。 2. 子どもの発達過程に基づいた保育・教育の計画や「領域」ごとの保育内容について理解する。 3. 保育所の生活を理解し、保育の内容や活動を通して、保育所の役割と機能について学ぶ。 4. 保育・教育課程と子どもの観察、記録、省察・自己(他者)評価やチームワークなどについて理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。 ○児童福祉施設等における実習の内容(「保育実習Ⅰ」の実習成果や課題をさらに深めるものであること。) 1. 子どもの観察と、ひとり一人の発達の違いに応じた援助やかかわりを通し、子どもへの理解を深める。 2. 子どもの心身の状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について理解する。 3. 児童福祉施設の生活を理解し、施設の役割と機能について学ぶ。 4. 児童福祉施設等における支援計画、記録、考察・自己(他者)評価やチームワークなどについて理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。						D
	【準備学習の内容】	実習にかかわるテキストや資料を熟読し、より高い自己課題を持って臨むこと。						
テキスト	相浦雅子ほか、2014年、『ワークシートで学ぶ保育所実習1・2・3』、同文書院							
参考書	プリントや参考資料等を配付し使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			40%			60%	
質問への対応	実習中の学生への対応は、随時訪問指導、面談、電話、メール等により対応します。							
資格	[教]保育士_選必							
その他	「保育実習Ⅱ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」を履修しておく必要があります。							

科目名	保育実習Ⅲ			授業形態	実習	単位数	2
教員名	工藤 ゆかり、澤田 悦子、長津 詩織						
授業の目的	ねらい	児童福祉施設等の機能、役割について、現場での具体的な実践を通して学ぶ。既習科目や「保育実習Ⅰ」での学びを踏まえ、子どもの保育等や保護者支援について総合的に学ぶ。保育士の業務内容や職業倫理、子どもへのかかわりや援助の方法を学ぶ。子どもの発達過程や個々の状況に基づいた保育の計画、観察、記録、自己評価を行い、自己の課題を明確にすることを到達目標とする。					
	到達目標	(1)児童福祉施設等の役割や機能をより実践的、具体的に理解する。 (2)子どもの観察やかかわりを通して子どもへの理解をより一層深める。 (3)子どもの心身の発達状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について具体的な保育実践に即して理解を深める。 (4)保育の計画や支援計画、観察、記録及び自己評価等について実践的、具体的に理解する。					
授業の計画	【計画内容】 ○実習施設と実習期間 ・実習施設と実習期間については、児童福祉施設等実習において10日間である。 ○実施時期と実習施設 ・実施時期は8～9月の期間を基本とし、実習する施設については、受け入れ施設と大学が協議のうえ決定する。 ○児童福祉施設等における実習の内容(「保育実習Ⅰ」の実習成果や課題をさらに深めるものであること。) 1. 子どもの観察と、ひとり一人の発達の違いに応じた援助やかかわりを通し、子どもへの理解を深める。 2. 子どもの心身の状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について理解する。 3. 児童福祉施設の生活を理解し、施設の役割と機能について学ぶ。 4. 児童福祉施設等における支援計画、記録、考察・自己(他者)評価やチームワーク等について理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。 【準備学習の内容】 実習にかかわるテキストや資料を熟読し、より高い自己課題を持って臨むこと。						D
テキスト	浦田雅夫、2015年、『考え、実践する施設実習』、保育出版社						
参考書	プリントや参考資料等を配付し、使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			40%			60%
質問への対応	実習中の学生への対応は、随時訪問指導、面接、電話、メール等により対応します。						
資格	[教]保育士_選必						
その他	「保育実習Ⅲ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅲ」を履修しておく必要があります。						

科目名	保育実習指導Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	工藤 ゆかり、澤田 悦子、長津 詩織							
授業の目的	ねらい	「保育実習Ⅰ」の成果や課題を踏まえ、保育現場での自己の学びを振り返り、他の実習生の学びの報告から自己評価を行うとともに、自らの新たな課題を整理し学習目標を明確にする。また、多様な保育の現状を学び、これからの保育者に求められる資質・能力や保育所の課題について考えることができることを到達目標とする。						
	到達目標	(1)実習での自己の学びを振り返る(自己評価)するとともに、新たな課題や学習目標を明確にする。 (2)他の実習生の報告から多様な保育の現状を把握し、今後の保育者に求められる資質・能力や保育所の課題を考えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】改めて保育所での実習の意義や目的について確認し、「保育実習Ⅱ」の概要を把握し、実習計画全体について理解する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んでおくこと。						B
	第2回	【テーマ】実習での学びの振り返り①～実習経験の自己の振り返り 【計画内容】自らの実習経験を振り返り、成果と課題を整理する。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B
	第3回	【テーマ】実習での学びの振り返り②～実習経験の自己の振り返り 【計画内容】自らの実習経験を振り返り、成果と課題を整理し報告資料としてまとめる。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、G
	第4回	【テーマ】保育所実習報告① 【計画内容】他者の報告を踏まえ、自己の振り返りについて見直し、整理する。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B
	第5回	【テーマ】保育所実習報告② 【計画内容】他者の報告を踏まえ、多様な保育展開があることに気づき、子ども理解を深める。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B
	第6回	【テーマ】保育所実習報告③ 【計画内容】他者の報告を踏まえ、多様な保育展開があることに気づき、子ども理解を深める。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B
	第7回	【テーマ】保育所実習報告④ 【計画内容】他者の報告を踏まえ、保育所保育の課題について考える。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、G
	第8回	【テーマ】保育所参観の計画立案 【計画内容】自己課題を再構築し、保育参観等の計画を立案する。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B
	第9回	【テーマ】保育所参観① 【計画内容】保育所参観の計画に基づき、子どもの保育参観から保育者としてのかかわりを学ぶ。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、M
	第10回	【テーマ】保育所参観② 【計画内容】保育所参観の計画に基づき、子どもの保育参観から保育者としてのかかわりを学ぶ。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、M
	第11回	【テーマ】保育所参観の振り返り① 【計画内容】保育所参観を振り返り、成果と課題を整理し報告資料としてまとめる。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、L
	第12回	【テーマ】保育所参観の振り返り② 【計画内容】報告資料について、全体で交流する。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、H
	第13回	【テーマ】今日的な保育所保育の現状と課題 【計画内容】今日的な保育所保育の現状と課題について話し合う。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、H
	第14回	【テーマ】「保育実習Ⅱ」の計画立案 【計画内容】「保育所実習Ⅱ」に向けて自らの課題を整理しながら、保育実習の計画を立案する。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の振り返りとともに、実習生に求められる社会的責務と責任ある行動や自己の実習課題を理解し、意欲的に実習に臨むことができる意識の涵養を図る。 【準備学習の内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。						B、L
テキスト	相浦雅子他、2014年、『ワークシートで学ぶ保育所実習1・2・3』、同文書院							
参考書	プリントや参考資料等を配付し使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		20%	40%	
	補足			指導案・課題提出			保育参観	
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資格	[教]保育士_選必							
その他								

科目名	保育実習指導Ⅲ			授業形態	演習	単位数	1
教員名	工藤 ゆかり、澤田 悦子、長津 詩織						
授業の目的	ねらい	「保育実習Ⅰ」の成果や課題を踏まえ、施設現場での自己の学びを振り返り、他の実習生の学びの報告から自己評価を行うとともに、自らの新たな課題を整理し学習目標を明確にする。また、多様な施設所等の現状を学び、これからの保育者に求められる資質・能力や保育所の課題について考えることができることを到達目標とする。					
	到達目標	(1)実習での自己の学びを振り返る(自己評価する)とともに、新たな課題や学習目標を明確にする。 (2)他の実習生の報告から多様な保育の現状を把握し、今後の保育者に求められる資質・能力や施設の課題を考えることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 改めて施設での実習の意義や目的について確認し、「保育実習Ⅲ」の概要を把握し、実習計画全体について理解する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。	B				
	第2回	【テーマ】 実習での学びの振り返り①～実習経験の自己の振り返り 【計画内容】 自らの実習経験を振り返り、成果と課題を整理する。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
	第3回	【テーマ】 実習での学びの振り返り②～実習経験の自己の振り返り 【計画内容】 自らの実習経験を振り返り、成果と課題を整理し報告資料としてまとめる。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、G				
	第4回	【テーマ】 施設実習報告① 【計画内容】 他者の報告を踏まえ、自己の振り返りについて見直し、整理する。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
	第5回	【テーマ】 施設実習報告② 【計画内容】 他者の報告を踏まえ、施設の取り組みが多様であることに気付き、施設現場の理解を深める。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
	第6回	【テーマ】 施設実習報告③ 【計画内容】 他者の報告を踏まえ、施設の取り組みが多様であることに気付き、施設現場の理解を深める。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
	第7回	【テーマ】 施設実習報告④ 【計画内容】 他者の報告を踏まえ、施設の課題について考える。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、G				
	第8回	【テーマ】 施設見学の計画立案 【計画内容】 自己課題を再構築し、施設参観等の計画を立案する。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
	第9回	【テーマ】 施設見学① 【計画内容】 施設見学の計画に基づき、子どもの保育参観から保育者としてのかかわりを学ぶ。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、M				
	第10回	【テーマ】 施設見学② 【計画内容】 施設見学の計画に基づき、子どもの保育参観から保育者としてのかかわりを学ぶ。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、M				
	第11回	【テーマ】 施設見学の振り返り① 【計画内容】 施設見学を振り返り、成果と課題を整理し報告資料としてまとめる。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、L				
	第12回	【テーマ】 施設見学の振り返り② 【計画内容】 報告資料について、全体で交流する。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、H				
	第13回	【テーマ】 施設の現状と課題 【計画内容】 施設現場における現状と課題について話し合う。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、H				
	第14回	【テーマ】 「保育実習Ⅲ」の計画立案 【計画内容】 「保育実習Ⅲ」に向けて自らの課題を整理しながら、保育実習の計画を立案する。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 講義の振り返りとともに、実習生に求められる社会的責務と責任ある行動や自己の実習課題を理解し、意欲的に実習に臨むことができる意識の涵養を図る。 【準備学習の内容】 資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B、L				
テキスト	浦田雅夫、2015年、『考え、実践する施設実習』、保育出版社						
参考書	プリントや参考資料等を配付し使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		20%	40%
補足				課題提出			施設見学
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[教]保育士_選必						
その他							

科目名	保育実践演習			授業形態	演習	単位数	2
教員名	工藤 ゆかり、澤田 悦子、長津 詩織						
授業の目的	<p>ねらい これまでに学習した保育関係科目及び保育実習での経験を通して学び得たことを振り返り、保育者として必要な資質・能力の最終的な確認と育成を目指します。グループ討論やプレゼンテーションを通しての事例研究や教材研究など実践的な学習により更なる資質向上を図ります。</p> <p>到達目標 (1)自らの学びを振り返り、保育士として身に付けておくべき知識や技能を習得したことを確認することができる。 (2)保育に関する今日的な動きについて把握し、その背景や今後の方向性について相互に検討したり、複眼的に理解することができる。 (3)子どもだけでなく、保育士仲間や保護者、地域の人々などと良好な人間関係を築くために、問題解決の対応や判断方法を考察することができる。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「保育実践演習」の内容と意義について理解する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んで確認しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の振り返り(1) 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を振り返り、実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどを考える。 【準備学習の内容】実習日記に目を通しておくこと。					A、L、K
	第3回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の振り返り(2) 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を振り返り、実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどをレポートにまとめる。 【準備学習の内容】実習日記に目を通しておくこと。					G
	第4回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の振り返り(3) 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を振り返り、自己課題に対する取り組みと残る課題について理解し、ワークシートにまとめる。 【準備学習の内容】自身の実習課題を確認し、成果と課題をまとめておくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】秋の自然物を活かした保育活動の実践 【計画内容】落ち葉焚きの行い方、素材などを考え実践する。また、秋の自然物を活かした保育活動を考え、実践する。 【準備学習の内容】落ち葉焚きの行い方について調べ学習を行っておくこと。					B
	第6回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の振り返り(4) 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を振り返り、課題が共通する仲間と話し合い、課題解決の方法を考える。 【準備学習の内容】保育実習を振り返り、課題を明確にしておくこと。					H、J
	第7回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の振り返り(5) 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を振り返り、課題解決に向けて調べ学習を行い、エビデンスに基づく解決方法を導き出す。 【準備学習の内容】課題解決にかかわる文献・資料を収集しておくこと。					H
	第8回	【テーマ】実習報告会の準備(1) 【計画内容】課題解決型学習のまとめを行い、効果的なプレゼンテーションの在り方について検討し、作成する。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの在り方について、自分の考えをまとめておくこと。					H
	第9回	【テーマ】実習報告会の準備(2) 【計画内容】実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどのプレゼンテーションの在り方を考え、作成する。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの在り方について、自分の考えをまとめておくこと。					H
	第10回	【テーマ】実習報告会(1) 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での課題解決型学習のまとめをプレゼンテーションする。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備をしておくこと。					F
	第11回	【テーマ】実習報告会(2) 【計画内容】実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどをプレゼンテーションする。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備をしておくこと。					F
	第12回	【テーマ】保育者としてのマナーと常識 【計画内容】子どもの最善の利益を守ることのできる保育者としての基本マナーと常識について、演習を通して身に付ける。 【準備学習の内容】保育者としてのマナーや常識について、調べ学習を行っておくこと。					B
	第13回	【テーマ】保育者としてのコミュニケーション 【計画内容】子どもが育つ、保護者の育つ、保育者のコミュニケーションの在り方について、演習を通して身に付ける。 【準備学習の内容】保育者としてのコミュニケーションの在り方について、調べ学習を行っておくこと。					B
	第14回	【テーマ】子どもの言葉や完成を育てる保育現場での絵本の活用の在り方 【計画内容】子どもの情操、意欲、生活態度、自主性、行動力、探究心、思考力、表現力を育む絵本を選定し、実際に読み聞かせを行う。 【準備学習の内容】自分が読み聞かせる絵本を選定しておくこと。					B
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまでの内容を振り返り、改めて保育士になることの意識と役割を確認する。 【準備学習の内容】第14回までの授業内容を確認しておくこと。					G、L
テキスト	厚生労働省、『保育所保育指針』 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館、457781448X						
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『幼稚園教育要領解説』						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	20%	40%			40%	
補足		落ち葉焚き・絵本	ワークシート・レポート			グループワーク・発表	
質問への対応	オフィスアワー						
資格	[教]保育士_必修						
その他	演習、グループワークなど実践的な学習を含みますので積極的に受講して下さい。						

科目名	学校保健組織活動論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	大村 道子						
授業の目的	<p>「わらい到達目標」</p> <p>養護教諭として、どのように学校における保健組織活動を進めていけばよいでしょうか。本講義では、学校保健組織活動を実践的に展開できるような能力を養います。</p> <p>(1)学校における保健組織活動の内容が理解できる。 (2)学校における連携の具体的な方法を提示できる。 (3)学校保健組織活動を組織的に展開できる。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・本学習での目標設定・学校保健組織活動とは何か 【計画内容】 学校保健の領域について考え、学校保健組織活動の意義を理解します。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、L
	第2回	【テーマ】 学校保健組織活動①校内における校務分掌 【計画内容】 校内における校務分掌について理解し、効果的な連携について学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第3回	【テーマ】 学校保健組織活動②校内における各種委員会 【計画内容】 校内における各種委員会(アレルギー対策委員会、いじめ・不登校対策委員会等)について、具体的に学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第4回	【テーマ】 学校保健組織活動③学校保健委員会 【計画内容】 学校保健委員会について、具体的に学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第5回	【テーマ】 学校保健組織活動④地域学校保健委員会 【計画内容】 地域学校保健委員会について、具体的に学びます。 【準備学習の内容】 『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第6回	【テーマ】 学校保健組織活動⑤学校三師との連携 【計画内容】 よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、学校三師との連携について学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第7回	【テーマ】 学校保健組織活動⑥スクールカウンセラーとの連携 【計画内容】 よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、スクールカウンセラーとの連携について学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第8回	【テーマ】 学校保健組織活動⑦スクールソーシャルワーカーとの連携 【計画内容】 よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、スクールソーシャルワーカーとの連携について学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第9回	【テーマ】 学校保健組織活動⑧栄養教諭との連携 【計画内容】 よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、栄養教諭との連携について学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第10回	【テーマ】 学校保健組織活動⑨特別支援教育コーディネーターとの連携 【計画内容】 よりよい保健管理を進める上で特別支援教育コーディネーターとの連携について学びます。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、L
	第11回	【テーマ】 学校保健組織活動の実際① 【計画内容】 問題行動の児童生徒に関わる連携について検討します。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、H、L
	第12回	【テーマ】 学校保健組織活動の実際② 【計画内容】 発達障害の問題を抱える児童生徒に関わる連携について検討します。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、H、L
	第13回	【テーマ】 学校保健組織活動の実際③ 【計画内容】 虐待の問題を抱える児童生徒に関わる連携について検討します。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、H、L
	第14回	【テーマ】 学校保健組織活動の実際④ 【計画内容】 身体的健康課題を抱える児童生徒に関わる連携について検討します。 【準備学習の内容】 『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。					A、F、H、L
	第15回	【テーマ】 まとめと確認・学校保健組織活動について 【計画内容】 学校保健組織活動について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【準備学習の内容】 これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。					A、G、L
テキスト	学校保健・安全実務研究会、2014年、『新訂版学校保健実務必携』、第一法規出版、9784474028630 三木とみ子、2009年、『四訂 養護概説』、(株)ぎょうせい、9784324085943						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。						
資格							
その他							

科目名	保健室経営演習Ⅰ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	大村 道子						
授業の目的	ねらい	学校教育において、養護教諭は保健室経営を円滑に進めるため、どのような目標や計画を立て、実践しているのでしょうか。 本演習では、保健室経営について、実践の基本となる理論に重点を置き、体験的に学びます。					
	到達目標	(1)保健室経営経営計画に関し、健康課題に基づいた計画を立てることができる。 (2)保健室経営を効果的に進めることができるような具体的な方法を示すことができる。 (3)保健室経営の評価の観点および評価方法を検討し、示すことができる。 (4)養護実践の視点から保健室経営を行うことが理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・保健室経営とは何か 【計画内容】これまでの学習をもとに、保健室経営計画について確認する。 【準備学習の内容】保健室経営案について調べ、整理しておく。				A、B、F、 H、L	
	第2回	【テーマ】保健室の機能と役割について検討する 【計画内容】保健室の機能と役割について理解を深め、具体的にどのようなことかを検討し明らかにする。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第3回	【テーマ】保健室経営の根拠となる法律や答申について考える 【計画内容】保健室経営の根拠となる審議会答申や学校保健法についてよく理解し、保健室経営に必要な養護教諭の資質能力を検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第4回	【テーマ】保健室経営における救急処置について学ぶ 【計画内容】保健室で行う、救命および悪化防止のための救急処置、軽度の傷病に対する救急処置について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第5回	【テーマ】保健室経営における健康相談活動について学ぶ 【計画内容】保健室経営における、健康情報の収集から連携までを含めた健康相談活動について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第6回	【テーマ】保健室経営における健康診断について学ぶ 【計画内容】保健室経営における健康診断実施要領の立案のための視点等について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第7回	【テーマ】保健室経営における保健情報について学ぶ 【計画内容】保健室経営における保健情報収集のための視点や具体的方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第8回	【テーマ】保健室経営における保健指導について学ぶ 【計画内容】保健室経営における保健指導の目標や方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第9回	【テーマ】保健室経営における個別保健指導について学ぶ 【計画内容】保健室経営における個別指導の内容や方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第10回	【テーマ】保健室経営における保健学習について学ぶ 【計画内容】保健学習の目標や展開、評価について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学習指導要領』をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第11回	【テーマ】保健室経営における保健情報収集について学ぶ 【計画内容】保健室経営における子どもの健康課題解決のための保健情報の内容や方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第12回	【テーマ】保健室経営における環境衛生について学ぶ 【計画内容】保健室経営における日常の環境衛生の内容や方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第13回	【テーマ】保健室経営における組織活動について学ぶ 【計画内容】保健室経営における関係者との連携の具体的な方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第14回	【テーマ】保健室経営の評価の方法について考える 【計画内容】保健室経営について、学校教育として評価されるための評価の観点や方法等について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。				A、B、F、 H、L	
	第15回	【テーマ】まとめと確認・保健室経営を円滑に進めるために 【計画内容】保健室経営について学んだことを振り返り、まとめる。また、自己課題について把握し、課題解決の方法について検討する。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめ、自己の学習を省察して臨む。				A、B、F、 H、L	
テキスト	学校保健・安全実務研究会、2009年、『学校保健実務必携』、第一法規、4474024761 三木とみ子、2009年、『養護概説』、ぎょうせい						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			課題プリント提出		発表等	
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。						
資格							
その他							

科目名	保健室経営演習Ⅱ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	今野 洋子							
授業の目的	ねらい	学校教育において、養護教諭は保健室経営を円滑に進めるため、どのような目標や計画を立て、実践のためにどのような工夫をしているのでしょうか。 本演習では、特に保健室の整理整頓の視点から、効果的な保健室経営を考え、体験的に学びます。						
	到達目標	(1)保健室経営計画に関し、目標や計画を立て、実践の手だてを具体的に示すことができる。 (2)効果的な保健室経営のために、保健室を整理整頓することができる。 (3)効果的な保健室経営のために、具体的に工夫することができる。 (4)効果的な保健室経営のための文書管理を行うことができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・保健室経営とは何か 【計画内容】保健室経営について学習を深め、保健室経営案について確認する。 【準備学習の内容】保健室経営案について調べ、整理しておく。					A、B、F、 H、L	
	第2回	【テーマ】ほげんだよりを使用しての保健室経営について考える 【計画内容】ほげんだよりを作成し、保護者や児童生徒に保健室経営について周知することについて学ぶ。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第3回	【テーマ】掲示物を使用しての保健室経営について考える 【計画内容】保健室経営に必要な掲示物を作成し、検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第4回	【テーマ】効果的な保健室経営のための救急処置コーナーについて学ぶ 【計画内容】効果的な保健室経営のための救急処置コーナーの設置について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第5回	【テーマ】効果的な保健室経営のための健康相談活動コーナーについて学ぶ 【計画内容】効果的な保健室経営のための健康相談活動コーナーの設置について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第6回	【テーマ】効果的な保健室経営のための健康診断や測定のためのコーナーについて学ぶ 【計画内容】効果的な保健室経営のための健康診断や測定のためのコーナーについて検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第7回	【テーマ】効果的な保健室経営のための保健情報のためのコーナーについて学ぶ 【計画内容】効果的な保健室経営のための保健情報のためのコーナーについて検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第8回	【テーマ】導線を意識した保健室経営を考える 【計画内容】養護教諭の導線を考え、子どもが来室したときを想定し、保健室の配置について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第9回	【テーマ】効果的な保健室経営のための文書管理(1) 【計画内容】保健室に必要な文書管理について学び、ファイリングについて理解する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第10回	【テーマ】効果的な保健室経営のための文書管理(2) 【計画内容】保健室に必要な文書管理について学び、ファイリング方法について検討する。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					A、B、F、 H、L	
	第11回	【テーマ】効果的な保健室経営のための文書管理(3) 【計画内容】保健室に必要な文書管理について学び、ファイリングについて検証実験を行い学びを深める。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					D、F、H、 L	
	第12回	【テーマ】効果的な保健室経営のための文書管理(4) 【計画内容】保健室に必要な文書管理について学び、PC内の情報のファイリングを行う。 【準備学習の内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。					D、F、H、 L	
	第13回	【テーマ】効果的な保健室経営の実際(1) 【計画内容】これまで学んだことを生かし、保健室経営を計画し、発表する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。					D、F、H、 L	
	第14回	【テーマ】効果的な保健室経営の実際(2) 【計画内容】前回の保健室経営を計画発表を振り返り、ポスターにまとめて発表する。 【準備学習の内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。					D、F、H、 L	
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】保健室経営について学んだことを振り返り、まとめる。また、自己課題について把握し、課題解決のための方法について検討する。 【準備学習の内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめ、自己の学習を省察して臨む。					A、B、F、 H、L	
テキスト	学校保健・安全実務研究会、2009年、『学校保健実務必携』、第一法規、4474024761 三木とみ子、2009年、『養護概説』、ぎょうせい							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補足								
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。							
資格								
その他								

学
科
専
門
学
科
目
録

科目名	教職実践演習(養護教諭)		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	今野 洋子、佐藤 朱美						
授業の目的	ねらい	大学4年間で学習知および経験知と、養護実習等で培われた実践力や指導力の教育実践知とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏打ちされた実践的指導力を有する教員としての資質向上を図る。					
	到達目標	(1)教育的愛情を基盤とした使命感や責任感ある養護教諭としての資質が身についている。 (2)社会の一員としての社会性や人間関係調整能力が身についている。 (3)児童生徒の理解に立った保健室経営を実践する能力が身についている。 (4)地域や学校の特性、児童生徒の実態を踏まえた保健教育に関する指導力が身についている。 (5)学校保健の要として機動的な組織運営のためのコーディネート力やマネジメント力が身についている。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション:学びの軌跡を確認する(履修カルテ) 【計画内容】3年次までに獲得した教職員としての力量、養護教諭としての専門性等についてふりかえり、自己評価を行います。その上で、本講義で獲得すべき資質能力について理解し、さらなる実践力育成のための目標を設定します。 【準備学習の内容】これまでの自分の学習の成果をまとめておきます。				A、L	
	第2回	【テーマ】現代の教育課題:調査した内容を発表しグループ討論を行う 【計画内容】現代の教育課題について理解を深め、課題解決のための方法について考察します。日本の教育課題について、背景と要因、現状について調べ、レポートにまとめたものをもとに、グループで討論します。グループ討論の内容は、全体で共有します。 【準備学習の内容】現代の教育課題について、視点を定め、レポートにまとめて授業に臨みます。				A、F、L	
	第3回	【テーマ】児童生徒の発達段階に応じた特性の理解:事例をもとに討論を行う 【計画内容】児童生徒の発達段階に応じた特性を理解し、どのように支援をすればよいか、討論します。事例提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。事例をもとに討議し、解決に向けての支援を考えます。 【準備学習の内容】事例提供グループは相談の上、事例を用意します。また、児童生徒の発達段階の特性について調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L	
	第4回	【テーマ】保健室登校の課題:保健室登校についてディベートを行う 【計画内容】ディベートを通じ、保健室登校の教育的意義について、また、養護教諭の保健室経営の観点から、保健室登校にどう取り組むべきか、考えを深めます。 【準備学習の内容】保健室登校の事例について調べ、具体的な支援や課題について理解した上で授業に臨みます。				A、H、I、L	
	第5回	【テーマ】模擬児童生徒保健委員会:児童生徒保健委員会への指導場面を想定しロールプレイングを行う 【計画内容】健康課題解決のための児童生徒保健委員会の取り組みと、養護教諭としての指導について考え、体験的に学びます。課題提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。 【準備学習の内容】課題提供グループは相談の上、課題を用意します。また、児童生徒保健委員会の取り組みについて調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L、N	
	第6回	【テーマ】模擬学年会:他の教師との学年会を想定しロールプレイングを行う 【計画内容】児童生徒への支援のために、他の教師とどのように共通理解をし、どのように協働していくか、体験的に学びます。課題提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。 【準備学習の内容】課題提供グループは相談の上、課題を用意します。また、各分掌など学校の組織について調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L、N	
	第7回	【テーマ】模擬職員会議:健康診断の事後措置についての提案場面を想定しロールプレイングを行う 【計画内容】職員会議において、養護教諭として健康診断の事後措置について提案する場面を想定し、体験的に学習を深めます。提案内容については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。 【準備学習の内容】提案担当グループは相談の上、課題を用意します。また、健康診断について調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L、N	
	第8回	【テーマ】模擬授業1:養護教諭の専門性を生かした保健学習を行う 【計画内容】兼職発令されたと仮定し、養護教諭による保健学習を行い、授業体験・授業評価を通じ、養護教諭の専門性を生かした保健学習について検討します。授業担当グループを決め、授業を展開します。 【準備学習の内容】授業担当グループは相談の上、授業の準備をします。また、兼職発令および保健学習について調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L、N	
	第9回	【テーマ】保護者との連携:保護者からの相談場面を想定し討議を通してモデルプランを立てる 【計画内容】保護者からの相談場面を想定し、保護者との信頼関係を確立し、互いに協力しあえるような相談内容や方法について検討します。事例提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。 【準備学習の内容】事例提供グループは相談の上、授業の準備をします。また、保護者からの相談や要望について調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L、N	
	第10回	【テーマ】スクールカウンセラーとの連携:現職のスクールカウンセラーの講話および質疑応答を行う 【計画内容】現職のスクールカウンセラーからの講話を通じ、教職員として、また養護教諭としてどのように連携すればよいか考えます。また、質疑応答の中で、さらに考えを深めます。 【準備学習の内容】スクールカウンセラーの先生にお聞きしたいことをまとめて、授業に臨みます。				A、L	
	第11回	【テーマ】栄養教諭との連携:栄養教諭と養護教諭の実践事例について学び討論を行う 【計画内容】栄養教諭と養護教諭との連携について、どのように協力すればよいか、実践事例から学び、検討します。栄養教諭を招いての講話、学校訪問による学習も計画しています。 【準備学習の内容】栄養教諭について調べ、まとめておきます。				A、F、G、L	
	第12回	【テーマ】模擬学校保健委員会:健康診断の結果提示を中心にロールプレイングを行う 【計画内容】健康診断の結果を保護者や地域にどう発信し、協働していくか、模擬学校保健委員会を通じ、学習を深めます。提案内容は、グループが担当します。 【準備学習の内容】提案担当グループは相談の上、授業の準備をします。また、学校保健委員会について調べ、授業に臨みます。				A、F、H、L、N	
	第13回	【テーマ】模擬授業2:地域の特性や保護者の願い、専門家の活用等を生かした保健指導を行う 【計画内容】地域の特性や保護者の願い、専門家の活用等を生かした保健指導を企画し、模擬授業を行います。保健指導の実践や評価を通じ、深めます。 【準備学習の内容】提案担当グループは相談の上、授業の準備をします。				A、F、H、L、N	
	第14回	【テーマ】養護教諭の研修:現職の養護教諭の研修会に参加するフィールドワークを行う 【計画内容】現職養護教諭の研修会に参加させてもらい、養護教諭の研究課題や研究動向について学習を深めます。 【準備学習の内容】研修とは何か、教職員または養護教諭にとっての研究の意義を調べておきます。				A、L、M	
	第15回	【テーマ】まとめとふりかえり 【計画内容】本講義をふりかえり、獲得した資質能力や実践力について、自己評価を行います。また、さらに高めるためにどのようにすべきか、検討します。 【準備学習の内容】これまでの学習をふりかえり、資質能力について自己評価を行い、まとめておきます。				A、G、L	
テキスト	文部科学省、『学習指導要領』 学校保健・安全実務研究会、2009年、『学校保健実務必携』、第一法規、9784474056732 三木とみ子、2009年、『養護概説』、ぎょうせい、9784324085943						
参考書	教育小六法、第1回の講義のときに一覧表を提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配補	分足		50% レポート		50% 平時	
質問への対応	オフィスアワーおよび講義の前後を大いに活用してください。						
資格	[教]養教1種_必修						
その他	教職としての実践力を高められるよう意欲的に授業に臨みましょう。 「養護に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みであること。						

科目名	養護教諭教育研究Ⅱ				授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤 朱美							
授業の目的	ねらい	養護教諭が養成・研修を通し、生涯学び続けていくためにはどのような資質能力が必要でしょうか。本講義では、「養護教諭教育研究Ⅰ」に引き続き、養護教諭が取り組んでいる研修や研究、また養護教諭養成の課題に焦点をあてて検討する中で、生涯学び続けられる養護教諭となれるような基礎となる資質能力を身につけます。						
	到達目標	(1)養護教諭養成教育の課題から、養護教諭になるために備えるべき資質能力を向上させる。 (2)養護教諭の研修テーマや研修方法から必要な資質能力を向上させる。 (3)養護教諭の研究や研究方法から必要な資質能力を向上させる。 (4)養護教諭に必要な資質能力と自己の課題を関連して考えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・本学習での目標設定・養護教諭教育について学ぶ 【計画内容】 本学習での自己の目標設定を行い、養護教諭教育について理解する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第2回	【テーマ】 養護教諭の研修について学ぶ(1) 【計画内容】 養護教諭の研修の機会と内容や方法等について学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第3回	【テーマ】 養護教諭の研修について学ぶ(2) 【計画内容】 養護教諭の研修の内容や方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第4回	【テーマ】 養護教諭の研修について学ぶ(3) 【計画内容】 実際に養護教諭の研修を参観して、自己の課題と関連させて学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第5回	【テーマ】 養護教諭の研修について学ぶ(4) 【計画内容】 参観した養護教諭の研修で学んだことを振り返り、自己の課題に対する理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第6回	【テーマ】 養護教諭の研究について学ぶ(1) 【計画内容】 養護教諭の研究課題と内容や目的等について学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第7回	【テーマ】 養護教諭の研究について学ぶ(2) 【計画内容】 養護教諭の研究手法等について学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第8回	【テーマ】 養護教諭の研究について学ぶ(3) 【計画内容】 実際に養護教諭の研究発表を聞き、自己の課題と関連させて学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第9回	【テーマ】 養護教諭の研究について学ぶ(4) 【計画内容】 参観した養護教諭の研究発表で学んだことを振り返り、理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第10回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(1) 【計画内容】 教育職員免許法や各種答申から養護教諭養成の課題を学び、養護教諭に必要な資質能力と自己の課題を関連して理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第11回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(2) 【計画内容】 子どもの健康課題から養護教諭養成で身につけるべき資質能力を検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第12回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(3) 【計画内容】 研究論文から養護教諭養成で身につけるべき資質能力をグループで検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、H、L
	第13回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(4) 【計画内容】 養護教諭養成で身につけるべき資質能力の獲得方法についてグループで検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、H、L
	第14回	【テーマ】 養護教諭の資質能力について検討する 【計画内容】 これまでの学習を振り返り、自己の課題に関連させて、必要とされる資質能力を検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 学んだことを振り返ってまとめ、学習不足の点や自己課題について把握し、今後の学内での学習の中での解決方法について考える。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。						A、G、L
テキスト	講義時に説明します							
参考書	各種学会誌等							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補足								
質問への対応	講義時間やオフィスアワーを活用してください。							
資格								
その他	養護教諭を目指す学生にとって必要な科目です。							

科目名	養護教諭教育研究Ⅲ				授業形態	講義	単位数	2
教員名	大村 道子							
授業の目的	ねらい	養護教諭が養成・研修を通し、生涯学び続けていくためにはどのような資質能力が必要でしょうか。本講義では、「養護教諭教育研究Ⅰ・Ⅱ」に引き続き、養護教諭が取り組んでいる研修や研究、また養護教諭養成の課題に焦点をあてて検討する中で、生涯学び続けられる養護教諭となれるような基礎となる資質能力を身につけます。						
	到達目標	(1)養護教諭養成教育の課題から、養護教諭になるために備えるべき資質能力を豊かにする。 (2)養護教諭の研修に必要な実践力を獲得する。 (3)養護教諭の研究に必要な研究能力を高める。 (4)養護教諭に必要な実践力と自己の課題を関連して考えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・本学習での目標設定・養護教諭教育について学ぶ 【計画内容】 本学習での自己の目標設定を行い、養護教諭教育について理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第2回	【テーマ】 養護教諭の研修内容・方法について学ぶ(1) 【計画内容】 養護教諭の研修の機会と扱われるテーマについて学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第3回	【テーマ】 養護教諭の研修内容・方法について学ぶ(2) 【計画内容】 養護教諭の研修の方法について学ぶ。特に、事例検討を主とした研修方法について学習を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第4回	【テーマ】 養護教諭の研修内容・方法について学ぶ(3) 【計画内容】 実際に養護教諭の事例検討を主とした研修を参観して、自己の課題と関連させて学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第5回	【テーマ】 養護教諭の研修内容・方法について学ぶ(4) 【計画内容】 参観した養護教諭の研修で学んだことを振り返り、自己の課題に対する理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第6回	【テーマ】 養護教諭の研究内容・方法について学ぶ(1) 【計画内容】 養護教諭の研究について学び、主な研究課題と内容、目的等について検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第7回	【テーマ】 養護教諭の研究内容・方法について学ぶ(2) 【計画内容】 養護教諭の研究に結びつくような調査方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第8回	【テーマ】 養護教諭の研究内容・方法について学ぶ(3) 【計画内容】 実際に養護教諭の研究発表を聞き、自己の課題と関連させて学びを深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第9回	【テーマ】 養護教諭の研究内容・方法について学ぶ(4) 【計画内容】 参観した養護教諭の研究発表で学んだことを振り返り、グループで検討し、理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第10回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(1) 【計画内容】 教育職員免許法や各種答申から養護教諭養成の課題を学び、養護教諭に必要な資質能力と自己の課題を関連してグループで検討し、理解を深める。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第11回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(2) 【計画内容】 子どもの健康課題を検討し、養護教諭養成で身につけるべき資質能力を明らかにする。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第12回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(3) 【計画内容】 研究論文から養護教諭養成で身につけるべき資質能力をグループで検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、H、L					
	第13回	【テーマ】 養護教諭養成教育における課題を学ぶ(4) 【計画内容】 養護教諭養成で身につけるべき資質能力をどう獲得すればよいか、どのように学べばよいか、生涯にわたる学習方法についてグループで検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、H、L					
	第14回	【テーマ】 養護教諭の資質能力について検討する 【計画内容】 これまでの学習を振り返り、自己の資質能力を分析・評価し、自己課題を把握する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 学んだことを振り返ってまとめるとともに、前回把握した自己課題を解決するための方法を検討する。 【準備学習の内容】 『養護概説』や研修資料、学会抄録や学会誌等を持って臨む。	A、G、L					
テキスト	講義時に説明します							
参考書	各種学会誌等							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補足								
質問への対応	講義時間やオフィスアワーを活用してください。							
資格								
その他	養護教諭を目指す学生にとって必要な科目です。							

科目名	ピアノ総合演習Ⅱ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	坂田 朋優						
授業の目的	ねらい	これまで「ピアノ基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「ピアノ表現演習Ⅰ・Ⅱ」「ピアノ総合演習Ⅰ」などで身に付けた技術に基づき、指導者・教育者に必要なピアノの演奏技術や表現に重点を置いた演習を行う。各自の技量や経験に合わせた選曲をし、更に、器楽・声楽の伴奏など幅広い音楽を演奏する総合的な力を身につける。					
	到達目標	(1)クラシック・ピアノ作品の演奏表現を学ぶ。 (2)器楽や声楽に関する伴奏法を身に付ける。 (3)ソロと合奏・伴奏の演奏の違いを理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 15回の授業内容について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 実技レッスン1 【計画内容】 各自の課題に沿って、基本的な読譜を学びます。 【準備学習の内容】 楽譜をよく読んでおくこと。				B、E	
	第3回	【テーマ】 実技レッスン2 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第4回	【テーマ】 実技レッスン3 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第5回	【テーマ】 実技レッスン4 【計画内容】 ささまざまな録音資料から表現の可能性を探り、演奏表現に生かします。 【準備学習の内容】 複数の録音資料を探しておくこと。				B、E	
	第6回	【テーマ】 実技レッスン5 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第7回	【テーマ】 実技レッスン6 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第8回	【テーマ】 実技レッスン7 【計画内容】 互いの演奏を聴き合い、客観的に自分の演奏を捉えながら、よりよい演奏表現を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E、H	
	第9回	【テーマ】 中間のまとめ 【計画内容】 演奏表現に関するまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくこと。				B、F、L	
	第10回	【テーマ】 実技レッスン8 【計画内容】 新たな課題についての基本的な読譜を学びます。 【準備学習の内容】 楽譜をよく読んでおくこと。				B、E	
	第11回	【テーマ】 実技レッスン9 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第12回	【テーマ】 実技レッスン10 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第13回	【テーマ】 実技レッスン11 【計画内容】 演奏表現するための楽曲分析と、それに基づく演奏法を学びます。 【準備学習の内容】 録音資料などを聴いたり、十分な練習をしておくこと。				B、E	
	第14回	【テーマ】 リハーサル 【計画内容】 演奏発表に向けて、客観的に自分の演奏を捉えて、改善点などの確認を行います。 【準備学習の内容】 十分な練習をしておくこと。				B、L	
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 曲目解説を含めて、演奏発表をします。これまでのまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 十分な演奏準備をしておくこと。				B、F、L	
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足				60%	40%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	ピアノ作品については連弾等も可能です。						

科目名	教育実習事後指導				授業形態	講義	単位数	1
教員名	坂田 朋優、今井 敏勝							
授業の目的	ねらい	教育実習を終了し、さらに実習を意義あるものとするために、事後の反省や課題をもとに音楽教育者として授業における指導技術の向上をめざすことをねらいとする。主に教科書を中心とした楽曲について、ピアノを使用した指導法を学習する。						
	到達目標	(1)教科書の歌唱教材をピアノ伴奏する。 (2)教科書の鑑賞教材をピアノ連弾、2台ピアノで演奏する。 (3)教科書を中心とした楽曲について、ピアノを使用した指導法を学習する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の概要を説明する。(坂田朋優・今井敏勝) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 教科書の歌唱教材をピアノ伴奏する(1) 【計画内容】 教科書の歌唱教材をピアノで発声練習・旋律音取りし、ピアノ伴奏で合唱とあわせる。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 教科書の歌唱教材から選曲し、練習しておくこと。						A、B、E、H
	第3回	【テーマ】 教科書の歌唱教材をピアノ伴奏する(2) 【計画内容】 教科書の歌唱教材をピアノで発声練習・旋律音取りし、ピアノ伴奏で合唱とあわせる。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 ピアノを練習しておくこと。						A、B、E、H
	第4回	【テーマ】 教科書の鑑賞教材をピアノ連弾・2台ピアノで演奏する(1) 【計画内容】 教科書の鑑賞教材をピアノ連弾、2台ピアノで演奏する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 教科書の鑑賞教材から選曲し、練習しておくこと。						A、B、E、H
	第5回	【テーマ】 教科書の鑑賞教材をピアノ連弾・2台ピアノで演奏する(2) 【計画内容】 教科書の鑑賞教材をピアノ連弾、2台ピアノで演奏する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 ピアノを練習しておくこと。						A、B、E、H
	第6回	【テーマ】 教科書を中心とした楽曲について、ピアノを使用した指導法を学習する(1) 【計画内容】 教科書を中心とした楽曲について、ピアノを使用した指導法を学習する。ピアノを使用して鑑賞の模擬授業をする。さらに、ピアノを使用して歌唱の模擬授業をする。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 指導案を練っておくこと。						A、B、E、H
	第7回	【テーマ】 教科書を中心とした楽曲について、ピアノを使用した指導法を学習する(2) 【計画内容】 教科書を中心とした楽曲について、ピアノを使用した指導法を学習する。ピアノを使用して鑑賞の模擬授業をする。さらに、ピアノを使用して歌唱の模擬授業をする。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 指導案を練っておくこと。						A、B、E、H
	第8回	【テーマ】 発表会 【計画内容】 歌唱教材と鑑賞教材による演奏発表会。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 十分に練習しておくこと。						E、F、H、L
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』							
参考書	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領』、東山書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補足								
質問への対応	オフィスアワーの時間で対応します。							
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修							
その他	「教育実習」を終了した学生に限ります。							

科目名	教育実習 I		授業形態	実習	単位数	4	
教員名	今井 敏勝、坂田 朋優						
授業の目的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、中学校または高等学校において、実習校の校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。					
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持てる。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。					
授業の計画	【計画内容】	<p>○実習計画</p> <p>法令や実習学校により定められた期間(原則2週間)中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。</p> <p>1 実習校の教育活動等の理解</p> <p>(1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について</p> <p>(2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について</p> <p>(3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について</p> <p>(4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について他</p> <p>2 観察、参加、授業実習等の実践</p> <p>(1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習</p> <p>(2)生徒理解をととした学級指導</p> <p>3 教職の理解</p> <p>(1)教職への自己の適性</p> <p>(2)教職の使命感・責任感</p> <p>なお、大学において、事前学習・事後学習があります。</p> <p>○展開方法</p> <p>事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。</p> <p>実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。</p>					D
	【準備学習の内容】						
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 総則・音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 総則・音楽編』						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
補足							実習校における実習の評価
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[教]中1種(音楽)_必修、高1種(音楽)_選必						
その他	教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適性に欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消または停止します。 生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

科目名	教育実習Ⅱ		授業形態	実習	単位数	2	
教員名	今井 敏勝、坂田 朋優						
授業の目的	ねらい	「教育実習Ⅰ」で学習する内容についてさらに理解を深め、実践的指導力の向上をめざします。実習校において、「教育実習Ⅰ」に引き続き行います。					
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持てる。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。					
授業の計画	【計画内容】	<p>○実習計画</p> <p>法令や実習学校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。</p> <p>1 実習校の教育活動等の理解</p> <p>(1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について</p> <p>(2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について</p> <p>(3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について</p> <p>(4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について他</p> <p>2 観察、参加、授業実習等の実践</p> <p>(1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習</p> <p>(2)生徒理解をととした学級指導</p> <p>3 教職の理解</p> <p>(1)教職への自己の適性</p> <p>(2)教職の使命感・責任感</p> <p>なお、大学において、事前学習・事後学習があります。</p> <p>○展開方法</p> <p>事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。</p> <p>実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。</p> <p>【準備学習の内容】</p> <p>『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。</p>					D
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『中学校学習指導要領解説総則・音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説総則・音楽編』						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
補足	実習校における実習の評価						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[教]高1種(音楽)_選必						
その他	教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適性が欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消または停止します。生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

科目名	教職実践演習(中・高)		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	今井 敏勝、坂田 朋優						
授業の目的	<p>わいの到達目標</p> <p>3年半の教職に関する履修状況を踏まえ、中学校・高等学校の教員に必要な資質や能力について、各自が「自己の学びの軌跡」として振り返るとともに、実践的指導力として不足している知識や技能を補い、その定着を図る。</p> <p>(1)使命感や責任感、教育的愛情が身についている。 (2)社会的性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒についての理解力や学級経営能力が身についている。 (4)中学校・高等学校の音楽教育の意義、理解を深め具体的な指導力が身についている。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義の概要 【計画内容】 履修カルテをもとに、これまでの学びの軌跡を確認し、自分自身の課題を明確にする。(全教員) 【準備学習の内容】 教職に関する科目等についての履修の内容等を確認する。				A	
	第2回	【テーマ】 教育実習の振り返り・課題(1) 【計画内容】 教育実習を振り返り、それぞれの自己分析を行い、各自の今後の課題を探る。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 実習ノートを見直し、どのような課題があったかを書き出しておく。				H、L	
	第3回	【テーマ】 教育実習の振り返り・課題(2) 【計画内容】 グループワークによる課題整理意見交換により、各自の今後の課題整理及び発表を行う。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 前回の実習課題を整理しノートにまとめておく。				H、L	
	第4回	【テーマ】 グループワークによる教材研究 【計画内容】 音楽科教育における教材研究の重要性を再確認するとともに、各グループでお互いに不足している知識を補い、個人の課題を発見し学ぶ。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 今までの教材研究資料をまとめておく。				A、H	
	第5回	【テーマ】 教材研究に基づく学習指導案の作成 【計画内容】 前回の教材研究を基に学習形態・指導と評価等を工夫した学習指導案の作成を行う。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 今までの教材研究をまとめておき、指導案作成の準備をしておく。				A、G	
	第6回	【テーマ】 模擬授業(第1グループ) 【計画内容】 模擬授業を行う。受けた側から検討を加え、今後のお互いの課題・改善点を探る。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 教育実習時の学習指導案や日誌等を準備し、模擬授業の準備をしておく。				H、M、N	
	第7回	【テーマ】 模擬授業(第2グループ) 【計画内容】 模擬授業を行う。受けた側から検討を加え、今後のお互いの課題・改善点を探る。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 前回の模擬授業の検討を踏まえ、模擬授業の準備をしておくこと。				H、M、N	
	第8回	【テーマ】 学級経営 【計画内容】 実習で担当した学級を想定し、学級経営案や指導計画案を作成する。(今井敏勝) 【準備学習の内容】 学級経営にどのようなことが必要か、事項をまとめておく。				A、H	
	第9回	【テーマ】 学外研修1の1 【計画内容】 地域の小学校・中学校・高校に出向き、研究授業に参加する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 授業内容の予習をしておく。				B、M	
	第10回	【テーマ】 学外研修1の2 【計画内容】 先に実施した学外研修について話し合い、各自でレポートを作成する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 指導案を参考に自分の考えをまとめておく。				G、I、J	
	第11回	【テーマ】 学外研修2の1 【計画内容】 地域の小学校・中学校・高校に出向き、研究授業に参加する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 授業内容の予習をしておく。				B、M	
	第12回	【テーマ】 学外研修2の2 【計画内容】 先に実施した学外研修について話し合い、各自でレポートを作成する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 指導案を参考に自分の考えをまとめておく。				G、I、J	
	第13回	【テーマ】 学外研修3の1 【計画内容】 課外学習としての音楽教育の在り方を、学外の音楽活動の実践(鑑賞・表現)を通して学習する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 鑑賞については下調べを行い、表現については十分に準備する。				B、M	
	第14回	【テーマ】 学外研修3の2 【計画内容】 先に実施した学外研修について話し合い、各自でレポートを作成する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 自分の考えをまとめておく。				G、I、J	
	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 全15回の授業で学んだこと、そこから得た課題を話し合い、グループワークとして意見をまとめ、発表する。(坂田朋優) 【準備学習の内容】 自分の考えをまとめておく。				F、H、L	
テキスト	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』、東山書房、9784827814613 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領』、東山書房、9784827814781						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足				レポートなど		発表	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修						
その他	実践演習で自己の課題を解決するために意欲的に取り組む姿勢が是非とも望まれます。課題分析や課題解決への積極性を養うため、授業に臨む基本的な生活習慣は厳守を望みます。「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の全てを修得済み、あるいは修得見込みであること。						

科目名	音楽教育研究Ⅲ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井 敏勝						
授業の目的	ねらい	この授業では、教職に関する授業研究やアンサンブル等を中心としたグループワークで、コミュニケーション能力や、お互いの役割の確認、責任・協働して演奏をまとめ上げていく力を学びます。楽譜から想像性を豊かにし、演奏で創造性を表現していくこと、また、各グループで演奏会を想定とした、企画案のプレゼンテーションも学び実践していきます。					
	到達目標	(1)教職に関する授業研究やアンサンブル等のグループワークを身に付ける。 (2)それぞれのグループで、コミュニケーション力、個人の責任能力向上。 (3)与えられた楽曲を分析し、グループディスカッションで演奏をまとめていく力を身に付ける。 (4)互いに協力・協働しアンサンブル演奏会の企画立案を通し、演奏会マネージメントを学ぶ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 編成の確認をする。 【準備学習の内容】 シラバスの確認。					A
	第2回	【テーマ】 中・高校を想定して各グループの楽曲を選曲 【計画内容】 各グループで編成に合った選曲を研究する。 【準備学習の内容】 様々な楽曲を聴いておく。					B、H
	第3回	【テーマ】 アンサンブル練習① 【計画内容】 授業に必要なアンサンブルの基礎練習指導法を学ぶ。 【準備学習の内容】 新しい楽曲の練習をしておくこと。					B、H
	第4回	【テーマ】 アンサンブル練習② 【計画内容】 楽曲のリズム・ハーモニーを中心としたアンサンブルの練習を行う。 【準備学習の内容】 各パートの練習をしておく。					B、H
	第5回	【テーマ】 アンサンブル練習③ 【計画内容】 各声部の役割や全体の響きを感じ取り、アンサンブル力を深める。 【準備学習の内容】 他のパートの楽譜を見ておく。					B、H
	第6回	【テーマ】 アンサンブル練習④ 【計画内容】 楽曲の分析を深めたアンサンブルの練習を行う。 【準備学習の内容】 それぞれの楽曲の分析を深めておく。					B、H
	第7回	【テーマ】 リハーサルテクニック① 【計画内容】 リハーサルテクニックを学ぶ。 【準備学習の内容】 楽曲のスコアを読んでおく。					B、L
	第8回	【テーマ】 リハーサルテクニック② 【計画内容】 各グループで楽曲をまとめあげる。 【準備学習の内容】 各グループでアンサンブル練習をしておく。					B、L
	第9回	【テーマ】 リハーサルテクニック③ 【計画内容】 各グループのアンサンブルを聴き合う。他のグループの演奏を聴き互いに意見を述べる。 【準備学習の内容】 各グループでの自主練習。					B、L
	第10回	【テーマ】 発表演奏会企画① 【計画内容】 アンサンブル演奏会を想定した(学内外でのミニコンサートなど)を企画・立案する。 【準備学習の内容】 企画・立案の提案を考察しておく。					B、F
	第11回	【テーマ】 発表演奏会企画② 【計画内容】 企画・立案のまとめ。 【準備学習の内容】 各グループで企画・立案をまとめておく。					B、F
	第12回	【テーマ】 演奏会に向けた各グループでのアンサンブル練習① 【計画内容】 アンサンブル表現の工夫を深める。 【準備学習の内容】 個人ならびにグループでの練習。					B、H
	第13回	【テーマ】 演奏会に向けた各グループでのアンサンブル練習② 【計画内容】 様々な表現形態の特徴を理解し、表現上の効果を生かした演奏法を学ぶ。 【準備学習の内容】 個人ならびにグループでの練習。					B、H
	第14回	【テーマ】 企画した演奏会の実施 【計画内容】 アンサンブル演奏会の実施。 【準備学習の内容】 演奏会へ向けての練習。					B、L
	第15回	【テーマ】 アンサンブル研究のまとめ 【計画内容】 演奏の企画と演奏の振り返り。 【準備学習の内容】 各グループの演奏会の録音等を聴いておく。					B、L
テキスト	各自、各グループに合った楽譜を使用します。						
参考書	初回オリエンテーションで説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					50%	50%
補足						平時	
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。(843研究室)						
資格							
その他	成績評価の方法のその他は、演奏会における各グループ企画及び演奏の取り組みの内容です。						

芸 術 学 科
学 科 専 門 科 目

科目名	博物館実習		授業形態	実習	単位数	3	
教員名	林 亨、横山 光						
授業の目的	ねらい	「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営と情報管理」といった、いわゆる座学の講義において学んだ博物館に関する知識を、実際に博物館へ出向き実務の体験・実習を通じて定着させる。また、実際に博物館・美術館に向かい、いわゆる館務実習に先立って、学内において実習に必要な事柄と学芸員としての心構えなどを学ぶ。					
	到達目標	(1)各講義で学んだ内容を実習を通して理解する。 (2)館務実習を通して博物館施設の役割を理解する。 (3)館務実習を通して学芸員の役割を理解する。					
授業の計画	【計画内容】					A、B、D	
	<p>[前学期]</p> <p>第1回 学内実習:館務実習に向け、関連講義で学んだ内容を振り返る。</p> <p>第2回 見学実習へ向けたオリエンテーション</p> <p>第3～6回 見学実習:近隣博物館の見学を行う。</p> <p>第7～14回 学内実習:学内において、館内展示の実習を行う。</p> <p>第15回 館務実習へ向けたオリエンテーション:各施設から連絡事項を確認し、館務実習へ向けた最終確認を行う。</p> <p>[後学期]</p> <p>不定期 館務実習:各個別実習</p> <p>最終回 まとめ:実習報告・反省会の開催</p> <p>【準備学習の内容】</p> <p>学芸員任用資格取得に関する科目で学習した内容を十分に復習すること。 また、講義内で訪問する施設以外にも積極的に訪問し、多くの博物館を見学することが望ましい。</p>					A、B、D	
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%			60%
	補足			各種実習レポート等			館務実習の評価
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[芸]学芸員_必修						
その他	いわゆる館務実習は近隣に所在する施設に7月～11月中(施設によって異なる期間)に出向いて行うもので、その館の学芸員の指導の下、10日間程度行う実習です。実習終了後に報告反省会を開き実習内容を報告します。 学芸員任用資格取得の必修科目を履修済みであること。 上記必修科目の評価点が「良」以上であることを受講条件とします。 実習費20,000円の納入が必要です。						

科目名	創作テキスタイル			授業形態	演習	単位数	2
教員名	大信田 静子						
授業の目的	<p>ねらい 私たちは生まれた時から、布、繊維に触れ、布に関わってきています。近年手作りの良が見直され身近に存在する様々な素材は生活を豊かにする大切な関係を結んでいる存在です。その素材を活用し、創作的な作品を制作していきます。既成概念にとらわれない自由な発想のもと、創り手として個性を意識しながら制作していく力を養います。</p> <p>到達目標 (1)様々な素材の扱い方、活用法を身につける (2)身近にある素材からまとめ上げる構成力を身につける (3)ファッション=五感で感じるものを追求する力を身につける</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 講義内容を紹介し、30回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。	A	第16回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	
	第2回	【テーマ】 作品の方向性、デザインの検討 【計画内容】 様々なテキスタイルの参考資料を参考に各自デザイン及び素材の検討をしていきます。 【準備学習の内容】 素材、デザインを考えてくること。	D	第17回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材、色のバランスを検討していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	
	第3回	【テーマ】 デザインの選定 【計画内容】 各デザインに合わせ素材集め及び素材を作っていきます。 【準備学習の内容】 素材、デザインを考えてくること。	D	第18回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材、色のバランスを検討していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	
	第4回	【テーマ】 素材のサンプル制作 【計画内容】 作品に合わせサンプル素材作りをしていきます。 【準備学習の内容】 素材作りを進めておくこと。	D	第19回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材の縫製方法を検討していきます。素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	
	第5回	【テーマ】 素材のサンプル制作 【計画内容】 作品に合わせサンプル素材作りをしていきます。 【準備学習の内容】 素材作りを進めておくこと。	D	第20回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材の縫製方法を検討していきます。素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第6回	【テーマ】 素材のサンプル制作 【計画内容】 作品に合わせ素材作りをしていきます。 【準備学習の内容】 素材作りを進めておくこと。	D	第21回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第7回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 サンプルから作品に合う素材を選定します。選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第22回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第8回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 サンプルから作品に合う素材を選定します。選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第23回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第9回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第24回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第10回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第25回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第11回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第26回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品に合わせて縫製していきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第12回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第27回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品に合わせて縫製していきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第13回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第28回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品に合わせて縫製していきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第14回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第29回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品のバランスを確認、仕上げの方法と装飾を考えていきます。 【準備学習の内容】 作品制作を進めておくこと。	D	
	第15回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 【準備学習の内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第30回	【テーマ】 作品の総仕上げ 【計画内容】 作品の総仕上げ、まとめ振り返りと提出をします。 【準備学習の内容】 作品のトータルバランスの確認をしておくこと。	D	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
補足	足				デザイン性・素材縫製・独創性	作品への取り組み・意欲・態度	
質問への対応	E-Mail: shisieva@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他							

科目名	舞踊専門研究		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	田 光子						
授業の目的	ねらい	日本をはじめ世界の舞踊を探る。 各国の舞踊の歴史や踊りの動きを知ることによってその表現の意味や芸術性、文化について理解を深める。 また、実際に世界の舞踊にもチャレンジしてみよう。					
	到達目標	(1)舞踊・ダンスの歴史を学ぶ。 (2)日本をはじめとして世界各国の舞踊・ダンスを学ぶ。 (3)世界各国のフォークダンスを踊ってみる。 (4)体(ダンス)の動きを知る。 (5)身体(ダンス)を使った表現方法を探る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義概要、講義展開方法、評価などについて説明する。 【準備学習の内容】 シラバスを読む。	B				
	第2回	【テーマ】 舞踊・ダンスとは?フォークダンスについて 【計画内容】 舞踊・ダンスについて学ぶ。フォークダンス発表に向けての準備。 【準備学習の内容】 授業概要について理解する。フォークダンスについて調べる。	B				
	第3回	【テーマ】 オペラ座 【計画内容】 オペラ座の歴史を学ぶ。 【準備学習の内容】 オペラ座の歴史を調べる。	B				
	第4回	【テーマ】 バレエの歴史 【計画内容】 バレエの歴史を学ぶ。 【準備学習の内容】 バレエについて調べる。	B				
	第5回	【テーマ】 パリ・オペラ座バレエ学校、バレエ団について/バレエ(フランス)作品鑑賞① 【計画内容】 バレエ作品を鑑賞する。パリ・オペラ座バレエ学校、バレエ団について学ぶ。 【準備学習の内容】 作品内容、登場人物、動きを確認する。	B				
	第6回	【テーマ】 フォークダンス発表 【計画内容】 フォークダンスの実技あるいは、Power point発表をした後、レポート提出する。 【準備学習の内容】 フォークダンス各自発表準備をしてくる。レポート提出。	B				
	第7回	【テーマ】 英国ロイヤルバレエ団について/バレエ(イギリス)作品鑑賞② 【計画内容】 英国ロイヤルバレエ団について学ぶ。作品内容、登場人物、動きを確認する。 【準備学習の内容】 英国ロイヤルバレエ団について調べる。	B				
	第8回	【テーマ】 ミュージカル(アメリカ)について/作品鑑賞① 【計画内容】 ブロードウェイミュージカルについて学ぶ。 【準備学習の内容】 ミュージカルについて調べる。	B				
	第9回	【テーマ】 ミュージカル(日本)について/作品鑑賞② 【計画内容】 日本のミュージカル作品を鑑賞する。 【準備学習の内容】 作品内容、登場人物、動きを確認する。	B				
	第10回	【テーマ】 アイリッシュダンス(アイルランド) 【計画内容】 アイリッシュダンスについて学ぶ。 【準備学習の内容】 アイリッシュダンスについて調べる。	B				
	第11回	【テーマ】 パントマイム 【計画内容】 パントマイムについて学ぶ。 【準備学習の内容】 パントマイムについて調べる。	B				
	第12回	【テーマ】 ピナ・バウシュ タンツテアター(ドイツ) 【計画内容】 アメリカのモダンダンスとドイツの表現主義をあわせもつピナ・バウシュのタンツテアターについて学ぶ。 【準備学習の内容】 ピナ・バウシュについて調べる。	B				
	第13回	【テーマ】 宝塚公演 【計画内容】 宝塚歌劇団について学ぶ。 【準備学習の内容】 宝塚歌劇団について調べる。	B				
	第14回	【テーマ】 日本あるいは世界各国の舞踊・ダンスに関する発表 【計画内容】 舞踊・ダンスについて発表する。 【準備学習の内容】 各自発表準備をする。	B				
	第15回	【テーマ】 発表と総評 【計画内容】 各自発表と総評をする。 【準備学習の内容】 発表準備と提出。	B				
テキスト	プリントを配付します						
参考書	講義内にて説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		20%	10%
補足				レポート・発表			
質問への対応	講義内にて随時対応します。E-mail: chun@hokusho-u.ac.jp(田光子641研究室)						
資格							
その他	遅刻・欠席はしないこと。授業の積極的な参加を重要視する。 チャレンジ授業の時は動きやすい服装を準備する。						

科目名	構造力学演習			授業形態	演習	単位数	2
教員名	千里 政文						
授業の目的	ねらい	本講義は、建築構造力学および力学の基礎的知識として、構造設計を行う為の基礎的知識と解析手法について学ぶ。具体的には構造計画の流れと考え方を踏まえた上で、代表的各種構造物の材料・部材と設計の考え方、接合法などについて解説を通して理解を目指す。					
	到達目標	(1)各種構造も構造形式から始まり構造の全貌、その各部構造の原理・性質・特徴など総合的に把握する。 (2)本授業構造力学演習は、建築における構造力学の基礎を修得することを目標とする。 (3)本授業を通じて、構造力学演習のための必要な知識と技術を身に付けてください。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス：授業の展開説明 鉄骨構造：鉄骨構造の特徴、部材の設計（許容応力度、引張材、圧縮材、はり材） 【計画内容】 講義内容を具体的に説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 鉄骨構造：部材の設計（柱、柱脚、筋かい、仕口・継ぎ手） 【計画内容】 鉄骨構造：部材の設計（柱、柱脚、筋かい、仕口・継ぎ手）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第3回	【テーマ】 鉄骨構造：部材の接合部（リベット、ボルト、Hボルト、溶接の接合） 【計画内容】 鉄骨構造：部材の接合部（リベット、ボルト、Hボルト、溶接の接合）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第4回	【テーマ】 鉄骨構造：部材の接合部（各種接合の併用） 【計画内容】 鉄骨構造：部材の接合部（各種接合の併用）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第5回	【テーマ】 鉄骨構造：その他の鉄骨造（軽量鉄骨構造、鋼管構造） 【計画内容】 鉄骨構造：その他の鉄骨造（軽量鉄骨構造、鋼管構造）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第6回	【テーマ】 鉄骨構造：その他の鉄骨造（軽量鉄骨構造、鋼管構造）※鉄骨構造のまとめとして、小テスト・レポート提出 【計画内容】 鉄骨構造：その他の鉄骨造（軽量鉄骨構造、鋼管構造）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第7回	【テーマ】 構造設計：構造計画、荷重計算（固定荷重、積載荷重、積雪荷重） 【計画内容】 構造設計：構造計画、荷重計算（固定荷重、積載荷重、積雪荷重）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第8回	【テーマ】 構造設計：荷重計算（風圧力、地震力、土圧・水圧） 【計画内容】 構造設計：荷重計算（風圧力、地震力、土圧・水圧）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第9回	【テーマ】 構造設計：設計応力（短期応力、長期応力、応力の組み合わせ） 【計画内容】 構造設計：設計応力（短期応力、長期応力、応力の組み合わせ）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第10回	【テーマ】 構造設計：構造計算（許容応力度設計） 【計画内容】 構造設計：構造計算（許容応力度設計）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第11回	【テーマ】 地盤と基礎：地盤（土の種類、地盤の種類、土の性質） 【計画内容】 地盤と基礎：地盤（土の種類、地盤の種類、土の性質）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第12回	【テーマ】 地盤と基礎：地盤（地質調査と許容地耐力）基礎（直接基礎、杭基礎、各種の杭） 【計画内容】 地盤と基礎：地盤（地質調査と許容地耐力）基礎（直接基礎、杭基礎、各種の杭）について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第13回	【テーマ】 構造物の応力：荷重、反力、構造物の安定・不安定、静定と不静定 【計画内容】 構造物の応力：荷重、反力、構造物の安定・不安定、静定と不静定について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第14回	【テーマ】 静定構造物の応力（応力の種類）、応力度（垂直、せん断、曲げ）、部材の変形、座屈※総合のまとめとして、小テスト・レポート提出 【計画内容】 静定構造物の応力（応力の種類）、応力度（垂直、せん断、曲げ）、部材の変形、座屈について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
	第15回	【テーマ】 不静定構造物（ラーメン、はり）の応力（応力の種類）、応力度（垂直、せん断、曲げ）、部材の変形、座屈※総合のまとめとして、小テスト・レポート提出 【計画内容】 不静定構造物（ラーメン、はり）の応力（応力の種類）、応力度（垂直、せん断、曲げ）、部材の変形、座屈について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。					A、J
テキスト	初回講義時に具体的に説明します						
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必						
その他							

科目名	デジタルコンテンツ制作				授業形態	演習	単位数	2
教員名	弘田 月彦、松澤 衛							
授業の目的	ねらい	ゲーム開発ツールを用いて、オリジナルのゲームコンテンツの制作を行います。ゲーム制作に必要な基礎的な技術の習得の他、ゲーム内容の考案から、制作に必要な工程の把握を行い、その後の実作業に至る一連の流れを経験することで、コンテンツ制作に必要な技能の習得を目指します。						
	到達目標	(1)コンテンツ制作に関わる一連の技能の習得。 (2)個人が今まで学習してきた知識・技術の発展と応用力を身につける。 (3)作業をする際に重要な、計画性や作業工程の把握が適切に行えるようになる。 (4)ゲーム開発ツールの具体的な使用方法を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の進め方に関する説明や、講義で用いるゲーム開発ツールについての説明を行います。(弘田月彦・松澤衛) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を把握しておく。						A
	第2回	【テーマ】 ゲーム開発ツールの基本的な使い方(1) 【計画内容】 開発ツールの基本的な使用方法を把握するために、簡潔なゲームの制作を複数回の授業に渡って進めて行きます。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 開発ツールを使う事でどのようなゲームが制作可能か事例等を調べておく。						B、L
	第3回	【テーマ】 ゲーム開発ツールの基本的な使い方(2) 【計画内容】 引き続き簡潔なゲームの制作を通じて、キャラクターの移動方法の把握や、衝突判定の実装方法を学びます。またその際に必要なプログラミングについても学習します。(弘田月彦・松澤衛) 【準備学習の内容】 前回までに学んだ内容を復習して開発ツールに馴染んでおく。						B、L
	第4回	【テーマ】 ゲーム開発ツールの基本的な使い方(3) 【計画内容】 引き続き簡潔なゲームの制作を行います。ゲームとして成立させるために必要な、各種ユーザーインターフェースの作成方法や、効果音の設定方法、画面の遷移方法等を学びます。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 プログラミングを行う機会が増えてくるので、前回までに用いたコードの内容をよく理解しておく。						B、L
	第5回	【テーマ】 ゲーム開発と物理演算(1) 【計画内容】 開発ツールに標準で備わっている物理演算機能を用いた簡潔なゲームの制作を行います。物理演算機能についての理解を深めます。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 前回までに学習したゲーム制作の一連の流れを復習しておく。						B、L
	第6回	【テーマ】 ゲーム開発と物理演算(2) 【計画内容】 引き続き物理演算機能を用いたゲームの制作を行います。キャラクターのアニメーション方法など、ゲームのクオリティアップに関する部分も学びます。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 物理演算機能を使う事でどのようなゲームを制作できそうかイメージしておく。						B、L
	第7回	【テーマ】 ゲームのアイデアを考える 【計画内容】 今まで学習した内容を踏まえ、オリジナルのゲームの制作を始めます。まずはどのようなゲームを制作するのかアイデアを決定します。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 自分が作りたいゲーム内容をある程度イメージしておく。また、参考になりそうなゲームが無いか事前に調査し、まとめておく。						A、D、J
	第8回	【テーマ】 開発工程の把握 【計画内容】 前回決定したアイデアを元に、開発に必要な工程や、実現方法を整理して把握します。その後具体的な開発スケジュールを決定します。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 事前にある程度必要な工程をイメージしておく。						A、D、J
	第9回	【テーマ】 ゲーム制作(1) 【計画内容】 決定したスケジュールに伴い、実際に制作を進めて行きます。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 決定したスケジュールと内容を良く把握しておく。						D
	第10回	【テーマ】 ゲーム制作(2) 【計画内容】 引き続き制作を進めます。制作を進める上で不都合や行き詰まりが生じた場合は都度計画の見直しを行います。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 ここまでの進捗状況をきちんと把握しておく。						D
	第11回	【テーマ】 ゲーム制作(3) 【計画内容】 引き続き制作を進めます。事前に立てたスケジュールと現在の進捗状況を照らし合わせ、必要であればスケジュールの変更や、ゲーム内容の見直しを行います。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 制作が円滑に進まない場合に備え、代替案も用意しておく。						D
	第12回	【テーマ】 ゲーム制作(4) 【計画内容】 ゲームとして動作する状態にまで制作を進めて行きます。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 スケジュールに遅れが無いよう、作業を進めておく。						D
	第13回	【テーマ】 ゲーム制作(5) 【計画内容】 現状のゲームの動作確認を行い、不具合の修正や、ゲームバランスの調整など、より魅力的なコンテンツに上げるための改善点を把握します。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 ある程度動作確認ができる状態までに仕上げしておく。						D
	第14回	【テーマ】 ゲーム制作(6) 【計画内容】 前回確認した改善点を元にゲームの修正作業を行います。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 改善点をきちんと把握し、その具体的な実装方法をイメージしておく。						D
	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション 【計画内容】 制作したゲームのプレゼンテーションを行います。実際にゲームをプレイし改善点などの講評を行います。(弘田月彦) 【準備学習の内容】 制作したゲームを魅力的に伝えられるプレゼンテーション方法を検討しておく。						F
テキスト	講義時に説明します。							
参考書	講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%	40%	40%		
質問への対応	基本的には講義時間内に対応しますが、その他の方法等についてはオリエンテーション時に説明します。							
資格								
その他								

科目名	演劇と映画		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	松澤 衛、村松 幹男						
授業の目的	<p>わらわら 映画と演劇という似て非なるメディアについて考察する。その上で、一つのスクリプト(それをもとに脚本とシナリオを作成する)を使って演劇上演と映画制作の両方を体験する。そのことを通して映画と演劇について考察を深める。</p> <p>到達目標 (1)演劇の特徴を理解する。 (2)映画の特徴を理解する。 (3)演劇と映画の共通点と違いを理解する。 (4)演劇と映画の制作の流れを理解できる。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の展開について説明する。特にスクリプト(映像化のためのシナリオ、舞台化のための脚本の元になるもの)について説明する。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A、H、L
	第2回	【テーマ】 映画鑑賞(舞台にもなっている映画を鑑賞) 【計画内容】 映画と芝居のある作品を選定し、まず映画鑑賞をする。終了後芝居の脚本を配付する。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 舞台にも映画にもなっている作品を調べておくこと。					A、H、L
	第3回	【テーマ】 映像と舞台脚本 【計画内容】 見た映画について検討する。演劇の脚本との違いについて考える。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 脚本を読んでおくこと。					A、H、L
	第4回	【テーマ】 演劇映像鑑賞(映画鑑賞で観た映画の舞台版を鑑賞) 【計画内容】 舞台のDVDを鑑賞する。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 舞台を映像化した作品を調べておくこと。					A、H、L
	第5回	【テーマ】 演劇と映画(1) 映画と舞台の鑑賞を通して違いを考える 【計画内容】 脚本を読み、映画と演劇を鑑賞した作品を利用して演劇と映画について考える。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 映画と演劇の違いについて自分なりにまとめて置くこと。					A、H、L
	第6回	【テーマ】 演劇と映画(2) スクリプトの検討 【計画内容】 演劇化、映画化のためスクリプト(脚本・シナリオの元になるもの)について考える。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 スクリプトについて考えておくこと。					A、H、L
	第7回	【テーマ】 演劇と映画(3) シナリオ・脚本制作 【計画内容】 箱書きを決め、シナリオ・脚本を完成させる。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 スクリプトから全体の流れを考える。					A、H、L
	第8回	【テーマ】 演劇と映画(4) シナリオ・脚本を元に配役・スタッフを決める 【計画内容】 脚本を元に配役、スタッフを決定する。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 シナリオ・脚本を元に自分のポジションを考える。					A、H、L
	第9回	【テーマ】 演劇と映画(5) 映画の撮影プラン・撮影スケジュールを決める 【計画内容】 シナリオを元に映像化するための撮影プラン、撮影スケジュールを考える。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 シナリオから映像化するためのイメージを考える。					A、H、L
	第10回	【テーマ】 演劇と映画(6) 映画の撮影 【計画内容】 撮影プランに従った撮影を行う。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 撮影方法を考える。					A、H、L
	第11回	【テーマ】 演劇と映画(7) 映画の撮影、編集 【計画内容】 撮影の続きと、映像編集を行う。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 映像を元に編集方法を考える。					A、H、L
	第12回	【テーマ】 演劇と映画(8) 映画の編集 【計画内容】 シナリオにあう編集を行う。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 映像を元に編集方法を考える。					A、H、L
	第13回	【テーマ】 演劇と映画(9) 演劇の稽古① 【計画内容】 演劇の稽古を行う。発表のための準備を行う。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 脚本を読み直し、舞台化に向けて自分の役割を考えておくこと。					A、H、L
	第14回	【テーマ】 演劇と映画(10) 演劇の稽古② 【計画内容】 演劇の稽古。発表に向けての準備。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 キャストは自分の役を演じられるようにしておくこと。スタッフはプランを完成させること。					A、H、L
	第15回	【テーマ】 舞台発表&映画上映 【計画内容】 舞台発表、制作した映画を鑑賞する。(松澤衛・村松幹男) 【準備学習の内容】 舞台発表の準備をしておくこと。					A、F、H、L
テキスト	プリントを配付します						
参考書	授業時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			30%	30%	20%	20%
質問への対応	マイクロソフト チームを使用します。						
資格							
その他	受講者数によって、内容が変更になるかもしれません。 第8回にスクリプトの講評を行い、第15回の「舞台発表&映画上映」時に発表の講評を行う。						

科目名	ポートフォリオ制作Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	浅井 貴也、大信田 静子、小室 晴陽、千里 政文、富田 玲子、永野 光一、林 亨、松澤 衛、村松 幹男、森井 綾、田 恩蒔							
授業の目的	ねらい ポートフォリオを製本することで、より個性的な作品へとレベルアップさせます。就職活動などで活用することはもちろん、いつ訪れるかわからない咄嗟の機会にも活用できることが重要になります。「ポートフォリオ制作Ⅰ」で制作したポートフォリオの中身を更新することで、自分の作品制作活動を振り返り、今後へとつなげます。							
	到達目標 (1)製本技術を学ぶことで、より個性的なポートフォリオを持つ。 (2)ポートフォリオの中身を更新することで、これまでに自分が取り組んだ作品制作や学内外での活動を振り返るきっかけとする。 (3)就職活動に対する意識を高める。 (4)今後の制作活動を考えるきっかけとする。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 15回の流れ、受講の際の心構え、成績評価、出欠席に関するルールの説明をする。 【準備学習の内容】 科目履修の決定と次回への準備をすること。						A
	第2回	【テーマ】 ポートフォリオの振り返りと更新 【計画内容】 「ポートフォリオ制作Ⅰ」で作成したポートフォリオの中身を再確認し、更新すること、新規追加する作品を考え精査する。 【準備学習の内容】 ポートフォリオ追加、削除するページを決めて更新しておくこと。						B
	第3回	【テーマ】 ポートフォリオのコンセプトを考える 【計画内容】 実際に制作する自分のポートフォリオのコンセプトを考える。作例をもとにどのようなコンセプトでポートフォリオが作られているかを学び、自身の個性的なアイデアを考える。 【準備学習の内容】 次回までにポートフォリオのコンセプトのラフ案を発表するので、準備をしておくこと。						B、J
	第4回	【テーマ】 ラフコンセプト案の発表と改良 【計画内容】 コンセプト案を発表しグループで話し合いをした後、コンセプトを改良し決定させる。 【準備学習の内容】 ポートフォリオのコンセプトを確定させ、収録する作品も更新しておくこと。						B、F、K
	第5回	【テーマ】 製本1:基礎知識と技術の習得 【計画内容】 製本とは何か?その基礎知識と技術を事例を用いて学習し、実際に練習する。 【準備学習の内容】 練習課題を次週までに完成させておくこと。						B
	第6回	【テーマ】 製本2:綴じの技術① 【計画内容】 本の綴じの技術について実際に作例を研究して練習する。それぞれの綴じの長所、短所を学ぶ。 【準備学習の内容】 今回学んだ綴じのサンプルを次回までに制作しておくこと。						B
	第7回	【テーマ】 製本2:綴じの技術② 【計画内容】 前回は引き続き、本の綴じの技術について実際に作例を研究して練習する。それぞれの綴じの長所、短所を学ぶ。 【準備学習の内容】 今回学んだ綴じのサンプルを次回までに制作しておくこと。						B
	第8回	【テーマ】 製本3:ハードカバー制作 【計画内容】 表紙と裏表紙となる、ハードカバーの作り方を学ぶ。 【準備学習の内容】 ハードカバーの練習作品を次回までに完成させること。次回の授業で発表する。						B
	第9回	【テーマ】 ポートフォリオ制作① 【計画内容】 これまでのポートフォリオと収録される作品、文書、新たに考えたコンセプトをもとに新しいポートフォリオを制作する。(全5回)教員は個別に指導する。 【準備学習の内容】 ポートフォリオ制作を継続して進めておくこと。課題点を整理して次回の授業で質問すること。						B、J
	第10回	【テーマ】 ポートフォリオ制作② 【計画内容】 これまでのポートフォリオと収録される作品、文書、新たに考えたコンセプトをもとに新しいポートフォリオを制作する。教員は個別に指導する。 【準備学習の内容】 ポートフォリオ制作を継続して進めておくこと。課題点を整理して次回の授業で質問すること。						B、J
	第11回	【テーマ】 ポートフォリオ制作③ 【計画内容】 これまでのポートフォリオと収録される作品、文書、新たに考えたコンセプトをもとに新しいポートフォリオを制作する。教員は個別に指導する。 【準備学習の内容】 ポートフォリオ制作を継続して進めておくこと。課題点を整理して次回の授業で質問すること。						B、J
	第12回	【テーマ】 ポートフォリオ制作④ 【計画内容】 これまでのポートフォリオと収録される作品、文書、新たに考えたコンセプトをもとに新しいポートフォリオを制作する。教員は個別に指導する。 【準備学習の内容】 ポートフォリオ制作を継続して進めておくこと。課題点を整理して次回の授業で質問すること。						B、J
	第13回	【テーマ】 ポートフォリオ制作⑤ 【計画内容】 これまでのポートフォリオと収録される作品、文書、新たに考えたコンセプトをもとに新しいポートフォリオを制作する。教員は個別に指導する。 【準備学習の内容】 ポートフォリオ制作を継続して進めておくこと。課題点を整理して次回の授業で質問すること。						B、J
	第14回	【テーマ】 オンラインポートフォリオの更新 【計画内容】 Adobe社が提供するオンラインポートフォリオサービス「Behance」を使って、作品を全てアップロードし、インターネット上でも作品が閲覧できるようにする。 【準備学習の内容】 最終プレゼンテーションに向けての準備						B、H
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 完成したポートフォリオをプレゼンテーション発表し、お互いに講評する。その後、この先についてどのようにすれば良いか、皆さんと考える。 【準備学習の内容】 講評から得た気づきを参考にポートフォリオを今後も改訂し活用していくこと。						B、F、L
テキスト	授業内で必要に応じてプリントを配付します							
参考書	2011年、ポートフォリオ・クリエイション、バイインターナショナル、9784756240729 佐藤良仁ほか、2014年、「人の心を動かす三ツ星ポートフォリオの企画「虎の巻」」、六耀社、9784897376929 尾形美幸、2011年、「クリエイティブ業界を目指す人のためのポートフォリオ見本帳」、MDN出版、9784844362272							
成績評価の方法	筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価	
	配分	足			20%	40%	40%	
				作品・レポート等	ポートフォリオ	授業参加・貢献度		
質問への対応	この科目についての問い合わせはメールでも受け付けています。 E-Mail(浅井): takaya@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	「ポートフォリオ制作Ⅰ」が履修済みまたは、すでに自分のポートフォリオを持っていること。受講生は、これまで制作した作品(自主制作、課題制作)や学内外で参加した取り組み等の全ての記録と「ポートフォリオ制作Ⅰ」で制作したポートフォリオを授業に持参してください。							

学
芸
科
専
門
学
科
目
録

科目名	就業力実践演習				授業形態	演習	単位数	1
教員名	小室 晴陽、浅井 貴也、大信田 静子、千里 政文、冨田 玲子、永野 光一、林 亨、松澤 衛、村松 幹男、森井 綾							
授業の目的	ねらい	本演習は、キャリア形成に向けた学科の特性に合わせた実践的科目である。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。卒業後のキャリアスタートを控え、各自の描く社会人としてのあり方についてのまとめの時期を迎えている。就業力を発揮するために重ねてきた準備内容を改めて確認し、具体的に実践に移せるよう、最終的な理解を深める。						
	到達目標	(1)就職活動に求められるさまざまな準備について理解し、実行に移せる。 (2)広く社会の動向に目を向け、専門分野以外の事象にも興味関心を持つことにより、社会人となることへの自覚を涵養する。						
授業の計画	【計画内容】							
	第1回	ガイダンス 自分自身の希望する進路分野への就業のために、どのような準備が求められるのか、具体的内容について調べる。						A、K
	第2回	目標の設定 これまでの就業活動の成果や反省点をふまえ、どのようなキャリアで自分の人生を歩みたいかを考える。そして就業力に関する自己分析・自己評価を行ったうえで、残り半年のアクションプランを設定する。						B、J
	第3～7回	個別演習 学内の各種キャリア関係講演やガイダンスの活用を中心に、プランを実行していく。また、学外での企業説明会などへ参加し実行結果の評価を行い、フィードバックしていく。						B、M
	第8回	まとめ 各自の活動を総括し、就業活動で学んだ成果をまとめるとともに、今後の社会人としての資質や能力を向上させるための課題を確認する。						A、G
	【準備学習の内容】	『CAREER GUIDE BOOK』を熟読しておくこと。						
テキスト	プリントを使用します							
参考書	北翔大学キャリア支援センター、『CAREER GUIDE BOOK』、北翔大学							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
	補足			就業活動への参加		就職への取組・意欲		
質問への対応	初回講義に具体的に説明します。							
資格								
その他								

科目名	卒業研究			授業形態	演習	単位数	4
教員名	担当教員						
授業の目的	ねらい	「専門演習Ⅰ・Ⅱ」で学習した知識や表現方法をもとに、芸術学科の5つの領域(美術、服飾美術、インテリア・建築、メディアデザイン、舞台芸術)に関連する専門分野を、それぞれのゼミナールで教員と学生とが協力して運営し、実践を交えながら研究を深めます。また、自らの芸術活動の基盤づくりをします。					
	到達目標	(1)専門領域に関する自らの課題を見つけ、独自の課題に取り組む学習方法や研究方法を学ぶ。 (2)学習・研究・実践によって、専門性を深める。 (3)学外での表現活動によりコミュニケーションとしての芸術の意義を学習する。 (4)卒業発表会(制作展、演奏会、公演、発表会)において学外発表し、社会から評価を受ける。					
授業の計画	【計画内容】	第1回 オリエンテーション 卒業研究としてゼミナールで研究することについて:自らの課題を掘り下げ、研究成果を上げる方法についての概要を学びます。					B
		第2回～第6回 専門領域を深めるということ 表現法と鑑賞法の深化:専門領域での表現方法と鑑賞方法との多様な研究により、芸術の創作活動の幅を広げるスキル(技術)を、実践を通して学びます。					B
		第7回～第12回 専門領域において課題を掘り下げること 研究領域の確立:専門領域の中でも独自の課題を掘り下げるためのスキル(技術)を学びます。					B
		第13回～第15回 卒業研究における中間発表:独自の課題研究についての中間報告・中間発表をします。					B
		第16回～第20回 専門領域を活用すること 芸術活動の研究:専門領域での表現・鑑賞・創作の芸術活動が、社会においていかに貢献するかを研究します。					B
		第21回～第30回 卒業研究のまとめ 卒業制作展、卒業公演、学外発表会など:卒業研究での集大成として自らの課題研究の発表をします。					
	【準備学習の内容】	卒業研究として、自らの作品・演技・パフォーマンス・論文の制作・発表にむけて、各授業ごとに準備をすすめること。					
テキスト	初回講義時に説明します						
参考書	初回講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足				作品制作が課題になる場合がある		
質問への対応	各担当教員から説明します。						
資格							
その他							

教職に関する科目

科目名	教育実習事後指導				授業形態	講義	単位数	1
教員名	林 亨							
授業の目的	ねらい	教育実習による成果と課題を振り返り、教師を志す者として自らの課題を明確にすることで、教師としての資質や能力を向上させる。また、より意欲的に研修に取り組む態度を身に付ける。						
	到達目標	(1)教育実習における教科指導や生徒指導等の重要性を理解できる。 (2)教師としての在り方や使命感・責任感を理解できる。 (3)教師としての研修の意義を理解できる。						
授業の計画	【計画内容】	1. ガイダンス 教育実習を終え、事後の各自の対応について確認し、その実習体験内容を今後の教職にどう活かすかについて学びます。					A、I	
		2. グループワーク (1)教育実習の成果や反省点についてグループ討議します。 (2)討議内容に基づき、教育実習で学んだことをレポートにまとめます。					A、G、H、I	
		3. 教育実習報告会 各自の実習報告とグループワークによるまとめのプレゼンテーションを行い、教育実習で学んだ成果を共有するとともに、今後の教師としての資質や能力を向上させるための課題を確認します。					A、G、H	
	【準備学習の内容】	教育実習を振り返り、その成果と反省点を踏まえて自己の課題を明確にしてくる。						
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』							
参考書	文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領解説 美術・芸術編』、東山書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
	補足			レポート等				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修							
その他	「教育実習」を終了した学生に限ります。							

科目名	教育実習 I		授業形態	実習	単位数	4	
教員名	林 亨						
授業の目的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、中学校または高等学校において、実習校の校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。					
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持つ。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。					
授業の計画	【計画内容】	<p>○実習計画</p> <p>法令や実習学校により定められた期間(原則2週間)中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。</p> <p>1 実習校の教育活動等の理解</p> <p>(1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について</p> <p>(2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について</p> <p>(3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について</p> <p>(4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について他</p> <p>2 観察、参加、授業実習等の実践</p> <p>(1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習</p> <p>(2)生徒理解を通じた学級指導</p> <p>3 教職の理解</p> <p>(1)教職への自己の適性</p> <p>(2)教職の使命感・責任感</p> <p>なお、大学において、事前学習・事後学習があります。</p> <p>○展開方法</p> <p>事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。</p> <p>実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。</p>				A、B、D	
	【準備学習の内容】	『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。					
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 総則・美術』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 総則・美術』						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		30%	50%
補足							実習終了時 実習校における評価
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[芸]中1種(美術)_必修、高1種(美術)_選必						
その他	教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適性に欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消または停止します。 生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

科目名	教育実習Ⅱ		授業形態	実習	単位数	2	
教員名	林 亨						
授業の目的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、中学校または高等学校において、実習校の校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。					
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持つ。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。					
授業の計画	【計画内容】	<p>○実習計画</p> <p>法令や実習学校により定められた期間(原則2週間)中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。</p> <p>1 実習校の教育活動等の理解</p> <p>(1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について</p> <p>(2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について</p> <p>(3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について</p> <p>(4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について他</p> <p>2 観察、参加、授業実習等の実践</p> <p>(1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習</p> <p>(2)生徒理解を通じた学級指導</p> <p>3 教職の理解</p> <p>(1)教職への自己の適性</p> <p>(2)教職の使命感・責任感</p> <p>なお、大学において、事前学習・事後学習があります。</p> <p>○展開方法</p> <p>事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。</p> <p>実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。</p>				A、B、D	
	【準備学習の内容】	『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。					
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 総則・美術』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 総則・美術』						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		30%	50%
補足							実習終了時 実習校における評価
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[芸]高1種(美術)_選必						
その他	教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適性に欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消または停止します。 生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

教職に関する科目

科目名	教職実践演習(中・高)		授業形態	講義・演習	単位数	2	
教員名	林 亨						
授業の目的	ねい	3年半の教職に関する履修状況を踏まえ、中学校・高等学校の美術科教員に必要な資質や能力について、各自が「自己の学びの軌跡」として振り返るとともに、実践的指導力として不足している知識や技能を補い、その定着を図る。					
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒理解や学級経営等が理解できている。 (4)教科内容の理解と具体的な指導力が身についている。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 履修カルテをもとに、これまでの学びの軌跡を確認し、自分自身の課題を明確にする。 【準備学習の内容】 教職に関する科目等についての履修の内容等を確認すること。				A、L	
	第2回	【テーマ】 グループワークによる討論 【計画内容】 現在の教育課題と学校現場における課題の整理を行う。グループに分かれて討論を実施する。 【準備学習の内容】 教育実習時の学習指導案、日誌等を準備して、各自の課題をしておくこと。				A、H	
	第3回	【テーマ】 グループワークによる教材研究 【計画内容】 美術科教育における教材研究の重要性を確認するとともに、各グループでお互いに不足している知識を補い個人の課題を発見し学ぶ。 【準備学習の内容】 今までの教材研究資料をまとめておくこと。				A、H	
	第4回	【テーマ】 教材研究に基づく学習指導計画の検討 【計画内容】 前回の教材研究を基に学習形態・指導と評価等を工夫した学習指導計画について学ぶ。 【準備学習の内容】 教材研究をまとめておき指導計画案作成の準備をしておくこと。				A、H	
	第5回	【テーマ】 指導計画に基づく学習指導案の検討 【計画内容】 前回の指導計画を基にした学習形態・指導と評価等を工夫した学習指導案の作成について学ぶ。 【準備学習の内容】 教材研究をまとめておき指導案作成の準備をしておくこと。				A、H	
	第6回	【テーマ】 場面指導と討議 【計画内容】 さまざまな場面指導の実際を確認し問題点を整理する。 【準備学習の内容】 場面指導のさまざまな事例を収集しておくこと。				A、H	
	第7回	【テーマ】 学級経営について 【計画内容】 望ましい学級経営のあり方に基づき、学級経営案や指導計画案を作成する。また、学級担任の役割や実務について演習する。 【準備学習の内容】 学級担任の役割等について、予習しておくこと。				A、H	
	第8回	【テーマ】 生徒理解について 【計画内容】 観察、心理検査などの演習を行うとともに、カウンセリング活動を行う。また、事例研究(いじめ、不登校、発達障害、学習障害等)を行う。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。				A、H	
	第9回	【テーマ】 領域別教材研究(平面・絵画) 【計画内容】 これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、平面・絵画領域における教材研究を深める。 【準備学習の内容】 これまで学んだ平面絵画領域の教材関連資料を収集しておくこと。				A、B	
	第10回	【テーマ】 領域別教材研究(立体・彫刻) 【計画内容】 これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、立体・彫刻領域における教材研究を深める。 【準備学習の内容】 これまで学んだ立体・彫刻領域の教材関連資料を収集しておくこと。				A、B	
	第11回	【テーマ】 領域別教材研究(デザイン・工芸) 【計画内容】 これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、デザイン・工芸領域における教材研究を深める。 【準備学習の内容】 これまで学んだデザイン・工芸領域の教材関連資料を収集しておくこと。				A、B	
	第12回	【テーマ】 領域別教材研究(映像・鑑賞) 【計画内容】 これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、映像・鑑賞領域における教材研究を深める。 【準備学習の内容】 これまで学んだ映像・鑑賞領域の教材関連資料を収集しておくこと。				A、B	
	第13回	【テーマ】 現地調査(フィールドワーク)① 【計画内容】 教育現場で、現職教員と意見交換を行う。 【準備学習の内容】 意見交換の内容について事前準備をすること。				A、M	
	第14回	【テーマ】 現地調査(フィールドワーク)② 【計画内容】 関連施設や関係機関において実務実習を行う。 【準備学習の内容】 実習の事前準備を行うこと。				A、M	
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 教員として求められる基本的な資質や能力が身についたか、確認する。 【準備学習の内容】 「演習」全般を振り返り、指定された学習課題に取り組むこと。				A、G	
テキスト	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領』、東山書房、9784827814613 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領』、東山書房、9784827814781 北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』						
参考書	プリントなどを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足				レポートなど			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修						
その他	実践演習で自己の課題を解決するために意欲的に取り組む姿勢が是非とも望まれます。課題分析や課題解決への積極性を養うため、授業に臨む基本的な生活習慣は厳守を望みます。「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の全てを修得済み、あるいは修得見込みであること。						

科目名	学校ボランティア活動Ⅰ			授業形態	実習	単位数	1
教員名	二宮 孝行						
授業の目的	ねらい	学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、授業参観やボランティア活動などを通して教育現場の実際を体験し、学校教育への理解を深めます。さらには、教員を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。					
	到達目標	(1)授業参観などを通して、学校教育における学習指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解する。					
授業の計画	【計画内容】	1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。					A
		2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内等の小・中学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。					M
		3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかわり方について理解を深める。					H、J
		4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間:8回実施 24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。自己課題に基づき、活動記録を記載し、振り返る。					D
		5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ、交流することにより、新たな目標を設定する。					L
	【準備学習の内容】	資料や記録の下調べや活動の成果と課題をまとめておく。					
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					80%	20%
	補足					活動記録などによる	活動記録などによる
質問への対応	随時、対応します。						
資格							
その他	この科目の単位は、教育職員免許状に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

科目名	学校ボランティア活動Ⅱ		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	二宮 孝行						
授業の目的	ねらい	学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、「学校ボランティア活動Ⅰ」の成果を踏まえ、教育現場の実際を体験し、学校教育への理解を一層深めます。さらには、教員を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。					
	到達目標	(1)授業参観などを通して、学校教育における学習指導の実態を把握する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子をさらに深く理解する。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。					
授業の計画	【計画内容】	1. 学校における教育活動とは(90分) 学校における教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。 A 2. 研究授業の参観(2時間) 札幌市内等の小・中学校で開催される研究会に参加し、教師の指導や子どもの活動を学ぶ。 M 3. 参観研究授業の交流(90分) 参観した授業及び参加した分科会の内容について交流し、教師の児童・生徒への望ましいかわり方について理解を深める。 H、J 4. 学校現場におけるボランティア活動(1日3時間:8回実施 24時間) 学校ボランティア活動を実践することで、児童・生徒の行動や生活の様子を理解する。 個別に配慮が必要な子どもの授業支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・放課後等の授業外の支援等を行う。自己課題に基づき、活動記録を記載し、振り返る。 D 5. 学校ボランティアの交流(90分) 活動をまとめ交流することにより、新たな目標を設定する。 L					
	【準備学習の内容】	資料や記録の下調べや活動の成果及び課題をまとめておくこと。					
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					80%	20%
補足						活動記録などによる	活動記録などによる
質問への対応	随時、対応します。						
資格							
その他	この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

心理カウンセリング学科
学 科 専 門 科 目

科目名	発達支援論				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	新川 貴紀								
授業の目的	ねらい	「生涯発達心理学」、「乳幼児心理学」、「児童心理学」において発達ステージの相互の関係や発達を保証する条件は何かについて考えてきたが、本講義ではそれらをさらに追求し発達の支援について考えていく。あたりまえのように発達していることが実際はどのような意味を持つのか、発達が遅れたり歪んだりするというのはどのようなことか、そしてその支援とはどうあるべきか、について受講者と意見交換しながら理解を深めることをねらいとします。							
	到達目標	(1)人が生涯発達することの意味と、それぞれのライフサイクルにおける変化を理解できる。 (2)発達の支援について考え、理解することができる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「そだち」を支援するとはなにか。15回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、G		
	第2回	【テーマ】あいされること 【計画内容】愛されるとはどういうことか、愛されないとはどういうことかについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第3回	【テーマ】みること、みえること 【計画内容】見ること、見えないこと、について考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第4回	【テーマ】きくこと、きこえること 【計画内容】聞くこと、聞こえないこと、について考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第5回	【テーマ】おもえがくこと 【計画内容】想像すること、想像できないこと、について考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第6回	【テーマ】おちつくこと 【計画内容】集中すること、集中できないことについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第7回	【テーマ】はなすこと、かたること 【計画内容】話すこと、語ることにについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第8回	【テーマ】中間のまとめ 【計画内容】これまでの講義内容について振り返り、「そだち」の支援について考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第9回	【テーマ】あそぶこと 【計画内容】あそびとはなにか、あそびとはどういうことなのかについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第10回	【テーマ】しんじること 【計画内容】人や自分を信じることにについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第11回	【テーマ】にぶくなること 【計画内容】適度に鈍くなるとはどういうことか考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第12回	【テーマ】はたらくこと 【計画内容】働くこととはどのようなことなのか考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第13回	【テーマ】わるくなること 【計画内容】悪とはなにか、悪いことをするとはどういうことかについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第14回	【テーマ】あいすること 【計画内容】人を愛することはどういうことなのかについて考えます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。					A、G、L		
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】「そだち」の支援について個々の考えをまとめます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。					A、G、L		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	授業時に指示します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分補足			30%		70%			
				最終レポート		小レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格									
その他	子どもの発達に関する知識を持つことで将来の子育てを楽しんでもらいたい。 毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。								

科目名	社会的養護論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	鏑木 康夫							
授業の目的	ねらい	児童養護施設や自立支援施設、里親及びファミリーホームなどの歴史の変遷や現状、課題などを論じ、社会的養護を取り巻く問題などについて考えていくことをねらいとする。						
	到達目標	(1)社会的養護の現状を理解する。 (2)実際の実践について理解する。 (3)現場の感覚を身につける。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 改正児童福祉法・虐待防止法 【計画内容】 ガイダンス。授業の展開を伝える。法制度について学習する。 【準備学習の内容】 児童福祉法・虐待防止法を読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 社会的擁護の内容・施設擁護・家庭擁護 【計画内容】 社会的養護の形態について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会的養護の形態について調べておくこと。					A	
	第3回	【テーマ】 小規模・里親・国の流れ 【計画内容】 国の施策の流れについて理解する。 【準備学習の内容】 小規模化の課題について考えておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】 機関連携 【計画内容】 機関連携の重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】 機関連携が必要であるのはなぜか考えておくこと。					A	
	第5回	【テーマ】 実践のワーク① 【計画内容】 事例検討を行う。 【準備学習の内容】 ワークを行うので、積極的なコミュニケーションを図れるように心構えをしておくこと。					K	
	第6回	【テーマ】 実践のワーク② 【計画内容】 事例検討を行う。現場の感覚を養う。 【準備学習の内容】 配られたプリントを見ながら、復習を行うこと。					K	
	第7回	【テーマ】 実践のワーク③ 【計画内容】 事例検討を行う。現場の感覚を養う。 【準備学習の内容】 配られたプリントを見ながら、復習を行うこと。					K	
	第8回	【テーマ】 実践のワーク④ 【計画内容】 事例検討を行う。現場の感覚を養う。事例をまとめる。レポートとして提出してもらう。 【準備学習の内容】 配られたプリントを見ながら、まとめられるように準備しておくこと。					K	
	第9回	【テーマ】 家族調整 【計画内容】 具体的な家族調整の在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】 家族調整の在り方と重要性について考えておくこと。					A	
	第10回	【テーマ】 子どもの育ち 【計画内容】 子どもが育つ過程について学び、対人関係の構築の仕方について重点に置く。 【準備学習の内容】 子どもの心の発達と対人関係がいかに影響するか調べておくこと。					A	
	第11回	【テーマ】 アセスメント 【計画内容】 アセスメントがなぜ重要かについて理解する。 【準備学習の内容】 アセスメントとは何かについて調べておくこと。					A	
	第12回	【テーマ】 虐待 【計画内容】 社会問題としての虐待の現状を知る。 【準備学習の内容】 虐待に関する基礎的な学習を行っておくこと。					A	
	第13回	【テーマ】 自立支援 【計画内容】 社会的養護の子どもたちを自立に向かうための在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】 自立支援に必要なことは何かについて自分に照らし合わせて考えておくこと。					A	
	第14回	【テーマ】 児童養護施設 【計画内容】 児童養護施設の現状について学ぶ。 【準備学習の内容】 児童養護施設の基礎的な知識と役割について予習しておくこと。					A	
	第15回	【テーマ】 生活にかかわる心理職 【計画内容】 社会的養護の子どもたちに心理職の人はどのように関わっていくのかについて学ぶ。 【準備学習の内容】 生活の中で心理職がどのように支援していくのか、何が可能か考えておくこと。					A	
テキスト	プリントを使用する							
参考書	増沢高氏、2011年、『事例で学ぶ 社会的養護のアセスメント』、明石書籍 増沢高氏、2012年、『社会的養護における生活臨床と心理臨床』、福村出版							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			70%		30%		
補足	レポート							
質問への対応	E-Mail:kaburagi@kousyou.or.jpあるいは授業終了後に受け付けます。							
資格	[心]福祉心理士 選必							
その他								

科目名	少年非行と矯正教育		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	飯田 昭人						
授業の目的	ねらい	少年犯罪は減少傾向が続いているものの、根拠の乏しい漠然とした「治安悪化」の不安などにより、再非行防止については、まるでリスクをゼロにと求めるかのような厳しい水準の要求もある。 少年犯罪の現状を理解し、少年犯罪を取り扱う各機関のアセスメントの方法や矯正教育の実情について、心理臨床的アプローチにより理解を深めることを目的とする。					
	到達目標	(1)日本の少年犯罪の特徴、今日的状況について理解し、関係機関の役割を理解する。 (2)少年犯罪に関するアセスメントについて理解を深める。 (3)矯正教育の現場での処遇の実情について学び、非行臨床の現状について理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】少年犯罪の実情-過去と現在- 【計画内容】少年犯罪は増えているのか、統計等を使用して日本の少年犯罪の動向をたどりながら、その現状について理解する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおく。			A、K、L		
	第2回	【テーマ】子どもの法制のアウトライン 【計画内容】子どもの保護・福祉に関する法律、少年犯罪を取り扱う各機関の役割、事件処理の流れについて理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第3回	【テーマ】少年非行と素行障害 【計画内容】素行障害と非行の定義、その関係等について理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第4回	【テーマ】少年非行と家族関係 【計画内容】非行臨床において大切であると考えられる家族の社会化の機能、情緒の安定化機能について講義し、非行少年とその家族との関係の特徴について理解する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第5回	【テーマ】少年非行と学校・職場、保護因子・危険因子 【計画内容】学校・職場・地域の果たす役割、犯罪と関連のある因子等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第6回	【テーマ】薬物非行・犯罪 【計画内容】薬物非行・犯罪の状況、依存症、回復する力、離脱のための方策などについて講義し、事例を検討する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第7回	【テーマ】性非行・犯罪 【計画内容】性犯罪の種類・分類、状況要因について説明し、性犯罪者の認知の歪み、性犯罪者の処遇等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第8回	【テーマ】粗暴非行・犯罪 【計画内容】粗暴非行・犯罪の種類・分類について説明し、事例を検討する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第9回	【テーマ】アセスメントと介入① 【計画内容】非行行動のアセスメント、人格・発達のアセスメント、家族のアセスメントなどについて紹介し、アセスメントの方法等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第10回	【テーマ】アセスメントと介入② 【計画内容】第9回に続いてアセスメントの実際について講義し、石巻事件(裁判員裁判で死刑が確定した少年事件)の資料(地裁判決文など)を使い、事例検討をする。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第11回	【テーマ】児童相談所、家庭裁判所、少年鑑別所の役割 【計画内容】各機関の機能、役割及び各機関の連携等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第12回	【テーマ】児童自立支援施設の処遇 【計画内容】児童自立支援施設の処遇の実情等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第13回	【テーマ】少年院の処遇 【計画内容】少年院の処遇の状況について概括し、自閉症スペクトラム(発達障害)の視点を取り入れた処遇、保護者に対する措置等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第14回	【テーマ】保護観察所の処遇 【計画内容】社会内処遇である保護観察の実施機関とそれを担う人、保護観察官による処遇の実際等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
	第15回	【テーマ】犯罪被害者の心理、被害者支援 【計画内容】外傷後ストレス障害の主な症状について、説明し、被害者への支援等について講義する。 【準備学習の内容】配付プリントを読んでおく。			A、K、L		
テキスト	プリントを使用する。						
参考書	適宜、参考文献を紹介する。						
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補足			50%		30%	20%
質問への対応	E-Mail: iida@hokusho-u.ac.jpにメールをするか、直接747研究室にお尋ねください。						
資格							
その他	少年非行の動向や矯正教育の学びから、人間や社会を理解することに努めてください。意欲的な学生の受講を期待しています。 なお、講義のフィードバックに関しては、学生から提出された小レポートにコメントすることをもってあてます。						

科目名	現代社会と臨床心理学			授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川 貴紀、飯田 昭人、風間 雅江、小坂 守孝、澤 聡一、佐藤 至英						
授業の目的	<p>ねらい 大きく変容している現代社会において、今日の臨床心理学がどのような背景をもって発展してきたのか、そして現在、どのように展開されているのかについて、基本的理解を得る。また未解決の課題をふまえ、今後、臨床心理学はどのように展開されていくのかについて、考察する。</p> <p>到達目標 (1)臨床心理学がどのように発展してきたか、臨床心理学の歴史を理解する。 (2)臨床心理学の基礎理論を理解する。 (3)現代社会における問題に対して、臨床心理学はどのようなアプローチをとるのかについて、理解する。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 心理学から臨床心理学はどのように発展してきたのか、臨床心理学の形成と発展について、理解する。 (佐藤至英) 【準備学習の内容】 事前にシラバスを読んでおくこと。					A、L
	第2回	【テーマ】 今日の社会現象と臨床心理学(1) 【計画内容】 引きこもり、ニートの社会現象を取り上げ、臨床心理学的視点から考察する。(佐藤至英) 【準備学習の内容】 今日の社会現象について、自分なりの考えをまとめておく。					A、L
	第3回	【テーマ】 今日の社会現象と臨床心理学(2) 【計画内容】 虐待、自殺、尊厳死をキーワードに取り上げ、臨床心理学的視点から考察する。(佐藤至英) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第4回	【テーマ】 超高齢社会と臨床心理学(1) 【計画内容】 高齢期におけるQOLおよび心理的ウェルビーイングに関する心理学の知見を紹介し、現代日本の超高齢社会の現実に照らして考察する。(風間雅江) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第5回	【テーマ】 超高齢社会と臨床心理学(2) 【計画内容】 今日の超高齢社会における高齢者介護の問題に焦点をあて、介護者および要介護者の心のケアに関する心理学の理論と実践を紹介する。現代社会に生きる人々のウェルビーイングに対して、どのように心理学の知識と応用実践が貢献できるかについて考察する。(風間雅江) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第6回	【テーマ】 働く人のメンタルヘルスと臨床心理学(1) 【計画内容】 働く人を取り巻くメンタルヘルス上の諸問題に対する臨床心理学的側面からの様々な取り組みについて、主に予防策について考察を加える。(小坂守孝) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第7回	【テーマ】 働く人のメンタルヘルスと臨床心理学(2) 【計画内容】 働く人を取り巻くメンタルヘルス上の諸問題に対する臨床心理学的側面からの様々な取り組みについて、実際の相談活動や職場復帰支援について考察を加える。(小坂守孝) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第8回	【テーマ】 前半のまとめ 【計画内容】 第1回から第7回までの講義を振り返り、現代社会における臨床心理学のあり方を考察する。 (佐藤至英・風間雅江・小坂守孝) 【準備学習の内容】 第1回から第7回講義の理解の足りないところを復習しておく。					A、L
	第9回	【テーマ】 少子化と臨床心理学(1) 【計画内容】 現代の少子高齢社会における子育ての現状や問題に関する心理学の知見を紹介し、現代社会の特徴を踏まえて考察する。(新川貴紀) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第10回	【テーマ】 少子化と臨床心理学(2) 【計画内容】 乳幼児虐待の背景となる要因についての心理学の知見を紹介し、現代社会の特徴をふまえて考察する。 (新川貴紀) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第11回	【テーマ】 現代の就職・就労と青年の心理(1) 【計画内容】 大学生が直面する就職活動や就労について、既存の臨床・青年心理学の知見と、近年の社会状況、受講者の実情とを照らしながら、考察を行う。(澤聡一) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第12回	【テーマ】 現代の就職・就労と青年の心理(2) 【計画内容】 就職や就労についての受講者の声を共有し、「現代社会において働くということ」についての考察を深め、社会における考え方・振舞い方について議論する。(澤聡一) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第13回	【テーマ】 出生前診断について考える 【計画内容】 胎児に障害があるかどうかを診断する出生前診断について、現状の課題や問題点を挙げながら、臨床心理学的視点を交えて考えていく。(飯田昭人) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第14回	【テーマ】 援助職者に共通する資質とは？ 【計画内容】 臨床心理士や社会福祉士、教師など、対人援助業務に携わる人間に共通する資質について考えていく。 (飯田昭人) 【準備学習の内容】 プリントにある学習課題を行っておく。					A、L
	第15回	【テーマ】 後半のまとめ 【計画内容】 第9回から第14回までの講義を振り返り、現代社会における臨床心理学のあり方を考察する。 (新川貴紀・澤聡一・飯田昭人) 【準備学習の内容】 第9回から第14回講義での理解の足りないところを復習しておく。					A、L
テキスト	授業概要ならびに課題のプリントを配付します						
参考書	適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
補足				小レポート		平時	
質問への対応	各教員の初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[心]福祉心理士_選必						
その他	原則として、各教員の課題を提出することで単位が認められます。 第8回と第15回に課題についてのフィードバックを行います。						

科目名	対人コミュニケーション演習				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	風間 雅江								
授業の目的	ねらい	社会的スキルとしての対人コミュニケーションを心理学的観点から多面的に検討し、さまざまな領域の職業生活で求められる高度なコミュニケーション能力とは何かについて考察する。これまで得た心理学の知識や日常生活における洞察をもとにディスカッションを行い、そこで示唆されたことについて、グループワークやロールプレイなどの実習を通して、体験的にコミュニケーション能力を高めていくことをめざす。							
	到達目標	(1)他者の意図を把握し、安心と信頼を生み出す傾聴の能力を高める。 (2)対人関係を円滑にし、集団としての問題解決やパフォーマンス向上に繋がる関係性構築能力を高める。 (3)他者と自己の両方を尊重するアサーションの能力を高める。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 対人コミュニケーションにかかわる心理学の諸概念および理論的枠組みを整理する。本講義のめざすところを説明する。 【準備学習の内容】 シラバスをあらかじめ読んでおくこと。					A、K		
	第2回	【テーマ】 社会的スキルとしてのコミュニケーション・スキル 【計画内容】 コミュニケーション・スキルは社会的スキルのひとつである。社会的スキルの生起過程モデル、社会的スキルの要素について概説し、社会的スキルの測定の実習を行う。社会的スキルにおいて、コミュニケーション・スキルがどのように位置づけられているか理解する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、D		
	第3回	【テーマ】 人間関係の構築とコミュニケーション 【計画内容】 意思疎通を促す人間関係はいかなるものであるのか、会社、学校、病院といった場面ごとに具体的に考察し、有効な実践的コミュニケーションのあり方について検討する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第4回	【テーマ】 コミュニケーションにおける聴くということ 【計画内容】 傾聴および能動的聴き方とは何か、カウンセリングにおける聴き方について理解を深め、実践的方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第5回	【テーマ】 アサーション(1) 【計画内容】 アサーションとは何か、自分自身の自己表現の特徴はいかなるものであるのか、自身のコミュニケーションについて洞察を深める。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第6回	【テーマ】 アサーション(2) 【計画内容】 二者間における具体的な場面を想定し、アサーションのトレーニングを実践する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、D、K		
	第7回	【テーマ】 アサーション(3) 【計画内容】 会議等での議論の場における問題解決をめざすアサーションの手法として、DESC法について学び、実習を通して修得する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、D、K		
	第8回	【テーマ】 非言語的コミュニケーション(1) 【計画内容】 非言語による伝達手段としての、視線、姿勢、表情、動作等の視覚的情報について、それらの受信と発信について実践的に検討する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、D、K		
	第9回	【テーマ】 非言語的コミュニケーション(2) 【計画内容】 非言語による伝達手段としての、対人距離、服装等について、それらの受信と発信について実践的に検討する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、D、K		
	第10回	【テーマ】 非言語的コミュニケーション(3) 【計画内容】 非言語による伝達手段としての、パラ言語(声の大きさ、話すスピード、話し方等)について、それらの受信と発信について実践的に検討する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、D、K		
	第11回	【テーマ】 異文化間コミュニケーション 【計画内容】 文化の違いによるコミュニケーションの違いを理解し、意思疎通と相互理解に向けたコミュニケーション方法について考察する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第12回	【テーマ】 アンガー・マネジメント(1) 【計画内容】 怒りという感情に対して適切に対処するコミュニケーションのあり方について考察する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第13回	【テーマ】 アンガー・マネジメント(2) 【計画内容】 自己の怒り感情と、他者の怒り感情にどのように対応すべきか考察する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第14回	【テーマ】 文字を介したコミュニケーション 【計画内容】 メール、手紙といった文字を介したコミュニケーションについて、さまざまな場面を想定し、考察する。 【準備学習の内容】 配付資料をあらかじめ読んでおくこと。					A、B、K		
	第15回	【テーマ】 まとめとふりかえり 【計画内容】 自己実現と他者尊重の両方を可能にするコミュニケーションのあり方について、本講義でこれまで学んだことをふまえて総合的に考察する。 【準備学習の内容】 前回まで学んだことをふりかえり、重要点と不明点を確認しておくこと。					A、B、G		
テキスト	資料を配付します								
参考書	大坊郁夫編、2005年、『社会的スキル向上を目指す対人コミュニケーション』、ナカニシヤ出版、4888489742								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	20%		50%		30%			
質問への対応	授業終了時あるいはオフィスアワー時に直接、および、E-Mail:mkazama@hokusho-u.ac.jpで対応します。								
資格									
その他	最終回に課題についての講評を伝えます。								

科目名	現代社会と福祉Ⅰ			授業形態	講義	単位数	2
教員名	伊藤 新一郎						
授業の目的	ねらい	<p>少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となっており、社会福祉の支援対象も広がりを見せている。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない/まだはじまったばかりの支援があることも現実である。以上より、本科目では、社会福祉の理念・原理・哲学に加え、現代社会の変化・動向と福祉政策の関係、そしてそれに関わる主体(アクター)間の役割分担、社会福祉や福祉政策の課題などについて取り上げる。</p>					
	到達目標	<p>(1)現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 (2)福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 (3)福祉政策の構成要素(政府、市場、家族、個人等)について理解する。</p>					
授業の計画	第1回	【テーマ】社会の変化と福祉① 【計画内容】 伝統社会から近代社会への移行、福祉国家の成立について学ぶ。 【準備学習の内容】 近代社会・福祉国家について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第2回	【テーマ】社会の変化と福祉② 【計画内容】 福祉国家の変容、現代社会の変化と福祉、福祉政策の課題について学ぶ。 【準備学習の内容】 福祉政策における今日的課題とされる事項について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第3回	【テーマ】福祉と福祉政策① 【計画内容】 社会福祉の概念と範囲について歴史的展開と今日的動向について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会福祉の概念・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第4回	【テーマ】福祉と福祉政策② 【計画内容】 福祉政策の特徴と社会福祉士の役割・機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会福祉士及び介護福祉士法の内容について確認しておく。				A	
	第5回	【テーマ】福祉の思想と哲学① 【計画内容】 福祉の思想・哲学、市場の論理と倫理について学ぶ。 【準備学習の内容】 福祉の思想に関わる人権について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第6回	【テーマ】福祉の思想と哲学② 【計画内容】 福祉の理論的基礎としてのロールズの正義論とセンの潜在能力論について学ぶ。 【準備学習の内容】 ロールズとセンの主張について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第7回	【テーマ】社会政策と福祉政策 【計画内容】 社会政策と福祉政策の概念・範囲と両者の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会政策と福祉政策の範囲・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第8回	【テーマ】福祉政策の発展過程① 【計画内容】 近代化と福祉政策の関係・展開について学ぶ。 【準備学習の内容】 近代化・産業化の特徴について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第9回	【テーマ】福祉政策の発展過程② 【計画内容】 戦後から高度経済成長期における福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】 戦後復興と高度経済成長期における日本の社会経済について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第10回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策① 【計画内容】 1970年代～1980年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】 オイルショック・行政改革について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第11回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策② 【計画内容】 1990年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】 バブル経済の崩壊、失われた10年について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第12回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策③ 【計画内容】 2000年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会福祉基礎構造改革、社会福祉法の成立、契約制度について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第13回	【テーマ】福祉政策と政治 【計画内容】 福祉政策と政治・社会の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】 日本の政治制度や地域・家族・社会変化の動向について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第14回	【テーマ】福祉政策と経済 【計画内容】 福祉政策と経済の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】 今日の政府による経済政策(アベノミクス等)について可能な範囲で調べ学習をしておく。				A	
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】 本科目のまとめを行う。 【準備学習の内容】 14回までの内容を復習しておく。				A	
テキスト	毎回、講義資料を配付する。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	70%				30%	
質問への対応	E-Mail: ito@hokusei.ac.jp						
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・第16回に期末試験を行う。 ・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・社会経済情勢や福祉政策・社会保障の動向に関するマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。 						

科目名	現代社会と福祉Ⅱ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	伊藤 新一郎						
授業の目的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となっており、社会福祉の支援対象も広がりを見せている。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない/まだはじまったばかりの支援があることも現実である。以上より、本科目では、福祉政策における必要(ニーズ)や関連領域との関係や動向、実際の相談援助における原理・原則、先進諸国の福祉政策の展開、現在の日本における福祉政策理念のポイントと今後の課題などについて取り上げる。					
	到達目標	(1)福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 (2)福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む)の関係について理解する。 (3)相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 (4)福祉政策の国際的動向と課題について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】福祉政策における必要と資源 【計画内容】必要(ニーズ)概念と資源について学ぶ。 【準備学習の内容】必要(ニーズ)概念について他科目で学習した内容を復習しておく。	A				
	第2回	【テーマ】福祉政策の理念・主体・手法 【計画内容】福祉政策の理念、資源配分システム、政策決定と評価について学ぶ。 【準備学習の内容】福祉政策の理念の基礎となる社会福祉における価値について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A				
	第3回	【テーマ】福祉政策と関連領域① 【計画内容】福祉政策と権利擁護、保健医療、所得保障の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第4回	【テーマ】福祉政策と関連領域② 【計画内容】福祉政策と雇用、教育、住宅、災害支援の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第5回	【テーマ】社会福祉制度の体系① 【計画内容】社会福祉制度の仕組みと構造について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第6回	【テーマ】社会福祉制度の体系② 【計画内容】社会福祉制度と福祉サービスの関係・現状・課題について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第7回	【テーマ】福祉サービスの提供① 【計画内容】福祉サービスの提供・利用方式(措置・高齢・障害・保育など)について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第8回	【テーマ】福祉サービスの提供② 【計画内容】福祉サービスの提供における運営管理部門の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第9回	【テーマ】福祉サービスと相談援助① 【計画内容】相談援助の原理・原則・方法について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第10回	【テーマ】福祉サービスと相談援助② 【計画内容】相談援助と地域福祉の関係と今日的展開について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A				
	第11回	【テーマ】福祉政策の国際比較① 【計画内容】北米と西欧・北欧の福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】アメリカ・イギリス・スウェーデンなどの先進諸国の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A				
	第12回	【テーマ】福祉政策の国際比較② 【計画内容】東アジア諸国の福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】韓国・中国・台湾の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A				
	第13回	【テーマ】福祉政策の課題と展望① 【計画内容】新たな社会的リスクへ対応する福祉政策のあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】人間のライフサイクル・ライフコースと典型的な生活課題について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A				
	第14回	【テーマ】福祉政策の課題と展望② 【計画内容】福祉政策の今日的理念である地域共生社会、地域包括ケアや包摂型福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】地域共生社会、地域包括ケアについて可能な範囲で調べ学習をしておく。	A				
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【準備学習の内容】14回目までの内容を復習しておく。	A				
テキスト	毎回、講義資料を配付する。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	70%				30%	
質問への対応	E-Mail: ito@hokusei.ac.jp						
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
その他	・第16回に期末試験を行う。 ・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・福祉政策・社会保障などに関係する新聞・TVなどのマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。						

科目名	社会福祉行政・福祉計画論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	志水 幸							
授業の目的	ねらい	この授業では、地域共生社会の構築に資するべく、社会福祉行政における国・地方公共団体および民間の役割について概説します。また、社会福祉計画の意義、目的および方法について実践的に概説します。						
	到達目標	(1)社会福祉行政の実施体制について説明できる。 (2)社会保障財政について説明できる。 (3)社会福祉計画について説明できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義の概要と学修方法について ・社会福祉の基本問題(本質論問題、補充性問題、補充性の今日的理解) 【計画内容】授業概要を紹介し、準備学修方法について説明します。 ・社会福祉行政および福祉計画に係る前提として、公私問題の今日的意味について説明します。 【準備学習の内容】 これまでに履修した、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士指定科目の内容(特に、制度・政策に関する事項)を振り返ってみてください。						A
	第2回	【テーマ】社会福祉行政の形成過程(第1段階) 【計画内容】近代国家における社会福祉行政の第1段階として、恤救規則から感化法に至る過程を概観し、公私関係の転換を跡づけます。 【準備学習の内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。						A
	第3回	【テーマ】社会福祉行政の形成過程(第2段階、第3段階) 【計画内容】第2段階として感化法から救護法に至る過程を、第3段階として戦後の社会福祉基礎構造の形成過程を概観し、公私関係の固定化について跡づけます。 【準備学習の内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。						A
	第4回	【テーマ】社会福祉行政事務の変遷過程(第1段階) 【計画内容】地方自治法制定からシャープ勧告に至る過程を通して、機関委任事務・団体委任事務について説明します。 【準備学習の内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。						A
	第5回	【テーマ】社会福祉行政事務の変遷過程(第2段階、第3段階) 【計画内容】地方公共団体の執行機関が国の機関として行う事務の整理及び合理化に関する法律から地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律に至る過程を通して、社会福祉行政事務の変更について説明します。 【準備学習の内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。						A
	第6回	【テーマ】社会福祉行政事務における国の関与の類型 【計画内容】関与の原則の明定として、国の関与の一般原則、基本類型、手続きルールについて説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第7回	【テーマ】法令の基本構造 【計画内容】法体系と各法令の位置づけを通して、議会立法や行政立法について説明します。あわせて、法令の条文構造等についても説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第8回	【テーマ】社会福祉行政組織 ・専門職の役割 【計画内容】国および地方公共団体における社会福祉行政の実施体制について説明します。 ・各種相談機関等における専門職の役割について説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第9回	【テーマ】社会保障財政の動向 【計画内容】社会保障関係費や社会保障給付費の定義および概要について説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第10回	【テーマ】地方公共団体の財政の動向 ・民間財源の動向 【計画内容】民生費を中心に地方公共団体の財政の動向について説明します。 ・SIB等の新たな財源の動向について説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第11回	【テーマ】社会福祉計画の概要(構造・機能) 【計画内容】社会福祉計画の構造と機能および歴史について説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第12回	【テーマ】社会福祉計画の概要(分野・方法) 【計画内容】社会福祉計画の分野と方法について説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第13回	【テーマ】社会福祉計画の策定方法の実際 【計画内容】市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画策定指針の在り方について(一人ひとりの地域住民への訴え)をもとに、計画策定のプロセスについて説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第14回	【テーマ】地域共生社会の実現に向けて 【計画内容】地域力強化検討会最終とりまとめをもとに、地域共生社会の構築に資する公私関係の新たな地平と、社会福祉計画の策定・実施における住民主体の意義について説明します。 【準備学習の内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。						A
	第15回	【テーマ】授業の振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの授業を振り返り、体系的に要点を整理します。 【準備学習の内容】テキストや配付資料の要点を整理してください。						A、L
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2017年、『福祉行政と福祉計画』、中央法規出版、9784805854303							
参考書	厚生統計協会編、2018年、『国民の福祉と介護の動向』、厚生統計協会 福祉六法編集委員会編、2019年、『社会福祉小六法』、ミネルヴァ書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	90%		10%				
補	足			ワークシート				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
その他	この講義を受講する際には、以下の事項を遵守してください。 ・この講義は、国家試験受験資格取得に係るものであり、講義を1/3以上欠席した場合は定期試験の受験を認めません。 ・出席確認は、講義の初めに行います。出席確認後の入室は認めますが、欠席処理では欠席とします。また、講義中の教室への出入りを禁止します(但し、特別な事情がある場合には、予め申し出てください)。 ・受講に際し、必ず教科書を購入し、毎回持参してください。							

科目名	精神保健福祉学Ⅲ				授業形態	講義	単位数	2
教員名	橋本 菊次郎、今井 博康、寺田 香							
授業の目的	ねらい	「精神保健福祉学Ⅰ・Ⅱ」(2年次開講)において、精神保健福祉実践に必要な視点、技術、知識について学んだところであるが、本科目では、精神保健福祉援助実習において、制度・政策・その他社会的サービスの活用に触れたことを前提として、精神障害者の生活支援の意義と特徴について再確認を行う。また、めまぐるしく変化する精神保健福祉関連制度、施策等(居住支援や就労支援等)の改正などの最新動向を理解することを目的におく。						
	到達目標	(1)精神障害者の人権について、担当事例や実際の相談援助活動から検討、理解できる。 (2)精神保健福祉士の理念、意義、対象をより具体的に理解できる。 (3)精神保健福祉援助において必要とされる知識、技術を具体的に、実際に理解できる。 (4)精神保健福祉施策・制度の具体的な活用方法を理解し、制度改正の要点を把握する。 (5)市町村および行政機関における相談援助の概要及び実際を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】精神障害者の概念と処遇について 【計画内容】精神障害者の概念の考察および歴史の概観。(今井博康) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第1章Ⅰなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第2回	【テーマ】生活の実態 【計画内容】精神保健福祉援助実習機関を利用する精神障害者の理解。(今井博康) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第4章Ⅰなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第3回	【テーマ】精神障害者の生活と人権(1) 【計画内容】精神科医療機関(病院・診療所)設立の法的根拠及びそこで活用される法制度。(今井博康) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第1章Ⅰなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第4回	【テーマ】精神障害者の生活と人権(2) 【計画内容】障害福祉サービス機関設立の法的根拠及びそこで活用される法制度。(今井博康) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第1章Ⅱ、第4章Ⅳなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第5回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(1)精神保健福祉士の専門性と倫理 【計画内容】(社)日本精神保健福祉士協会倫理綱領を紐解きつつ、その実践への応用を学ぶ。(寺田香) 【準備学習の内容】(社)日本精神保健福祉士協会倫理綱領を確認しておくこと。						A、K、L
	第6回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(2)精神保健福祉士の人権擁護 【計画内容】精神医療の利用及び地域社会生活における人権保障とその擁護への関与を学ぶ。(寺田香) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第1章など)を確認しておくこと。						A、K、L
	第7回	【テーマ】精神障害者の居住支援(1) 【計画内容】住居支援制度の概要。(橋本菊次郎) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第4章Ⅱなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第8回	【テーマ】精神障害者の居住支援(2) 【計画内容】関係する組織および専門職の役割と連携。(橋本菊次郎) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第4章Ⅱなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第9回	【テーマ】精神障害者の居住支援(3) 【計画内容】住居支援の実際。(橋本菊次郎) 【準備学習の内容】第7回、第8回の講義内容を復習しておくこと。						A、K、L
	第10回	【テーマ】精神障害者の就労支援(1) 【計画内容】就労支援制度の概要。(橋本菊次郎) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第4章Ⅲなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第11回	【テーマ】精神障害者の就労支援(2) 【計画内容】関係する組織および専門職の役割と連携。(橋本菊次郎) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第4章Ⅲなど)を確認しておくこと。						A、K、L
	第12回	【テーマ】精神障害者の就労支援(3) 【計画内容】就労支援の実際。(橋本菊次郎) 【準備学習の内容】第10回、第11回の講義内容を復習しておくこと。						A、K、L
	第13回	【テーマ】精神障害者の生活支援 【計画内容】行政組織、関連施策・制度(医療保険、所得保障、税制等)。(寺田香) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第1章Ⅲ、第3章など)を確認しておくこと。						A、K、L
	第14回	【テーマ】精神障害者の処遇についての考察 【計画内容】医療観察法と更生保護制度への考察。(今井博康) 【準備学習の内容】テキスト該当部分(第2章など)を確認しておくこと。						A、K、L
	第15回	【テーマ】精神保健福祉士の展望(まとめ) 【計画内容】現代社会、地域社会の精神保健福祉領域における役割および職域の拡大理解。(全教員) 【準備学習の内容】実習で経験した精神保健福祉士の業務内容、実習場面において必要と感じられた技術・知識について、これまでの講義内容を踏まえ、整理しておくこと。						A、K、L
テキスト	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉の制度・サービスと生活支援システム(第6版)』、へるす出版、9784892699092							
参考書	精神保健医療福祉白書編集委員会、2018年、『精神保健医療福祉白書2018/2019』、中央法規出版、9784805857243							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%				50%		
補足		持ち込み不可				リアクションペーパー、数回課題の提出時		
質問への対応	リアクションペーパーでも受け付けるが、講義内での積極的な質疑、対面式による質疑を期待する。							
資格	[心]精神保健福祉士 必修、福祉心理士 選必							
その他	精神保健福祉士受験資格取得のための、他の指定科目(講義系科目ほか「精神保健福祉援助実習」および「精神保健福祉援助実習指導」)を履修していることが望ましい。 試験レポートについては返却し、解説・講評する。							

科目名	精神保健福祉援助演習Ⅱ		授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井 博康、尾形 多佳士					
授業の目的	ねらい	精神障害者及びその家族のより具体的な生活課題、多重生活問題への対処、さらには地域生活の保持と発展、地域社会に存在する諸問題の発見と対応について、精神保健福祉士に求められる価値を基盤としつつ、どのような知識・技術を用いて解決を求めていくかを総合的に理解する。また実習後の本演習の展開においては、実習体験も加味した具体的なイメージ形成、ならびにスーパービジョンの要素を採用した展開により、実践的な精神保健福祉士の養成にあたる。				
	到達目標	(1)専門職としての価値・技能・知識を自覚的に用いることができる。 (2)援助者としての自己への気づきを能動的に行うことができる。 (3)課題発見から情報収集を経て、アセスメントまでできる。 (4)習得した技能を意識的に用いることができる。 (5)相談援助の一連の経過と包括的支援について、事例から具体的に検討することができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】 諸用語の理解と解説 【計画内容】 すでに展開されている、「精神保健福祉援助技術各論」、「精神保健福祉援助実習指導」との連動を視野に入れ、実践上で用いられる諸用語、ならびに制度の基本的理解度を確認する。 【準備学習の内容】 シラバス内容をあらかじめ確認しておくこと。	A、H			
	第2回	【テーマ】 総合的かつ包括的な相談援助とは 【計画内容】 エコシステム理論、ライフモデル、近年注目されるナラティブモデルなどをテーマにして事例をどのように読み解くか、またその視点をどう育てていくかについて解説する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第3回	【テーマ】 事例検討法(1) 【計画内容】 事例検討、事例研究、ならびに症例検討の違いについてあらかじめ文献等により各自が調べ、発表と解説を通じて共通理解を得る。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第4回	【テーマ】 事例検討法(2) 【計画内容】 事例検討、事例研究、ならびに症例検討の違いについてあらかじめ文献等により各自が調べ、発表と解説を通じて共通理解を得る。また、各事例における経過性(インテーク面接から終結)を重視することを教示する。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第5回	【テーマ】 事例検討(1) 【計画内容】 退院支援あるいは地域移行支援事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第6回	【テーマ】 事例(1)プレゼンテーション 【計画内容】 グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。新たな視点があれば次回以降の参考にする。最後に教員が総括する。 【準備学習の内容】 事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	A、H			
	第7回	【テーマ】 事例検討(2) 【計画内容】 地域生活支援事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第8回	【テーマ】 事例(2)プレゼンテーション 【計画内容】 グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。新たな視点があれば次回以降の参考にする。最後に教員が総括する。 【準備学習の内容】 事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	A、H			
	第9回	【テーマ】 事例検討(3) 【計画内容】 雇用・就労支援事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第10回	【テーマ】 事例(3)プレゼンテーション 【計画内容】 グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。新たな視点があれば次回以降の参考にする。最後に教員が総括する。 【準備学習の内容】 事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	A、H			
	第11回	【テーマ】 事例検討(4) 【計画内容】 貧困、低所得、あるいはホームレス状態にある精神障害者事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第12回	【テーマ】 事例(4)プレゼンテーション 【計画内容】 グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。低所得問題やホームレスが精神障害者特有の課題ではなく、今日の雇用形態や国民生活の不安定さと密接に関連する課題であることを併せて理解する。 【準備学習の内容】 事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	A、H			
	第13回	【テーマ】 事例検討(5) 【計画内容】 他職種連携(チームアプローチ)事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第14回	【テーマ】 事例(5)プレゼンテーション 【計画内容】 グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。また、本事例に限らずチームによるアプローチはさまざまな形で行われていることの理解を深める。 【準備学習の内容】 事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	A、H			
	第15回	【テーマ】 事例(6) 【計画内容】 ピア・サポート、セルフヘルプグループ等に関する事例を紹介する。特に当事者同士のもつ力、「仲間」の力、などに着目するとともに当事者と精神保健福祉士の関係性について検討する。また、実習直前であることから、第1回授業内容について復習を促す。 【準備学習の内容】 第5回～第14回までの授業内容について復習しておくこと。	A、H			
テキスト	教員作成のレジュメを配付します					
参考書	新版・精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、「改訂新版・精神保健福祉士養成セミナー」[精神保健福祉援助演習「基礎」[専門]]、へるす出版、9784892698378					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%		60%	
補足						
質問への対応	積極的な質疑、対面式による質疑を期待します。					
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必					
その他	本教科を履修登録していない者は、「精神保健福祉援助実習指導」、「精神保健福祉援助実習」を履修出来ない。 提出物及び出席を重視するので、積極的な参加が求められる。					

科目名	精神保健福祉援助演習Ⅲ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	今井 博康、橋本 菊次郎							
授業の目的	ねらい	本演習は「精神保健福祉援助実習」を終えていることを前提に展開する。 実習でのスーパービジョン経験、学びを加味し、精神障害者及びその家族のより具体的な生活課題、多重生活問題への対処、さらには地域生活の保持と発展、地域社会に存在する諸問題の発見と対応について、どのような知識・技術を用いて精神保健福祉士は支援するのか、実践的な検討ができることを目的とする。						
	到達目標	(1)専門職としての価値・技能・知識を自覚的に用いることができる。 (2)援助者としての自己への気づきを能動的に行うことができる。 (3)課題発見から情報収集を経て、アセスメントまでできる。 (4)習得した技能を意識的に用いることができる。 (5)相談援助の一連の経過と包括的支援について、事例から具体的に検討することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】精神保健福祉援助実習における経験(1) 【計画内容】「精神保健福祉援助演習Ⅱ」で実施した内容と実習における経験の相違点、共通点について各自の意見を述べる。 【準備学習の内容】実習日誌等から実習内容について振り返っておくこと。						B、H、L
	第2回	【テーマ】精神保健福祉援助実習における経験(2) 【計画内容】「精神保健福祉援助演習Ⅱ」で実施した内容と実習における経験の相違点、共通点について各自の意見を述べる。いわゆる座学と実践経験における同異点、ソーシャルワーク理論の必要性に関する復習とまとめを行う。 【準備学習の内容】実習日誌等から実習内容について振り返っておくこと。						B、H、L
	第3回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(1) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 初回では事例検討とスーパービジョンの焦点の違いについて解説する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						A、B、H、L
	第4回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(2) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						B、H、J、L
	第5回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(3) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						B、H、J、L
	第6回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(4) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						B、H、J、L
	第7回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(5) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						B、H、J、L
	第8回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(6) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						B、H、J、L
	第9回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(7) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【準備学習の内容】事例検討法について復習し、担当にあたっている学生は発表準備をしておくこと。						B、H、J、L
	第10回	【テーマ】理論と実践をつなぐ(1) 【計画内容】全事例のうち、特に個別援助に関連するソーシャルワーク実践モデル、援助的なかかわりの試行について、教員より解説し整理を試みる。 【準備学習の内容】ソーシャルワーク実践モデルについて復習しておくこと。						A、B、J
	第11回	【テーマ】理論と実践をつなぐ(2) 【計画内容】全事例のうち、特にグループワークに関連する実践モデルを取り上げ、レクリエーション、タスクグループ、治療的グループ等の特徴の整理、媒介役として精神保健福祉士に求められる知識・技能を解説する。 【準備学習の内容】ソーシャルワーク実践モデルについて復習しておくこと。						A、B、J
	第12回	【テーマ】地域における精神保健福祉(1) 【計画内容】今後、精神保健福祉士に求められる社会の要請(自殺、児童や高齢者虐待、いじめ等)に関する考察を行う。実習体験ならびに演習を応用しながら、現代社会における諸問題にどのような対応が求められるのかを検討する。 【準備学習の内容】児童、虐待・高齢者虐待・いじめに関する問題について復習しておくこと。						B、H、J
	第13回	【テーマ】地域における精神保健福祉(2) 【計画内容】今後、さらに精神保健福祉士に求められる社会の要請(アルコール・薬物依存に関する問題、医療観察法を含む司法に関連する問題)に関する考察を行う。実習体験ならびに演習を応用しながら、現代社会における諸問題にどのような対応が求められるのかを検討する。 【準備学習の内容】アルコール・薬物依存に関する問題、医療観察法を含む司法に関連する問題について復習しておくこと。						B、H、J
	第14回	【テーマ】地域の再構築と精神保健福祉士 【計画内容】視点を更に広げ、どのような街づくりがメンタルヘルス上においても住みよいと言えるのか、対象とするクライアントと地域社会の双方にまなざしを向けるとはどのようなことか、ディスカッションを行う。 【準備学習の内容】第13回の授業内容を復習しておくこと						B、F、H
	第15回	【テーマ】ソーシャルアクションと精神保健福祉士 【計画内容】制度・政策と、それへのアクセスの保障という観点から、ミクロからマクロレベルにおける精神保健福祉士の視点、ならびにソーシャルアクションの方法について考察する。第12回～第15回を総括し、多様な領域における精神保健福祉士の実践のより具体的なイメージを図る。 【準備学習の内容】これまでの演習内容を復習しておくこと。						A、B、H
テキスト	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、「精神保健福祉士養成セミナー7「精神保健福祉援助演習[基礎][専門]」 <第6版>」、へるす出版、9784892699108 教員作成のレジュメを配付します							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%		30%	40%	
補足						グループワークへの参加状況	演習の取組	
質問への対応	積極的な質疑、対面式による質疑を期待します。							
資格	[心]精神保健福祉士 必修、福祉心理士 選必							
その他	「精神保健福祉援助実習指導」「精神保健福祉援助実習」の履修をする必要がある。 提出物及び出席を重視するので、積極的な参加が求められる。 課題については事前に採点基準を示し、採点後返却し、解説・講評する。							

科目名	精神保健福祉援助実習指導		授業形態	演習	単位数	3	
教員名	橋本 菊次郎、今井 博康、寺田 香						
授業の目的	ねらい	3年次後学期からの4年次後学期にわたり展開される科目であり、学期ごとの目的・ねらいは以下のとおりである。 (1)3年次後学期)実習の意義について理解し、実習に於いて必要な態度、職業倫理の涵養および精神保健福祉援助に係る知識と技術の習得する。春休みに実施する障害福祉サービス事業所等での実習①に備え、実習現場の性格とその概況および対象者について理解し、実習目標を設定する。 (2)4年次前学期)障害福祉サービス事業所等での実習①での実習態度および課題への取り組み、達成状況を振り返る。また医療機関での実習②に備え、実習現場の性格と概況および対象者について理解し、主体的な実習目標を設定する。 (3)4年次後学期)実習①と②、実習全体の総括を行い、専門的知識および技術について体系立てて理解する。また、特に自己の実習の主体的評価を行い、実習の意義を確認する。					
	到達目標	(1)精神保健福祉士に必要な価値について理解する。 (2)精神保健福祉士に必要な基本的知識を獲得する。 (3)精神保健福祉士に必要な援助技術を習得する。 (4)実習機内で求められるマナー等を獲得する。 (5)主体的な学習態度の必要性を自覚する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】実習①帰学指導 【計画内容】教員によるスーパーバージョン。1週目ということで、実習内容の確認および心身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。2週目に向けて、実習課題を確認する。また実習日誌の記載方法の確認および指導を行う。 【準備学習の内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H	第16回	【テーマ】実習②帰学指導(1) 【計画内容】教員によるスーパーバージョン。1週目ということで、実習内容の確認および心身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。2週目に向けて、実習課題を確認する。また実習日誌の記載方法の確認および指導を行う。 【準備学習の内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H	
	第2回	【テーマ】実習①巡回指導 【計画内容】巡回指導、学生と教員、現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員の三者面談も行う。2週目ということで1回目の帰学指導内容について確認し、実習課題とその達成状況を確認し、残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【準備学習の内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、G	第17回	【テーマ】実習②帰学指導(2) 【計画内容】2回目の帰学指導、教員によるスーパーバージョン。実習内容の確認および心身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。3週目に向けて、実習課題を確認する。 【準備学習の内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H	
	第3回	【テーマ】グループスーパーバージョン(1) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【準備学習の内容】実習記録等から実習内容を振り返ってしておくこと。	F、H、L	第18回	【テーマ】実習②巡回指導 【計画内容】巡回指導、学生と教員、現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員の三者面談も行う。実習課題の達成状況を確認し、残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【準備学習の内容】巡回指導記録、実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、G	
	第4回	【テーマ】グループスーパーバージョン(2) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【準備学習の内容】実習記録等から実習内容を振り返ってしておくこと。	F、H、L	第19回	【テーマ】実習②帰学指導(3) 【計画内容】3回目の帰学指導、巡回指導後の実習課題取り組み状況について確認する。 【準備学習の内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D、F、H	
	第5回	【テーマ】個人スーパーバージョン及び実習①報告書作成 【計画内容】教員の個人スーパーバージョンを実施する。また実習報告書の作成に着手する。 【準備学習の内容】グループスーパーバージョンの内容をまとめておくこと。	G	第20回	【テーマ】グループスーパーバージョン(1) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【準備学習の内容】実習記録等から実習内容を振り返ってしておくこと。	F、H、L	
	第6回	【テーマ】実習①報告書作成と修正 【計画内容】グループセミナー方式により、それぞれが作成した実習報告書を発表し、相互に必要な修正を加える。 【準備学習の内容】個人スーパーバージョンの内容をまとめておくこと。	F、H	第21回	【テーマ】グループスーパーバージョン(2) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返りと、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【準備学習の内容】実習記録等から実習内容を振り返ってしておくこと。	F、H、L	
	第7回	【テーマ】実習②報告書の完成 【計画内容】スーパーバージョン及びグループセミナーで獲得した知見に加え、個別及び教員の指導によって実習報告書を完成する。 【準備学習の内容】個別、教員の指導内容をまとめておくこと。	G	第22回	【テーマ】個人スーパーバージョン及び実習②報告書作成 【計画内容】教員の個人スーパーバージョンを実施する。また実習報告書の作成に着手する。 【準備学習の内容】グループスーパーバージョンの内容をまとめておくこと。	B、G	
	第8回	【テーマ】実践者に学ぶ 【計画内容】精神科医療機関に勤務する精神保健福祉士をゲストスピーカーに迎え、精神科医療機関の現状、精神保健福祉士の業務内容、必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術、実践上の諸課題について理解を深める。 【準備学習の内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	A、G	第23回	【テーマ】実習②報告書の完成 【計画内容】スーパーバージョン及びグループセミナーで獲得した知見に加え、個別及び教員の指導によって実習報告書を完成する。 【準備学習の内容】個別、教員の指導内容をまとめておくこと。	G、H	
	第9回	【テーマ】見学実習(2) 【計画内容】精神科医療機関の見学、体験実習を行い、施設・機関・事業所・団体・地域社会等の概要、全体を理解する。 【準備学習の内容】見学先の依拠する法制、関連法制について復習しておくこと。	M	第24回	【テーマ】実習②報告書の修正・確認 【計画内容】第22回で完成させた実習報告書①について、実習②で獲得した知見を踏まえ、内容等を確認し、修正を行う。 【準備学習の内容】実習②の報告書を確認しておくこと。	G	
	第10回	【テーマ】関連法制の整理(2) 【計画内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」を活用し、実習施設が依拠する法制及び精神保健福祉士に求められる関連法制についてグループで整理を行い、関連する文献収集、ならびに要点を整理し、グループメンバーで共有する。 【準備学習の内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」及び、過去の講義科目の資料等を整理しておくこと。	H	第25回	【テーマ】ブレ実習報告会(1) 【計画内容】3年次学生を対象としたブレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【準備学習の内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L	
	第11回	【テーマ】実習②個別課題作成(1) 【計画内容】医療機関を利用する当事者を想定し、求められる面接技法やグループワーク技法を確認する演習を実施し、実習課題と実習目標を立てる。 【準備学習の内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」を読んでおくこと。	B、G	第26回	【テーマ】ブレ実習報告会(2) 【計画内容】3年次学生を対象としたブレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【準備学習の内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L	
	第12回	【テーマ】実習②個別課題作成(2) 【計画内容】設定された実習課題及び目標を達成するためにどのような実習展開を希望するか、その具体案を検討するとともに課題設定の意義を整理し、実習課題及び目標を達成するための実習展開を具体的に検討し、課題設定の意義を整理する。 【準備学習の内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」を読んでおくこと。	L	第27回	【テーマ】ブレ実習報告会(3) 【計画内容】3年次学生を対象としたブレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【準備学習の内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L	
	第13回	【テーマ】実習②個別課題完成・教員との面談 【計画内容】教員との対面による個人スーパーバージョンにより、個別学習目標と実習個別課題を確認する。スーパーバージョンによって確認された内容に基づき実習課題等を仕上げる。 【準備学習の内容】前回の授業内容をまとめておくこと。	B	第28回	【テーマ】ブレ実習報告会(4) 【計画内容】3年次学生を対象としたブレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【準備学習の内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、G、L	
	第14回	【テーマ】実習②事前訪問 【計画内容】実習先への事前訪問を行い、実習指導者と具体的な実習展開方法の確認及び修正を行う。 【準備学習の内容】個別課題、個人票等、提出物を確認しておくこと。	M、G	第29回	【テーマ】報告書①報告書②の修正・完成 【計画内容】ブレ実習報告会での質疑等を踏まえ、報告書①報告書②の見直しを行い、完成させる。 【準備学習の内容】ブレ実習報告会での質疑内容について整理、まとめておくこと。	G、L	
	第15回	【テーマ】個別課題の修正・実習事前学習のまとめ 【計画内容】事前訪問時の実習指導者による指導内容を確認し、必要に応じて個別課題の修正等を行う。また、事前学習内容について再確認、まとめの作業を行う。 【準備学習の内容】事前訪問報告書を作成しておくこと。	K、L	第30回	【テーマ】実習報告会 【計画内容】実習指導者(スーパーバイザー)を本学に招き、実習報告会を開催する。スーパーバイザー及び他学生からの助言や意見を聞き、実習の総括を行う。 【準備学習の内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F、L	
テキスト	北翔大学、「精神保健福祉援助実習のてびき」 教員作成のレジュメを配付します						
参考書	適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			55%		45%	
補		足		実習先への提出書類も含む			
質問への対応	E-Mail(今井): imai@hokusho-u.ac.jp E-Mail(寺田): terada@hokusho-u.ac.jp E-Mail(橋本): kikujiro@hokusho-u.ac.jp 講義内での積極的な質疑、対面式による質疑を期待する。						
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必						
その他	本科目を履修登録していない者は、「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉援助実習」を履修出来ない。 遅刻、無断の欠席は厳禁。 出席、受講態度を重視するので、積極的な参加が求められる。 課題(実習先に提出)については、教員のエックを受け、指摘事項については、修正等を定められた期日までに提出すること。						

科目名	精神保健福祉援助実習			授業形態	実習	単位数	7
教員名	橋本 菊次郎、今井 博康、寺田 香						
授業の目的	ねらい	<p>1. 精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助にかかる専門的知識・技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。</p> <p>2. 精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について理解する。</p> <p>3. 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を修得する。</p> <p>4. 総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解する。</p>					
	到達目標	<p>(1)所定の期間(210時間)を学外の指定機関で学習する。</p> <p>(2)事前に立てた実習課題の達成を目指す。</p> <p>(3)将来精神保健福祉士として活動するための基本的態度を身につける。</p>					
授業の計画	【計画内容】	<p>・210時間(およそ30日間)を充足する配属実習とする。</p> <p>・精神科医療機関(90時間以上)及び精神障害者を対象とした障害福祉サービス事業所等に配属する。</p> <p>・「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導」で教授された内容・方法を充足するプログラムを編成し、それに基づいて行う。以下、基本の展開を示すが、各実習施設の実情および実習期間に基づいて実施される。</p> <p>実習①:3年次後学期(2月~3月)障害福祉サービス事業所等で実施:70時間(約10日間)</p> <p>実習②:4年次(8月~10月)精神科医療機関で実施:140時間(約20日間)</p> <p>・毎日の実習日誌の作成を義務付け、現場スーパーバイザーのコメントを得る。</p> <p>・教員は巡回および学生を帰校させスーパービジョンを行う。</p>					D
	＜実習内容＞	<p>・利用者を始めとし、利用者を取り巻く関係者、施設・機関、ボランティア等との基本的なコミュニケーションなど円滑な人間関係の形成。</p> <p>・利用者理解とニーズの把握および支援計画の作成。</p> <p>・利用者やその関係者(家族等)への権利擁護および支援とその評価。</p> <p>・精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実践について学ぶ。</p> <p>・精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解。</p> <p>・実習先の職員の就業に関する規定への理解と組織の一員として役割・責任についての理解。</p> <p>・施設、機関の経営やサービスの管理運用の実践についての理解。</p> <p>・実習先の地域社会の中での位置づけについて理解し、具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発に関する理解。</p> <p>◎各機関で実施される実習内容</p> <p>＜精神科病院＞</p> <p>・利用者(患者)の個別支援</p> <p>・入院時又は急性期の患者およびその家族への相談援助</p> <p>・退院又は地域移行・地域支援に向けた、患者およびその家族への相談援助</p> <p>・他職種や地域障害福祉サービス事業等の関係機関との連携</p> <p>＜精神科診療所＞</p> <p>・利用者(患者)の個別支援</p> <p>・治療中の利用者(患者)および家族への相談援助</p> <p>・日常生活や社会生活上の問題に関する、利用者(患者)および家族への相談援助</p> <p>・他職種や地域障害福祉サービス事業所等の関係機関との連携</p> <p>＜障害福祉サービス事業所等＞</p> <p>・利用者(患者)の個別支援</p> <p>・事業所における利用者およびその家族への相談援助</p> <p>・医療機関等の関係機関および他職種との連携</p> <p>【準備学習の内容】</p> <p>実習配属先の理念、設立根拠法、歴史、関連講義資料の復習、実習事前訪問。</p>					
テキスト	北翔大学、「精神保健福祉援助実習のてびき」						
参考書	教員・実習指導者から紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			40%			60%
質問への対応	実習中は原則、実習指導者(スーパーバイザー)に聞くこと。なお解決しない場合、あるいは実習展開上の疑問や質問は、すみやかに担当教員・福祉実習支援室へ問い合わせること。 E-Mail(今井): imai@hokusho-u.ac.jp E-Mail(寺田): terada@hokusho-u.ac.jp E-Mail(橋本): kikujiro@hokusho-u.ac.jp 福祉実習支援室(011)387-3971						
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必						
その他	「精神保健福祉援助実習指導」を履修登録していない者は、本科目を履修出来ない。 また、「精神保健福祉援助演習Ⅰ」(3年次後学期)、「精神保健福祉援助演習Ⅱ」(4年次前学期)、「精神保健福祉援助演習Ⅲ」(4年次後学期)も履修すること。						

科目名	就業力特別講義Ⅳ				授業形態	講義	単位数	1
教員名	寺田 香							
授業の目的	ねらい	心理・福祉領域の業務への就業を目前に控え、各自の描く社会人としてのあり方についてのまとめの時期を迎えている。就業力を発揮するために重ねてきた準備内容を改めて確認し、具体的に実践に移せるよう、最終的な理解を深める。						
	到達目標	(1)就職活動に求められるさまざまな準備について理解し、実行に移せる。 (2)広く社会の動向に目を向け、専門分野以外の事象にも興味関心を持つことにより、社会人となることへの自覚を涵養する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業内容の紹介、展開について説明をする。 【準備学習の内容】 シラバス内容を確認すること。						A
	第2回	【テーマ】 就職活動の概況 【計画内容】 就職活動の概況について解説し、各自の進路にどのような準備が必要なのかを学ぶ。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						A、H
	第3回	【テーマ】 就業力の向上をはかる① 【計画内容】 自分自身の希望する進路分野への就業のために、どのような準備が求められるのか、具体的内容について調べる。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						K
	第4回	【テーマ】 就業力の向上をはかる② 【計画内容】 前回の授業時に調べた内容を、希望する進路分野毎のグループでまとめて、プレゼンテーション資料を作成する。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						H、K
	第5回	【テーマ】 就業力の向上をはかる③ 【計画内容】 各グループでまとめた内容のプレゼンテーションを行う。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						F
	第6回	【テーマ】 具体的な準備に向けて① 【計画内容】 プレゼンテーションで提示した各自の希望する進路分野毎の準備に取り組むこと。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						K
	第7回	【テーマ】 具体的な準備に向けて② 【計画内容】 前回に引き続き、各自の希望する進路分野毎の準備を進める。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						K
	第8回	【テーマ】 具体的な準備に向けて③ 【計画内容】 前回に引き続き、各自の希望する進路分野毎の準備を進める。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						K
	第9回	【テーマ】 具体的な準備に向けて④ 【計画内容】 各自の作成したワークシートを基に、分野毎の準備内容についてグループワークを行う。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						H
	第10回	【テーマ】 モニタリングを行う① 【計画内容】 ここまでの授業の中で学んだことを実践的に検証し、その結果について話し合い、レポートにまとめる。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						G、H
	第11回	【テーマ】 モニタリングを行う② 【計画内容】 前回のまとめを基に、再度就業の準備の過不足について話し合い、資料等を集める。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						H、K
	第12回	【テーマ】 モニタリングを行う③ 【計画内容】 前回までのモニタリングを通して、グループ毎の取り組み内容をまとめ、プレゼンテーションの資料を作成する。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						H
	第13回	【テーマ】 モニタリングを行う④ 【計画内容】 各グループでまとめた内容のプレゼンテーションを行う。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						F
	第14回	【テーマ】 就業に向けて① 【計画内容】 就業に向けての活動について各自の進捗状況を確認し、今後の展望について話し合う。 【準備学習の内容】 配付プリントの予習内容に取り組むこと。						H、K
	第15回	【テーマ】 就業に向けて② 【計画内容】 就業力を高めるための取り組みについてまとめ、情報の共有を図る。 【準備学習の内容】 配付プリント予習内容に取り組むこと。						H、K
テキスト	毎時プリントを配付します							
参考書	授業内で紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
補足				レポート				
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資格								
その他	「就業力特別講義Ⅲ」を履修していることが望ましい。							

講義要綱
SYLLABUS
教育文化学部 4年次

2019年4月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL(011)386-8011
FAX(011)387-1542

